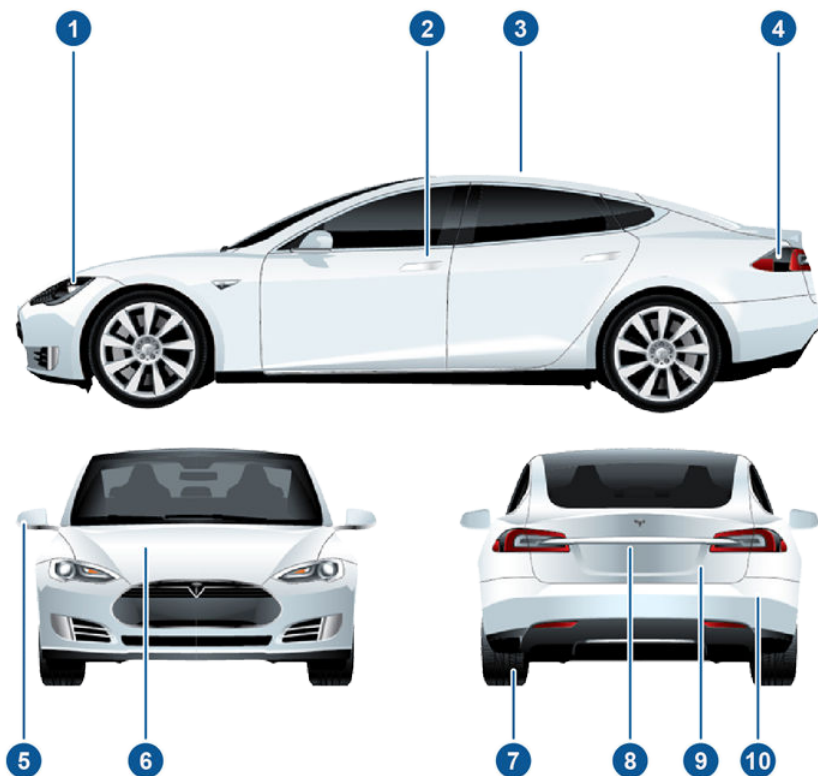
1. インテリア ドア (6 ページの「内部ドアハンドルの使用」)
2. クルーズコントロール (58 ページの「クルーズ コントロール」)
3. ハイビーム (46 ページの「ヘッドライトのハイビーム」)、ウィンカー (47 ページの「ウィンカー」)、ワイパー、ウォッシャー (48 ページの「ワイパーとウォッシャー」)
4. ステアリング ホイール ボタン - 左 (35 ページの「ハンドルの左ボタンを使用する」)
5. 計器パネル (40 ページの「計器パネルについて」)
6. ステアリング ホイール ボタン - 右 (36 ページの「ハンドルの右ボタンを使用する」)
7. ギア セレクター (39 ページの「ギアシフト」)
8. タッチスクリーン (61 ページの「タッチスクリーンの概要」)
9. ギア セレクター (13 ページの「グローブボックス」)
10. パワー ウィンドウ スイッチ (8 ページの「ウィンドウを開ける、閉じる」)
11. サイド ミラー調整スイッチ (37 ページの「ミラー」)
12. シート (16 ページの「フロントおよびリア シート」)
13. ステアリング コラム アジャスター (35 ページの「ステアリングホイール」)
14. ホーン (36 ページの「ホーン」)
15. ブレーキ (55 ページの「ブレーキ」)
16. ハザード ランプ (47 ページの「ハザードランプの点滅」)
17. キャビン環境コントロール (68 ページの「温度調整」)
18. カップ ホルダー (15 ページの「カップホルダー」)

注: 右ハンドル (RHD) 車では、上記のパーツが車両右側に左右対称になるように配置されています。

1. エクステリア ライト (44 ページの「ライト」)
2. ドア ハンドル (5 ページの「外部ドアハンドルを使用する」)
3. サンルーフ (14 ページの「サンルーフ」)
4. 充電ポート (86 ページの「Model S の充電」)
5. 外部ミラー (37 ページの「ミラー」)
6. フロント トランク (11 ページの「フロントトランク」)
7. ホイールおよびタイヤ (124 ページの「ホイールとタイヤ」)
8. リア ビュー カメラ (60 ページの「リア ビュー カメラ」)
9. リア トランク/リフトゲート (9 ページの「リアトランク」)
10. パーキング センサー (51 ページの「パーキングアシスト」)

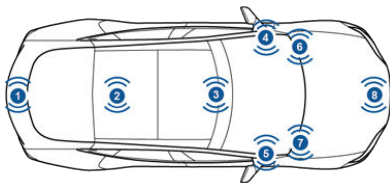
キーレスロックとロック解除

Model S はキーの存在を認識するセンサーを搭載しています。センサーの作動範囲はおよそ 1 メートルです。

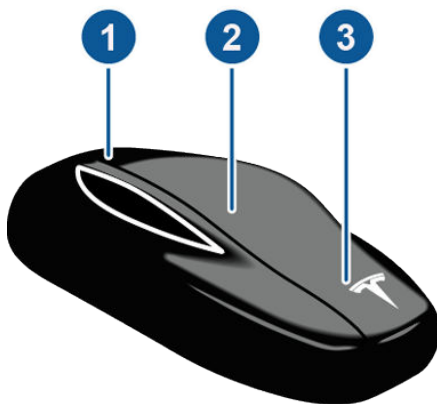
テックパッケージのオプションが付いている場合は、キーを携帯して Model S に近づくだけでドアのロックが自動的に解除されます。同様に、キーを携帯して Model S に近づき、トランクの外装ハンドルの下にあるスイッチを押すとトランクが開きます。

ドアハンドルを押すと、ドアハンドルがせり出します。「ドアハンドル自動せり出し」の設定がオンの場合 、ドアハンドルは自動的にせり出します(5 ページの「外部ドアハンドルを使用する」を参照)。

タッチスクリーンで、車両から離れたときの自動ロックの設定を ON にすると、キーを携帯したまま車両から離れた際にドアが自動的にロックされます (6 ページの「降車後オートロック」を参照)。

警告: 植込み型ペースメーカーを使用している方は、キーレスシステムのアンテナからの電波による機器への影響を避けるために、少なくともアンテナから 22cm 離れるようにしてください。アンテナは以下の場所に設置されています。

1. リアバンパーの中央。
2. リアシートの下。
3. センターコンソール。
4. ダッシュボードの左端。
5. ダッシュボードの右端。
6. 左側（助手席）フロントガラスのワイパー根元（右ハンドル車のみ）。
7. 右側（助手席）フロントガラスのワイパー根元（左ハンドル車のみ）。
8. フロントトランクの中央。

キーを使用する

キーのご使用に慣れるために、キーを Model S のミニチュア版と見なしてください（Tesla のエンブレムのある側がフロントです）。キーには他のエリアと比べて触ると柔らかい 3 つのボタンがあります。

1. トランク
   - ダブルクリックしてリアトランクを開けます。
   - Model S にパワーリフトゲートが搭載されている場合、ダブルクリックしてリアトランクを閉めます。シングルクリックをすることで、作動中のリフトゲートを停止することもできます。シングルクリックして、動いているリフトゲートを止めることもできます。
2. すべてをロック/アンロックする
   - ダブルクリックしてドアとリアトランクのロックを解除します。ハザードランプが 2 回点滅し、ドアハンドルがせり出します。
   - シングルクリックしてドアとトランクをロックします (すべてのドアとトランクを閉めておく必要があります)。ハザードランプが 1 回点滅し、ドアハンドルが引っ込みます。
3. フロントトランク (「フランク」とも呼ばれる)
   - ダブルクリックしてフロントトランクを開けます。

この場合、キーが Model S に向いている必要はありませんが、キーの作動範囲内である必要があります (作動範囲はキーのバッテリーの強さによって異なります)。Model S がキーを検出できない場合は、キーが車内にないことを示すメッセージがタッチスクリーンに表示されます。Model S がキーを最も検出しやすい位置である 12V 電源ソケットの下にキーを置きます (38 ページの「キー非検出時」を参照)。

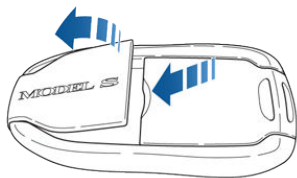
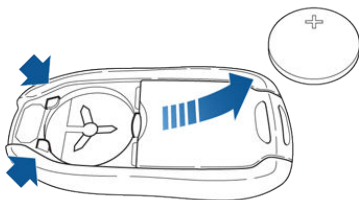
周波数の近い無線機器がキーに影響を与える場合があります。その場合は、キーを他の電子機器 (携帯電話、ノートパソコンなど) から 30 cm 以上離してください。キーが動作しない場合は、バッテリーの交換が必要となる場合があります。バッテリーが放電した場合は、以下に示すアンロックの手順に従って Model S のドアを開けることができます。
(6 ページの「キーが動作しないときのアンロック」を参照してください。)

注意: 運転する際は、必ずキーを携帯してください。キーを携帯していない場合でも運転することはできますが、その場合は Model S の電源を一度切ると、再度 ON にすることができません。

注意: キーを衝撃、高温、液体による損傷から保護してください。キーが溶剤、ワックス、研磨洗浄剤に触れないようにしてください。

キーのバッテリー交換

キーのバッテリーの寿命は約 1 年です。バッテリー残量が低下すると、計器パネルにメッセージが表示されます。以下の手順に従ってバッテリーを交換します。

1. キーのボタン側を下にして、やわらかい平らな面にキーを置きます。

2. 小型の鋭利な道具を使用してバッテリーのフタを開けます。

3. キーの中央に向かってバッテリーを押して、前方の固定クリップからバッテリーを外し、取り出します。
4. プラス(+)面を上にして新しいバッテリー (CR2032) を挿入します。バッテリーを挿入する前に、バッテリーの表面を指で触れないようにして、表面を拭き取ります。指紋が付くとバッテリーの寿命が短くなることがあります。
5. バッテリーの向きを合わせて、バッテリーがキーにカチリとはまるまでキーを上から押さえつけます。

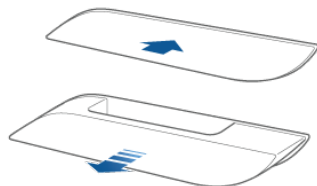
追加のキーを入手する

キーを紛失した場合または追加のキーが必要な場合は、Tesla にご連絡ください。Model S は 3 個までのキーを認識できます。

Model S 用の新しいキーを注文するときは、利用できるすべてのキーのプログラミングをやり直します。

外部ドアハンドルを使用する

Model S が有効なキーを認識している場合は、ドアハンドルを軽く押すとハンドルがせり出します。

Model S にテックパッケージのオプションが付いている場合は、キーを携帯して運転席側に近づくと自動的にドアハンドルがせり出すように設定することができます。タッチスクリーン上で、**「コントロール」** > **「設定」** > **「車両」** > **「ドアハンドル自動せり出し」** > **「On」**にタッチします。

ハンドルに手を入れてハンドルを手前に引くとドアが開きます。

ドアハンドルがせり出してから 1 分以内にハンドルを使用しない場合、ハンドルが引っ込みます。ハンドルを押せば再びせり出します。最後のドアが閉まってから 1 分後、Model S が動き始めた際、およびロックした際にドアハンドルが引っ込みます。

注: バッテリーを長持ちさせるため、Model S は以下の場合にオート プレゼント ドアハンドル機能が一時的に無効になるように設計されています。

- キーが 48 時間以上、作動範囲外にある場合。
- すべてのドアが閉まった後、キーが作動範囲内に 5 分間とどまった場合。

上記の場合は、運転席側のドアハンドルに触れるか、キーのロック解除ボタンを押すことでハンドルがせり出します。オートプレゼント機能の設定をリセットする必要はありません。上記の条件が該当しない場合は、次回 Model S に近づくとハンドルが自動的にせり出します。

ドアが開いていると、計器パネルに「ドアが開いています」インジケーターが表示されます。タッチスクリーンの「コントロール」ウィンドウでも、開いているドアやトランクが表示されます。

内部ドアハンドルの使用

内部ドアハンドルを手前に引いてドアを開けます。

注: お子さまが内部ドアハンドルを使用してリアドアを開けるのを防ぐには、タッチスクリーンで **「コントロール」 > 「設定」 > 「車両」 > 「チャイルドロック」**の順にタッチしてチャイルド ロックをかけます (6 ページの「チャイルドロック」 を参照)。

内部ロックとアンロック

Model S の車内に有効なキーがある場合、タッチスクリーンで車内からドアとトランクをロック/アンロックすることができます。**「コントロール」 > 「ロック/アンロック」**の順にタッチします。現在のロックステータスが計器パネルの左下に表示されます。

注: Model S をロックする際にドアまたはトランクがまだ開いている場合は、ドアまたはトランクが閉じた際にロックされます。

チャイルドロック

お子さまが内部ハンドルを使用してリアドアおよびリフトゲートを開けるのを防ぐために、Model S はリアドアとリフトゲートにチャイルドロックを備えています。タッチスクリーンを使用してチャイルドロックを ON または OFF にするには、**「コントロール」 > 「設定」 > 「車両」 > 「チャイルド ロック」**の順にタッチします。

注: 後部座席にお子さまを乗せている場合は、チャイルドロックを ON にすることをお勧めします。

走行時オートロック

Model S は、走行速度が時速 8 km を超えた際に、トランクを含むすべてのドアを自動的にロックすることができます。この機能を ON または OFF にするには**「コントロール」 > 「設定」 > 「車両」 > 「走行時オートロック」**の順にタッチします。

降車後オートロック

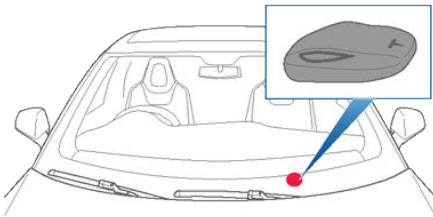
Model S にテックパッケージのオプションが付いている場合は、キーを携帯したまま車から離れるとドアとトランクが自動的にロックされます。

この機能を ON または OFF にするには、**「コントロール」 > 「設定」 > 「車両」 > 「降車後オートロック」**の順にタッチします。

注: もしすべてのドアを閉めた状態で、キーをダブルクリックして Model S のロックを解除すると、「降車後オートロック」機能は、次に Model S の電源を入れるまで (例えばブレーキ ペダルを押してドライブにギアを入れる場合など)、または次回キーを使って Model S をロックするまで一時的に保留されます。この機能を利用すると、ガレージ内で Model S のロックを解除しておくことが可能です。

キーが動作しないときのアンロック

Model S に近づいたり、キーのアンロックボタンを押したりしても ロックが解除されない場合は、キーのバッテリーが切れている可能性があります。その場合でも、アンロックし、Model S を運転することができます。

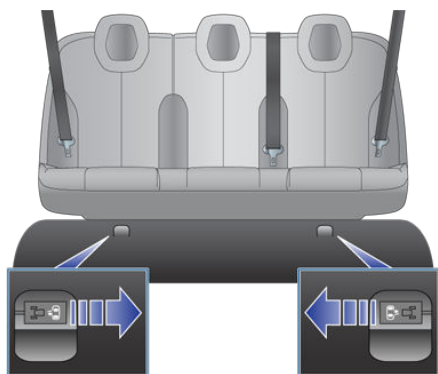
Model S をアンロックする (セキュリティ アラームを無効にする) には、まず図に示すように、運転席側のフロントガラス ワイパーの根元付近にキーを置きます。次に、助手席側のドアハンドルを押します。キーを正しい位置に置くことが重要です。Model S のロックが解除されない場合は、キーの位置を調整してください。

Model S を運転するには、12V 電源ソケットの真下にあるセンター コンソールにキーを置き、ブレーキペダルを踏んだまま Model S の電源をオンにします。

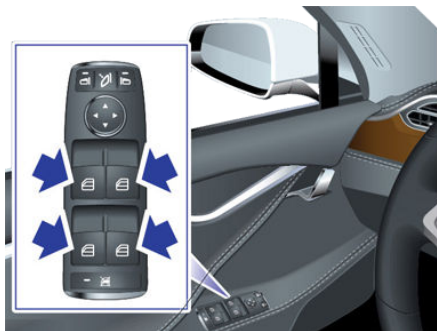
注: 上記の方法で Model S のロックを解除すると、降車後オートロック機能は無効になります。この場

合、キーのバッテリーを交換した後、降車後オートロック機能を手動で再び有効にする必要があります。

キーのバッテリーを交換する方法については、5 ページの「キーのバッテリー交換」を参照してください。

電源が切れた状態で内部からドアを開く

Model S の電源が切れている場合は、内部のドアハンドルを使用して通常どおりにフロントドアを開けることができます。リアドアを開けるには、後部座席の下のカーペットの端をまくり、機械式解除ケーブルを見つけ、中央に引きます。

ウィンドウを開ける、閉じる

ウィンドウスイッチを押して、ウィンドウを一番下まで下げます。スイッチの操作には 2 段階あります。ウィンドウを途中まで下げるには、スイッチを押したまま希望の位置まで下がったらスイッチを離します。

同様に、スイッチを引いてウィンドウを一番上まで上げます。この際も、スイッチの操作には 2 段階あります。スイッチを引いて希望の位置まで上がったらスイッチを離します。

警告: パワーウィンドウを閉める前に、すべての乗員、特にお子さまの身体の一部がウィンドウの外に出ていないことを確認してください。確認を怠ると、大けがにつながる可能性があります。

警告: Model S から降車する際は、キーを必ず携帯してください。Model S の車内にキーを放置しておくと、すべてのドア、ウィンドウおよびコントロールが操作可能な状態になり、Model S の危険な使用、無許可での使用や意図しない使用につながる可能性があります。

リアウィンドウをロックする

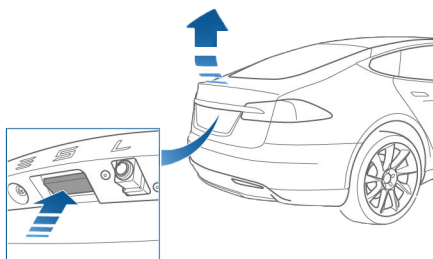
乗員がリアウィンドウのスイッチを使用するのを制限するには、リアウィンドウロック スイッチを押します。スイッチのランプが点灯します。リアウィンドウのロックを解除するには、もう一度スイッチを押します。

警告: 安全確保のため、後部座席にお子さまが乗っている場合は、リアウィンドウをロックすることをお勧めします。

警告: Model S の車内にお子さまを付き添いなしで放置しないでください。

開く

リアトランクは以下のいずれかの操作で開きます。

- タッチスクリーンで、 **「コントロール」 >「トランク」** の順にタッチします。
- キーのトランクボタンをダブルクリックします。
- トランクハンドルの下側のスイッチを押します (テックパッケージのオプションが付いていない場合は、まず先に Model S をアンロックする必要があります)。

リフトゲートが開いているときは、計器パネルに「ドアが開いています」のインジケーター が表示されます。タッチスクリーンの「コントロール」ウィンドウでもトランクの状態が表示されます。

動作中のリフトゲートを停止するには、キーのトランクボタンをシングルクリックします。さらに、トランクボタンをダブルクリックすると、動作が逆方向に再開されます (停止時にほぼ全開の状態または閉じた状態をのぞく)。例えば、リフトゲートを開けている途中にシングルクリックで動作を停止すると、次にダブルクリックするとリフトゲートの閉じる動作が開始します。

万一 Model S が通電していないなど、極めて稀な状況下でトランクを開くには、 10 ページの「電気がない状態で開ける」を参照してください。

閉める

トランクを閉めるには、リフトゲートを引いてから完全に閉まるように強く押します。

Model S テックパッケージのオプションが付いている場合は、以下の操作でトランクを閉めることができます。

- キーのトランクボタンをダブルクリックします。
- タッチスクリーンで、**「コントロール」 > 「トランク」**の順にタッチします。
- リフトゲート下方のスイッチを押します (9 ページの「開いたときの高さを調整する」を参照)。

通電したリフトゲートが閉じている途中に障害物を検出すると、自動的に開く動作に切り替わり、チャイムが 2 回なります。障害物を取り除き、もう一度閉じる操作を行ってください。それでも閉じない場合は、一時的に通電動作を無効にします。手動で閉じてから、再度通電動作を有効にしてください。

注: 通電したリフトゲートを 1 時間以上開けたままの状態にした場合にも、パワークローズ機能は一時的に無効になります。

開いたときの高さを調整する

パワーリフトゲート搭載の Model S では、リフトゲートを開いたときの高さを、お好みの高さに調整することができます。

1. リフトゲートを開き、お好みの高さまで下げます。

2. リフトゲート下方のボタンを 2 秒間押したままにして、確認のビープ音が聞こえるのを待ちます。
3. リフトゲートを閉めてもう一度開き、開いたときの高さがお好みの高さであることを確認します。

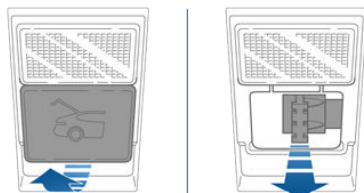
内側からトランクを開く

Model S の内側からトランクを開くには、リアトランクの内側にある解除スイッチを押し、リフトゲートを押し上げます。

Model S にオプションのテックパッケージが付属している場合は、リフトゲートを押し上げる必要はありません。リフトゲートは、解除スイッチを押すと開き、引くと閉じます。

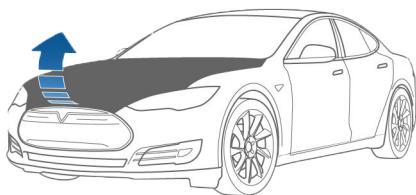
注: チャイルドロックが ON のとき (6 ページの「チャイルドロック」を参照)、または Model S が動いているときは、解除スイッチは無効になります。

電気がない状態で開ける

Model S が通電していない場合は、内側からリアトランクを開くことができます。リフトゲート内側のインテリアライト横にある機械式解除ケーブルを利用します。

1. カバーの下側を手前に強く引き、カバーを外します。
2. ケーブルを引っ張り、ラッチを外します。
3. リフトゲートを押して開きます。

開く

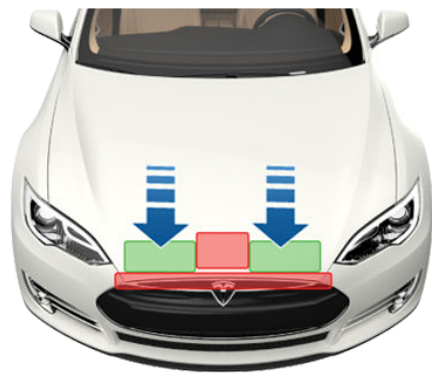
フロントトランクを開ける方法:

- タッチスクリーンで **「コントロール」 > 「フロントトランク」** の順にタッチするか、キーのフロントトランクボタンをダブル クリックします。
- ボンネットを引き上げます。

フロントトランクが開くと、計器パネルにドアオープンインジケーターが表示されます。タッチスクリーンの「コントロール」ウィンドウにもトランクが開いている状態が表示されます。

Model S が通電していない等の極めて稀な状況でフロントトランクを開ける方法は、12 ページの「電気が切れた状態で開ける」を参照してください。

閉める

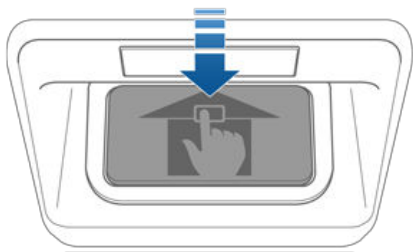
Model S のボディは軽量アルミニウム製です。したがって、ボンネットは自重でラッチがかかるほどの重量はありません。ボンネット フロント端部または中央を無理に押すと損傷することがあります。フロントトランクを閉める方法:

- ボンネットを下げてラッチに触れるようにします。
- 両手をボンネットのフロント部分 (図示の箇所) に置き、しっかりと押し下げてラッチにはまるようにします。
- ボンネットのフロント端部を持ち上げてしっかりと閉まっていることを確認します。

注意: 損傷を防止する方法:

- 上の図に示す緑色の領域以外には力を加えないでください。赤色の領域に無理な力を加えると、損傷することがあります。
- ボンネットは片手で閉めないでください。片手で閉めると力が一個所に集中し、凹みや波打ちの原因となります。
- ボンネットの先端に圧力をかけないでください。ボンネット端部の波打ちの原因となります。
- ボンネットを強く閉めたり、落としたりしないでください。

警告: セカンダリーキャッチだけでフードを固定した状態で車両を運転しないでください。

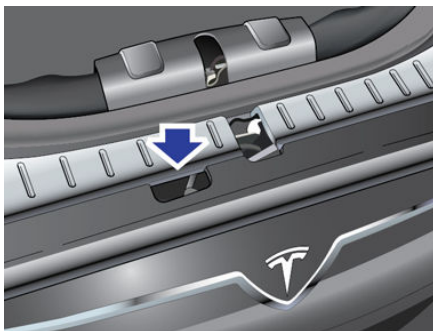
内部緊急解除

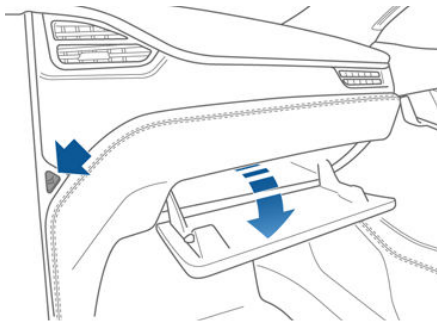
フロントトランク内の内部解除ボタンを使用すると、トランク内部に閉じ込められた人が脱出できるようになります。この解除ボタンは Model S が停止状態であればいつでも有効です。

内部解除ボタンを押して、フロントトランクを開けて、ボンネットを押し上げます。

注: このボタンは外光に短時間当たった後、数時間光ります。

電気が切れた状態で開ける

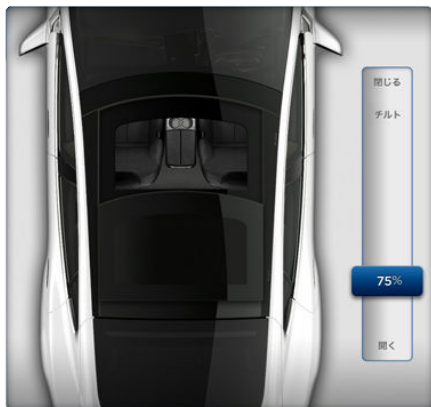
Model S の電気が切れた状態、またはタッチスクリーンまたはキーでトランクを開けられない場合は、グローブボックスの下側にある機械式解除レバーを引いてください (最近のモデルには装備されていません)。これでプライマリーキャッチが解除されます。

次に、セカンダリーキャッチレバーを押し下げて、ボンネットを持ち上げます。セカンダリーキャッチに対して掛かる力を解除するには、ボンネットを少し押し下げる必要がある場合もあります。

開ける、閉める

グローブボックスを開けるには、タッチスクリーンの横にあるスイッチを押します。グローブボックスを 5 分間以上開けたままにしておくと、グローブボックスのライトが自動的に消灯します。

注: キーまたは降車後オートロック機能で Model S を外部からロックすると、グローブボックスもロックされます。Model S をタッチスクリーンでロックしたときは、グローブボックスはロックされません。

 警告: 走行時はグローブボックスを閉め、衝突発生時や急停車時に乗員が負傷しないようにしてください。

開ける、閉める

Model S にサンルーフが装備されている場合、操作するには、タッチスクリーンで **「コントロール」** > **「サンルーフ」** の順にタッチします。サンルーフ スライダー バーをドラッグするか、サンルーフの画像にタッチしてそれをドラッグします。サンルーフが選択された位置まで移動します。

「開く」 にタッチすると、サンルーフが最適な位置（風の音を最小限に抑える 75%開）まで開きます。あるいは、スライダー バーをインデント位置までドラッグしてサンルーフを最適な位置まで動かします。サンルーフを最適な位置に設定していても、風の音がうるさい場合（運転速度によります）、窓を少しだけ開くようにします。

サンルーフを完全に開くには **「開く」** に 2 回タッチします。

サンルーフを完全に閉じるには **「閉じる」** にタッチします。

サンルーフの安全機能が障害物を検出すると、サンルーフは閉まりません。障害物を取り除いてもまだ閉まらない場合は、**「閉じる」** にタッチしたままサンルーフのアンチトラップ機構を無効にしてください。

サンルーフを少し開くときは **「チルト」** にタッチします。

サンルーフの開閉中にお好みの位置で止めるには、サンルーフの画像にタッチします。

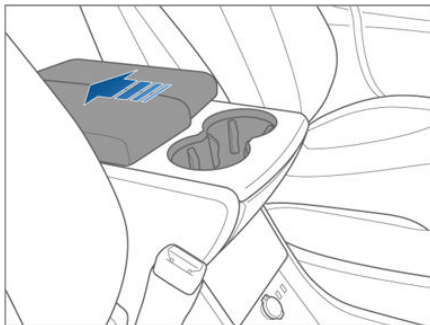
警告: 同乗者がサンルーフから身体の一部を出さないよう注意してください。走行中に飛んでくる障害物により大けがをする可能性があります。

警告: サンルーフを閉めるときは、同乗者、特にお子さまがサンルーフの開口部から手などを出していないことを必ず確認してください。確認を怠ると、大けがにつながる可能性があります。

注意: 雪や氷が積もっているときは、それを取り除いてからサンルーフを開いてください。雪や氷が積もったサンルーフをそのまま開くと損傷発生の可能性があります。

注意: サンルーフを突き破るようなものは持ち込まないでください。そのようなものを持ち込むと、サンルーフのシール/アンチトラップ機構が破損する可能性があります。

開ける、閉める

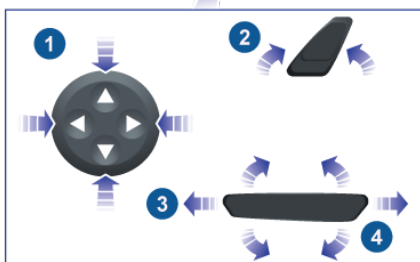
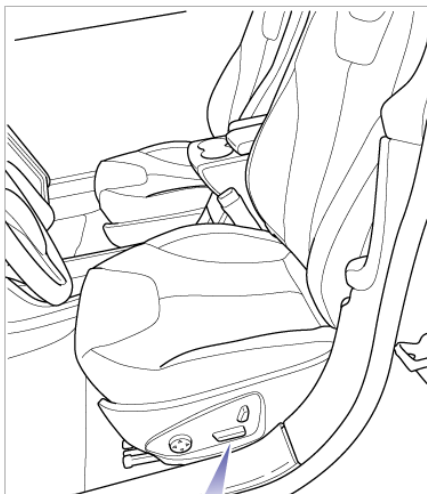
カップ ホルダーを出すにはアームレストを後ろにスライドします。

正しい運転位置

シート、ヘッドレスト、シートベルト、エアバッグはそれぞれ連動しており、乗員の安全性を最大限に確保するようになっています。これらの機能を正しく使用することで、保護性能を向上させることができます。

シート位置を正しく設定すると、フロントエアバッグからできるだけ離れた位置でシートベルトを正しく装着することができます。

1. 上体を起こし両足をフロアに着けた状態で着座し、シートのリクライニングが 30°を超えないようにします。
2. ペダルに足が十分に届き、ハンドルを握ったとき腕が少し曲がることを確認します。胸がエアバッグカバーの中央から 25 cm 以上離れるようにしてください。
3. シートベルトの肩ベルトが乗員の首と肩の間を通るようにします。シートベルトの腰ベルトが腹回りに通らず腰回りに密着するように装着します。

Model S のシートにはヘッドサポートが組み込まれていますが、これは調整や取り外しはできません。

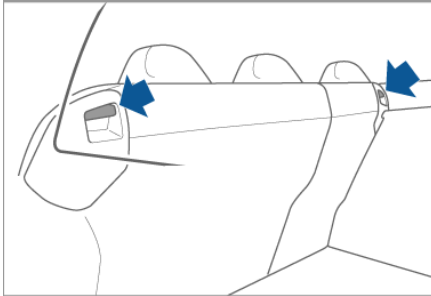
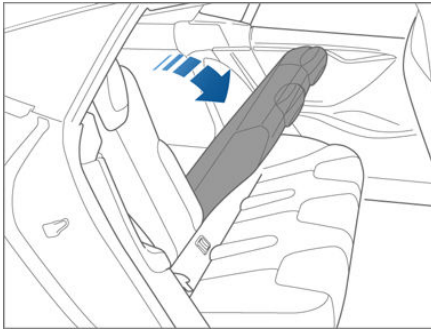
運転席シートの調整

1. ランバー サポートを調整する。
2. バックレストを調整する。
3. シートを前後に移動させる。
4. シートの高さと傾きを調整する。

警告: 運転中にシートの調整をしないでください。事故につながる恐れがあります。

警告: 走行中にリクライニングしたシートに座っていると、衝突時に乗員が腰ベルトの下に潜り込んだりシートベルトに巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。車両走行時は必ず、シートのリクライニングを 30°未満にしてください。

リアシートの折りたたみ

Model S の分割式リアシートは前方へ折りたたむことができます。

折りたたむ前に、シートやリアシートの足下部分から物を取り除いてください。リアシートバックを完全に平らにするには、フロントシートを前方へ移動させる必要がある場合もあります。

リアシートを折りたたむには、折りたたみ用のレバーを押し、シートを前方へ倒します。

リアシートの引き上げ

リアシートを引き上げる前に、シートベルトがバックレストの裏側に引っかかっていないことを確認します。

シートバックを上方へ引き、所定の位置にロックさせます。

シートバックを前方へ引き、直立位置でロックされていることを確認します。

警告: シートバックが必ず、直立位置でロックされているようにしてください。これを怠ると事故の危険が増します。

ヘッドレスト

シートにはヘッドサポートが組み込まれていますが、これは調整や取り外しはできません。

シートカバー

Model S ではシートカバーを使用しないでください。事故発生時にサイド エアバッグの展開が制限される可能性があります。また、乗員感知システムの精度が低下する可能性もあります。

シートベルトの着用

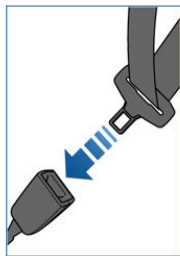
シートベルトとチャイルドシートは、衝突の発生時に乗員を保護する最も効果的な手段です。したがって、シートベルトの着用はほとんどの地域で義務づけられています。

運転席と助手席の両方に、3 点慣性リールシートベルトが装備されています。慣性リールベルトは、通常の運転状況で乗員が快適に移動できるよう自動的に張力がかかるようになっています。チャイルドシートを固定するために、すべての座席の着座位置に ALR（自動ロック式巻き取り装置）が取り付けられています。シートベルトを必要以上の長さに引っ張ると、ALR が作動してベルトがロックされます。バックルが外されないかぎりベルトはロックされたままです (24 ページの「シートベルト保持式チャイルドシートを取り付ける」参照)。

シートベルトリールは、Model S が急加速、ブレーキング、コーナリング、または衝突の衝撃に伴う力を受けると、乗員の移動を防止するために自動的にロックします。

計器パネル上のシートベルト リマインダーは、座席にいる乗員がシートベルトを着用していない場合に、警告します。シートベルトが着用されないままの状態でいると、リマインダーが点滅し断続的なチャイム音を鳴らします。すべての乗員がシートベルトを着用したにもかかわらずリマインダーがオンのままの場合は、シートベルトが正しく着用されていることを確認するために再度着用し直します。また乗員がいない座席から重い物 (書類かばんなど) を移動してください。リマインダーランプが引き続き点灯している場合は、Tesla に連絡してください。

シートベルトを着用するには

1. 座席の正しい位置を確認します。

2. ベルトをスムーズに引き出して、ベルトが骨盤、胸、鎖骨の中間点の上、首と肩の間に平らに位置するようにします。
3. ラッチプレートをバックルの中にカチッという音がするまで差込みます。
4. 安全に固定されたことを確認するため、ベルトを引きます。
5. ベルトの対角線部分をリールに向かって引き、余分な弛みを取り除きます。

シートベルトを着用するには

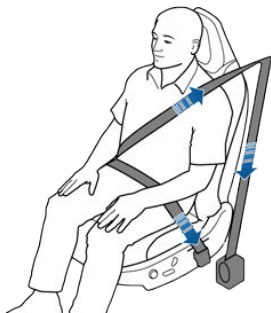
シートベルトが速く巻き込まれすぎないようにするために、バックル近くのベルトを持ち、バックルのボタンを押します。そうすることで、ベルトが自動的に巻き込まれます。ベルトが完全に巻き込む際に邪魔になるような障害物がないことを確認し、ベルトが完全に巻き込まれるようにします。シートベルトが完全に巻き込まれない場合は、Tesla に連絡してください。

妊娠中の女性がシートベルトを着用するとき

腰ベルトは、腹部のふくらみを避け腰骨のもっとも低い位置にくるように調整します。肩ベルトは胸の中央を通るようにします。詳しくは医師の指示に従ってください。

警告: 事故が発生した場合の衝撃を和らげるため、乗員とシートベルトの間に絶対に物を入れないでください。

シートベルトプリテンショナー

前席シートベルトには、前方向からの激しい衝突の際にエアバッグと連動して作動するプリテンショナーが装備されています。プリテンショナーはシートベルトアンカーとシートベルトウェビングを巻き込み、腰ベルトと肩ベルトの弛みを減らし、乗員の前方への移動を減少させます。

プリテンショナーとエアバッグが衝突時に作動しなかった場合、故障ではなくこれらの作動条件を満たすほどの強い衝撃が存在しなかったこと意味します。

警告: シートベルトプリテンショナーは一度しか作動しません。一度作動したら、交換する必要があります。事故の後、エアバッグ、シートベルトプリテンショナー、すべての関連コンポーネントを確認し、必要に応じて交換します。

シートベルトのテスト

シートベルトが正しく作動することを確認するため、各シートベルトで 3 つの簡単な点検を行ってください。

1. シートベルトを着用している状態で、バックルに最も近いウェビングを素早く引きます。バックルはしっかりとロックされたままでなければなりません。
2. ベルトを外した状態で、ウェビングを限界まで引き出します。引き出し操作がスムーズに行えることを確認し、ウェビングに摩耗がないか確認します。ウェビングを引き込ませて、引き込みがスムーズで完全であることを確認します。
3. ウェビングを半分引き出した状態で、タング プレートを持ち、前方に素早く引きます。シートベルトが自動的にロックし、それ以上引き出せなくなったことを確認します。

シートベルトがこれらのテストのいずれかに合格しない場合、Tesla にただちに連絡してください。

シートベルトに関する警告

警告: シートベルトは、短距離の運転であっても、すべての乗員が必ず着用しなければなりません。着用しない場合は、事故が発生した場合に負傷や死亡事故につながる危険性が増大します。

警告: 小さなお子さまは適切なチャイルドシートに固定してください。取り付ける際は、必ずチャイルドシート製造元の取扱説明書の指示に従ってください。

警告: すべてのシートベルトが正しく着用されていることを確認してください。シートベルトを正しく着用しないと、事故が発生した場合に負傷や死亡事故につながる危険性が増大します。

警告: ペン、鍵、眼鏡など硬くて先端が尖った物、壊れやすい物を入れた衣服の上からシートベルトを着用しないでください。

警告: ストラップがねじれた状態でシートベルトを着用するのは避けてください。

警告: シートベルトは乗員 1 人につき 1 本使用します。お子さまを膝の上に乗せたまま、シートベルトを着用するのは危険です。

警告: 事故で摩耗したシートベルトは、シートベルトへの目に見える損傷がない場合でも、必ず Tesla に検査または交換を依頼してください。

警告: シートベルトに摩耗の兆候 (擦り切れなど) がある、もしくは何らかの切り込みまたは損傷がある場合は、必ず Tesla に交換を依頼してください。

警告: シートベルトを化学物質、液体、埃、ゴミ、または洗浄液等で汚さないようにしてください。シートベルトが巻き込まない、またはバックルで固定できない場合は、ただちに交換する必要があります。Tesla に連絡してください。

警告: シートベルトの弛みを除去することを妨げる、またはシートベルトが弛みを調整することを妨げるような部品の追加や改造はしないでください。ベルトが弛むと、乗員保護の効果が大幅に減少します。

警告: シートベルトの操作を妨げる、または操作に影響を与えるような改造はしないでください。

警告: シートベルトは、未使用時に完全に巻き込まれ、弛みのない状態である必要があります。シートベルトが完全に巻き込まれない場合は、Tesla に連絡してください。

お子さまを乗せるときのガイドライン

お子さまを乗せる際は、年齢、体重、身長に合ったチャイルドシートで身体を固定する必要があります。助手席ヘッドエアバッグが ON になっているときは、お子さまを乳幼児用または小児用チャイルドシートで助手席に乗車させないでください。助手席フロントエアバッグが作動しないようにする方法については、32 ページの「助手席ヘッドエアバッグを OFF にする」を参照してください。チャイルドシートを使用する際は、チャイルドシートの取扱説明書に確実に従ってください。

警告: 前方にある「作動可能状態のエアバッグ」によって保護されている座席上で後ろ向きチャイルドシートを使用するのは絶対に避けてください。お子さまが重傷を負ったり死亡事故につながる危険性があります。サンバイザーの両側に貼付されている以下のラベルを見てください。

Model S に搭載されている Tesla ビルトインタイプ後ろ向きチャイルドシート（オプション）は、身長・体重が一定範囲内のお子さま向けに設計されています（27 ページの「ビルトイン チャイルドシート」を参照）。

チャイルドシートを選ぶ

シートベルト保持式のチャイルドシートおよび ISOFIX チャイルドシートの種類はお子さまの体重に合わせて選ぶ必要があります。次の表をガイドラインとして参照してください。

シートベルト保持式チャイルドシート

質量グループ		助手席	後部窓際席	後部中央席
グループ 0	10 kg 以下	X	U	U
グループ 0 ＋	13 kg 以下	L*	U	U
グループ 1	9～18 kg	UF**	U、UF	U、UF
グループ II	15～25 kg	UF**	U、UF	U、UF
グループ III	22～36 kg	UF**	U、UF	U、UF

U:汎用後ろ向きチャイルドシート

UF:汎用前向きチャイルドシート

L:推奨するチャイルドシート - Maxi-Cosi Cabrio/Cabriofix E4 04443517 または Takata Mini E4 04443717

X:シート位置がこの質量グループのお子さまには不適切です。

* シートは最後部かつ最も低い位置に配置しなければなりません。

** シートは最後部かつ最も高い位置に配置しなければなりません。

注記:補助シートは必ずシートベルトで取り付けてください（ISOFIX は使用しないでください）。

ISOFIX* チャイルドシート

質量グループ		サイズ等級	固定具	後部窓際 ISOFIX 位置
グループ 0	10 kg 以下	E	R1	IL
グループ 0 ＋	13 kg 以下	E	R1	IL[A、C]
		D	R2	IL[A、C]
		C	R3	IL[A、C]
グループ 1	9〜18 kg	D	R2	IL[B]
		C	R3	IL[B]
		B	F2	IUF、IL[B、D]
		B1	F2x	IUF、IL[B、D]
		A	F3	IUF、IL[B、D]

IL:準汎用チャイルドシート（支持脚付きの後ろ向きまたは前向きシート）に最適

IUF:汎用チャイルドシート（テザー付き前向きシート）に最適

[A] 推奨:Takata Mini E4 04443717

[B] 推奨:Takata Midi E4 04444204

[C] 推奨:Maxi-cosi Cabriofix/Easyfix E4 04443517

[D] 推奨:Maxi-cosi Pearl/familyfix E4 043908

*ISOFIX - 乗用車内にチャイルドシートを取り付ける方法の国際標準規格

注: お子さまとチャイルドシートを合わせた重量が 29kg を超える場合、Tesla はシートベルトとトップテザーストラップでチャイルドシートを取り付けることを推奨します。安全なうえ、シートベルト警告灯が確実に消灯するという利点があります。チャイルドシート取り付けの際は必ずシートベルトの取扱説明書の指示に従ってください。

より大きなお子さまを乗せるとき

お子さまの体格が大きくてチャイルドシート内に収まらない、しかし標準的なシートベルトで固定するには小さすぎるという場合は、年齢・体格に合った補助シートを使用してください。シートベルトで補助シートを固定する際は、メーカーの取扱説明書の指示に必ず従ってください。ISOFIX システム付きの補助シートの場合でも､ISOFIX システムを使用して補助シートを固定することは避けてください。

チャイルドシートを取り付ける

チャイルドシートを取り付ける一般的な方法は次の 2 通りがあります。

- シートベルトで取り付ける - 車両に備え付けのシートベルトでチャイルドシートを固定します(24 ページの「シートベルト保持式チャイルドシートを取り付ける」を参照)。
- ISOFIX で取り付ける - 後部座席に組み込まれたアンカーバーにチャイルドシートを取り付けることができます(24 ページの「ISOFIX 対応チャイルドシートを取り付ける」を参照)。

チャイルドシートの取扱説明書および 21 ページの「チャイルドシート」の表を参照して、取り付け方法を判断してください。チャイルドシートによってはどちらの方法でも取り付けられます。取り付けに際しては必ずチャイルドシートメーカーの取扱説明書の指示に従ってください。

シートベルト保持式チャイルドシートを取り付ける

最初に、お子さまの体重がチャイルドシートの許容範囲内であることを確認します。

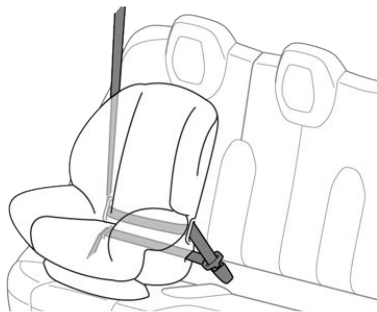
お子さまに厚い生地の服を着せるのは避けて、お子さまとチャイルドシートの間には何も置かないでください。

お子さまに合わせて毎回ハーネスを調整します。

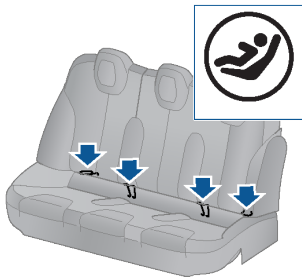
チャイルドシートを固定するために、すべての座席の着座位置に ALR（自動ロック式巻き取り装置）が取り付けられています。シートベルトを必要以上の長さに引っ張ると、ALR が作動してベルトがロックされます。バックルが外されウェビングが巻き込まれないかぎりベルトはロックされたままです。ALR 機構はラチェットの働きをします。シートベルトの弛みを取り、ベルトが完全に巻き戻されるまでベルトがそれ以上延びるのを防ぎます。チャイルドシートを取り付ける際は、ウェビングが**完全に**伸びきるまでシートベルトを引っ張って ALR を作動させてください。ALR システムは、シートベルトが伸びきった状態の際に作動します。

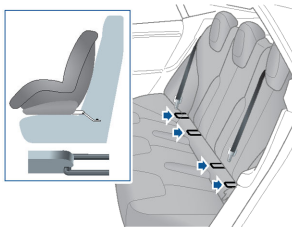
注: シートベルトのバックルが外されベルトが完全に巻き込まれると、ALR のエンゲージが外れます。これでベルトは通常のシートベルトとして使えるようになり、内外に自由にスライドして緊急時のみロックします。チャイルドシートを取り付ける際は、ALR のエンゲージが外れた状態でシートベルトを限界まで伸ばして ALR をエンゲージします。

チャイルドシートを取り付ける際は、必ずチャイルドシートメーカーの詳細指示に従ってください。以下に一般的なガイドラインを示します。

1. チャイルドシートを Model S の中に置き、シートベルトを限界まで伸ばします。チャイルドシートメーカーの指示に従ってシートベルトを通し、バックルで固定します。

2. シートベルトを巻き込み、チャイルドシートを Model S の座席にしっかり押し込みながらシートベルトの弛みを完全に取り除きます。
3. シートベルト保持式のチャイルドシートにトップテザーが付いている場合は、トップテザーをチャイルドシートの背部に取り付けます（25 ページの「トップテザーストラップを取り付ける」を参照)。

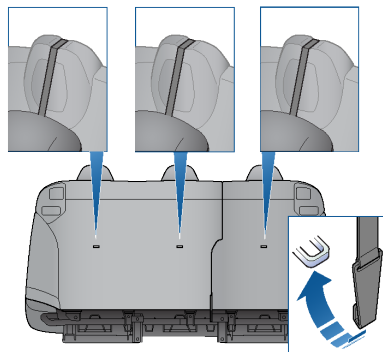
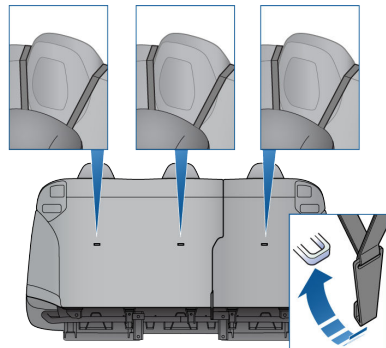
ISOFIX 対応チャイルドシートを取り付ける

ISOFIX 対応チャイルドシートを取り付けるためのロアアンカーは 2 列目窓際の座席内に用意されており、座席の背もたれとクッションの間にあります。各アンカーの正確な位置は、下図に示すようにチャイルドシート識別ボタンによって識別されます。このボタンは座席の背にあり、対応アンカーの真上に位置しています。

ISOFIX 対応チャイルドシートは､窓際座席だけに取り付けてください。シート中央にはシートベルト保持式のシートだけを使用します。

ISOFIX チャイルドシートを取り付けるには､チャイルドシートラッチをカチッと音がするまでアンカーバー上へスライドさせます。チャイルドシートの取扱説明書を注意深く読み、説明書の指示に従ってください。チャイルドシートを取り付ける際は、必ずチャイルドシートメーカーの詳細指示に従ってください。

お子さまを座らせる前に、チャイルドシートを取り付けた後にチャイルドシートが確実に取り付けられていることを確認します。チャイルドシートを左右にねじろうとしたり、座席から引き離そうと力を加えてもアンカーが動いたりしないことを確認してください。

トップテザーストラップを取り付ける

トップテザーストラップがある場合は、そのフックを後部座席の背にあるアンカーポイントに取り付けます。必ずシングルストラップ テザーズが Model S ヘッドレスト中央を通るようにします。デュアルストラップ テザーズを締めてヘッドレストの両脇を通します。チャイルドシートの取扱説明書に従ってストラップの長さを調整してください。

注: シングルストラップ テザーズが横方向に動くのを防ぐため、ヘッドレストの上部が変形します。

チャイルドシートをテストする

チャイルドシートにお子さまを座らせる前に、チャイルドシートの取り付けに緩みがないことを必ず確認してください。

1. ベルトごとチャイルドシートをつかみ、前後左右にスライドさせてみてください。
2. シートが 2.5 cm 以上動く場合は、取り付けが不十分です。ベルトの長さを調節するか、あるいは ISOFIX チャイルドシートの場合は取り付けをやり直します。
3. 緩みが残る場合は、取り付け位置を変えてみるか、または別のチャイルドシートに替えてみてください。

チャイルドシートに関する警告

警告: 助手席ヘッドエアバッグが ON になっているときは、お子さまを乳幼児用または小児用チャイルドシートで助手席に乗車させないでください。大けがまたは死亡事故につながる可能性があります。

警告: 作動可能状態のエアバッグで保護されている座席上で後ろ向きチャイルドシートを使用するのは絶対に避けてください。大けがまたは死亡事故につながる可能性があります。助手席側のサンバイザーにある警告ラベルをお読みください。

警告: お子さまが体重 9kg 以下で自分一人では座れない場合は、前向きチャイルドシートの使用は避けてください。2 歳以下のお子さまは背骨と首の発達が十分でなく、正面からの衝撃による負傷を避けることができません。

警告: 小さいお子さまを膝上にのせるのは避けてください。常にお子さまに合ったチャイルドシートで保護する必要があります。

警告: お子さまの安全な着座を確実にするため、本書およびチャイルドシートの取扱説明書に記載されているすべての指示に従ってください。

警告: お子さまはできるだけ長期間、5 点式統合ハーネス使用の後ろ向きチャイルドシートに着座させる必要があります。

警告: チャイルドシートまたは補助シートを取り付ける際に、シートベルトエキステンダーは使用しないでください。

警告: より大きいお子さまを着座させる場合は、頭部が支持され、シートベルトが適切に調整され、しっかり着用されていることを確認してください。肩ベルトは顔および首から離れている必要があります。また、腰ベルトが腹部にかからないようにする必要があります。

警告: 2 つのチャイルドシートを 1 つのアンカーポイントに取り付けることは絶対に避けてください。万一衝突事故が発生した場合、1 つのアンカーポイントでは 2 つのシートを支えきれない可能性があります。

警告: チャイルドシート固定システムは、チャイルドシートが正しく取り付けらた状態で受ける荷重にのみ耐えられるように設計されています。大人用のシートベルトやハーネスを固定するために使用したり、他の物や機器を車両に固定するために使用したりすることは絶対に避けてください。

警告: ハーネスやテザーストラップが損傷したり摩耗したりしていないか、必ず点検してください。

警告: チャイルドシートまたは補助シートの取り付けに使用されているシートベルトに対して、シートベルトエキステンダーは使用しないでください。

警告: お子さまがチャイルドシート内にしっかり固定されている場合でも、お子さまのそばから離れないようにしてください。

警告: 事故の際に使用していたチャイルドシートを再度使用することは絶対に避けてください。チャイルドシートの検査や取り替えはチャイルドシートの取扱説明書に従って行ってください。

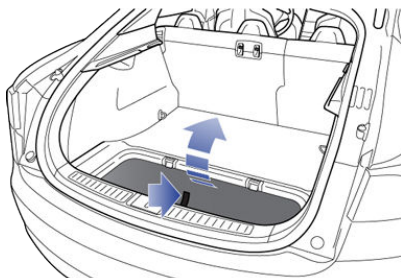
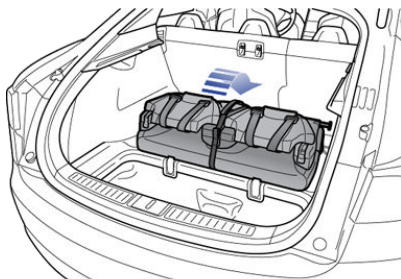
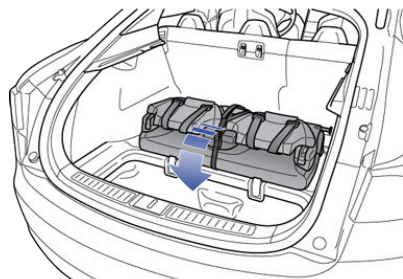
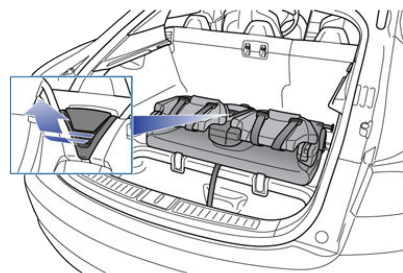
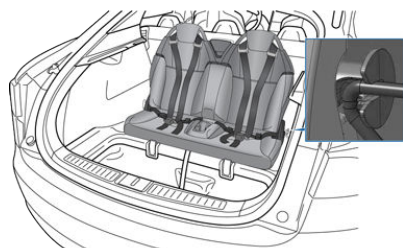
使用制限

Tesla ビルトインタイプ後ろ向きチャイルドシート (オプション) は、国連 ECE 規制 R44.04 標準の質量グループ II と III 、体重 15 ～ 36 kg のお子さまの使用を前提に認可されたチャイルドシートです。年齢 3 才～ 12 才の身長 98 - 135 cm のお子さま以外には使用しないでください。

絶対にお子さまの頭頂部が車両に触れないようにしてください。お子さまが快適に座っていられるように、必ずシートベルトは正しい位置に通し、きちんとラッチをかけてください。お子さまの骨盤を膝ベルトで正しい位置に固定してください。与えられた指示に従い、**このシート内で補助チャイルドシートを使わないでください。**

注: Tesla ビルトインタイプ後ろ向きチャイルドシートにお子さまを座らせているときは、車内の空気を循環させるのではなく、Model S 内に外気を取り込むようにエアコンを設定することをお勧めします。そうすることにより、後部座席エリアにより多くの空気が供給されるようになります。

開く

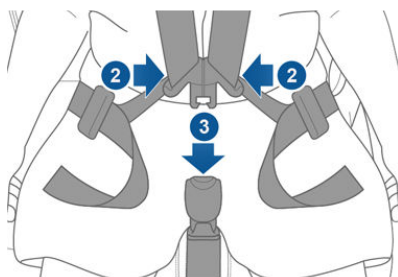
1. トランクフロアのカバーを外し、ストラップを引いてシートアセンブリを持ち上げます。

2. シートアセンブリを所定位置に押し込みます。

3. ベルクロストラップを外します。

4. ハンドルを引いてヘッドレストをシートバックから解放し、次にヘッドレストを手前に引いて広げます。

5. シートバックを垂直に起こし、所定位置にロックされるまで押します。固定金具がはまっていることを確認します。

6. シートバックとシートベースが垂直位置に確実に固定されていることを、シートバックを手前に引いて確認します。

お子さまを座らせる

Tesla ビルトインタイプ後ろ向きチャイルドシートは、国連 ECE 規制 R44.04 標準の質量グループ II と III 、体重 15～36 kg のお子さまの使用を前提に認可されたチャイルドシートです。年齢 3 才～ 12 才の身長 98 ~ 135 cm のお子さま以外には使用しないでください。

絶対にお子さまの頭頂部が車両に触れないようにしてください。お子さまが快適に座っていられるように、必ずシートベルトは正しい位置に通し、きちんとラッチをかけてください。お子さまの骨盤を膝ベルトで正しい位置に固定してください。与えられた指示に従い、**このシート内で補助チャイルドシートを使わないでください。**

注: Tesla ビルトインタイプ後ろ向きチャイルドシートにお子さまを座らせているときは、車内の空気を循環させるのではなく、Model S 内に外気を取り込むようにエアコンを設定することをお勧めします。そうすることにより、後部座席エリアにより多くの空気が供給されるようになります。

1. お子さまの腕がシートベルトの輪の中に入るようにお子さまの位置を決めます。
2. シートベルトの対の留め金をはめます。
3. シートベルトの留め金のラッチをバックルに差し込みしっかり締まっていることを確認します。

4. ショルダー ベルトを調節して、肩の一番高い位置にベルトを通し、顔からは離れるようにします。
5. バックルの長さを調節して、下側のストラップを骨盤に密着させます。骨盤がしっかり固定されるようにしてください。
6. お子さまがシート内に確実に収まるまで下側のストラップを引きます。
7. ショルダー クリップをスライドして、ベルトの上側部分が肩の上にとどまるようにします。

外すときは、バックルのボタンを押し、対になっているシートの拘束具を分離します。

チャイルドシートに関する警告

警告: Tesla ビルトイン タイプ後ろ向きシートは、国連 ECE 規制 R44.04 標準の質量グループ II と II 、体重 15 ～ 36 kg のお子さまが使用するものとして認可されたチャイルド シートです。年齢 3 才～ 12 才の身長 98 ~ 135 cm のお子さま以外には使用しないでください (お子さまの頭頂部が内装に触れないこと) 。

警告: Tesla ビルトインタイプ後ろ向きシート内で、ブースターシートなどの補助的なチャイルドシートシステムを使用しないでください。

警告: 絶対にお子さまの頭頂部が車両に触れないようにしてください。お子さまが快適に座っていられるように、必ずシートベルトは正しく締めてください。

警告: お子さまの安全を守るため、ビルトインタイプ後ろ向きチャイルドシートに関するすべての指示に従い、すべての警告に留意してください。

警告: 安全に関するすべての警告と、シートに付いているすべてのラベルを読んでください。

警告: チャイルドシートまたは Tesla ビルトインタイプ後ろ向きチャイルドシートに固定されている場合でも、Model S 内にお子さまを付き添いなしで車内に放置しないでください。暑い日は、車内の温度が危険なレベルまで上昇

し、脱水症状を引き起こしたり、重傷や死亡を招くことがあります、

警告: Tesla ビルトインタイプ後ろ向きチャイルドシートに付いている布地を取り除いたり、別のものに取り替えることは避けてください。カバーはシートがその役割を果たす上で重要なパーツです。取り除いたり、Tesla から提供されるカバー以外の種類に取り替えないでください。

警告: Tesla ビルトインタイプ後ろ向きチャイルドシートが事故などで擦り切れたときは、明らかな破損がなくても、Tesla の検査を受け、交換してください。

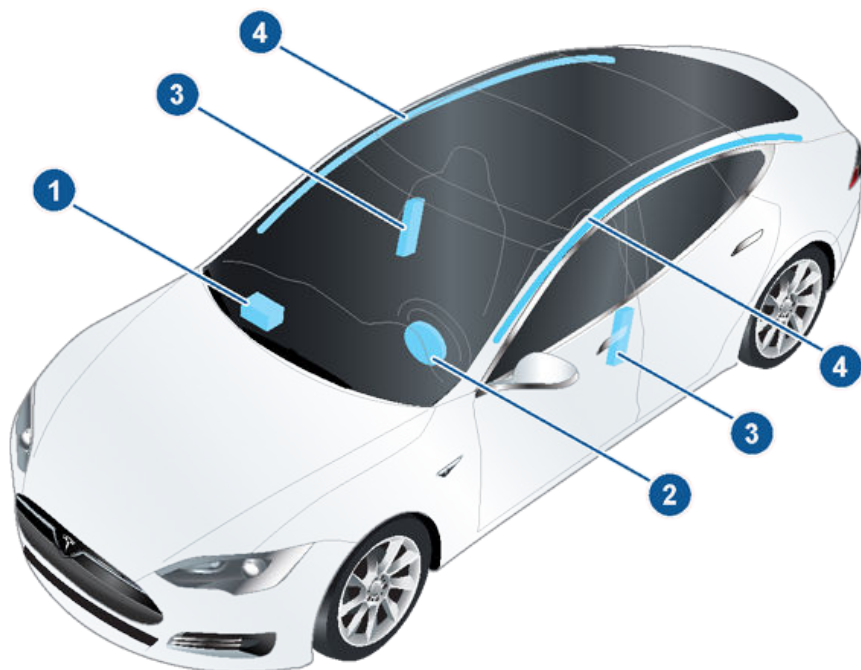
警告: Tesla ビルトインタイプ後ろ向きチャイルドシートにお子さまを乗せる前に、シートバックを手前に引いて、シートが垂直位置に確実に固定されていることを確認してください。

警告: いかなる理由（クリーニング等）であっても、Tesla ビルトインタイプ後ろ向きチャイルドシートを取り外さないでください。ご利用のお子さまの安全を確保するため、シートの撤去および設置は必ず Tesla のサービス技術者に依頼してください。

警告: Tesla ビルトインタイプ後ろ向きチャイルドシートの機能に影響を及ぼすような改造や部品の追加は行わないでください。

警告: 怪我を防ぐため、車内で固定されていないアイテム (バッグ、手荷物など) はすべて固定してください。事故、または急ブレーキや急カーブの際、固定されていないアイテムが怪我の原因となることがあります。

エアバッグの位置

エアバッグは下図に示す位置に設置されています。エアバッグについての注意事項は、サンバイザーに表示されています。

1. 助手席用フロントエアバッグ
2. 運転席ヘッドエアバッグ
3. サイドエアバッグ
4. カーテンエアバッグ

注: 右ハンドル車では、助手席と運転席の位置が逆になります。

エアバッグの動作

エアバッグは、衝突時のキャビンの速度の変化に反応して展開します。エアバッグの展開は減速率によって決定されます。

エアバッグは、大きな力で瞬時に展開し、大きな音を立てます。展開したエアバッグは、シートベルトとともに乗員の体の動きを制限し、けがのリスクを低減させます。

ヘッドエアバッグは、通常は追突、横転、正面または側面の軽微な接触、急ブレーキ、悪路の走行では展開しないように設計されています。このため、車体の外見が大きく変形してもエアバッグが展開しないことがあり、逆に、構造的な破損の場合には、比較的軽微な破損でもエアバッグが展開することがあります。

障がいをお持ちのかたのために、エアバッグシステムに影響が及ぶような改造をお考えの場合は、Teslaまでご連絡ください。

エアバッグの種類

先進ヘッドエアバッグ	ヘッドエアバッグは、お子さまや小柄な成人がフロントシートに乗車されていてもできるだけエアバッグに関連したけがを負わないように設計された先進エアバッグです。運転席のヘッドエアバッグはシート位置センサーで作動し、乗員の座っている位置をもとに展開レベルを調整します。乳幼児を含む小さなお子さまが助手席に乗車する場合は、安全のため、下記の要領で助手席ヘッドエアバッグをOFF にしてください。
サイドエアバッグ	サイドエアバッグは胸郭および骨盤を保護します。このエアバッグは側面から大きな衝撃を受けた時だけ展開します。衝撃を受けなかった側のサイドエアバッグは展開しません。
カーテンエアバッグ	カーテンエアバッグは頭部を保護するもので、通常は大きな側面衝撃がかかったとき、あるいは車両が横転したときにしか展開しません。衝撃を受けなかった側のカーテンエアバッグは展開しません。

助手席ヘッドエアバッグを OFF にする

お子さまが助手席に乗車するときは（乳児用または小児用チャイルドシートを利用する場合でも）お子さまが衝突時にエアバッグでけがをしないように助手席ヘッドエアバッグをオフにする必要があります。

注: お子さまをチャイルドシートで乗車させるときは、できるだけリアシートに乗車させてください。

車両の助手席側のフロントエアバッグとサイドエアバッグを OFF にするには、**「コントロール」** > **「設定」** > **「安全とセキュリティ」** > **「助手席 フロントエアバッグ」**の順にタッチします。

助手席ヘッドエアバッグの ON/OFF ステータスは、タッチスクリーンの右上隅に表示されます。このインジケーターにタッチして、助手席ヘッドエアバッグを ON または OFF にすることもできます。

OFF にスイッチしてもステータスが ON の場合（あるいは、その逆の場合）は、ただちに Tesla までご連絡ください。

注: Model S は静電容量式のタッチスクリーンを搭載しており、手袋をしている場合は、タッチしても反応しないことがあります。タッチスクリーンが反応しない場合は、手袋を外すか、指先に導電性の素材を使った専用の手袋を着用してください。

警告: 助手席ヘッドエアバッグが ON になっているときは、お子さまを乳幼児用または小児用チャイルドシートで助手席に乗車させないでください。大けがまたは死亡事故につながる可能性があります。

警告: 助手席エアバッグのコントロールが機能していないと思われる場合は、助手席に人を乗せないようにしてください。ただちに Tesla に連絡して車両点検を受け、必要であれば修理を依頼してください。

警告: Model S ではシートカバーを使用しないでください。事故発生時にサイドエアバッグの展開が制限される可能性があります。

エアバッグ展開の影響

エアバッグが展開するときは微粉末が放出されます。この粉末には皮膚に刺激を与える成分が含まれるため、目、切り傷や擦り傷に付着した際は、流水で完全に洗い流すようにしてください。

展開したエアバッグは収縮し、乗員にクッション効果を及ぼすと同時に、ドライバーの前方の視界が遮られないようにします。

エアバッグが展開したとき、あるいは車が事故にあったときは、必ずエアバッグとシートベルトのプリテンショナーなどの関連部品をチェックし、必要であれば Tesla に交換を依頼してください。

衝突時には、エアバッグの展開以外に以下のようなことが起こります。

- ドアがアンロックされ、ドアハンドルがせり出します。
- ハザード警告灯が点灯します。
- 室内灯が点灯します。
- 高電圧系統が OFF になります。

バッテリー電源を復旧させるには、タッチスクリーンで Model S、ブレーキを踏んで再度 ON にします。

エアバッグインジケーター

エアバッグシステムが故障している際は、計器パネルのエアバッグインジケーターが点灯したままになります。このインジケーターが点灯するのは本来 Model S を始動したときだけで、そのときは数秒で消灯します。点灯したままの状態の場合は、運転するのを控え、ただちに Tesla に連絡してください。

エアバッグについてのご注意

警告: 衝突時の大けがや死亡のリスクを最小限に減らすため、座席にエアバッグが装備されているかどうかに関わらず、ドライバーを始めすべての乗員は、必ずシートベルトを着用してください。

警告: フロントシートの乗員は、展開したエアバッグが破裂してけがをすることがありますので、エアバッグモジュールの上に腕を載せないでください。

警告: Model S ではシートカバーを使用しないでください。事故発生時にサイド エアバッグの展開が制限される可能性があります。また、乗員感知システムの精度が低下する可能性もあります。

警告: エアバッグはかなりの速度と力で展開し、それによってけがをすることがあります。けがを減らすため、乗員は必ずシートベルトを着用し、できるだけシートを後ろへ引いて正しく座るようにしてください。

警告: 前方でエアバッグが作動するシートにはチャイルドシートの使用を控え、お子さまを座らせないでください。エアバッグが展開したときに、けがや死亡事故につながる可能性があります。

警告: サイドエアバッグが正しく展開するように、乗員の胴体と Model S の側面の間のすきまはふさがないでください。

警告: 乗員は頭をドアにもたせかけないでください。カーテンエアバッグが展開したときに、けがをすることがあります。

警告: 乗員は、エアバッグの上または近くに足、ひざなど、体の一部を置いてエアバッグの作動を遮らないようにしてください。

警告: ヘッドエアバッグの上または近く、フロントシートの横、車両側面のヘッドライナー、エアバッグカバーなどには、物を取り付けたり置いたりしないでください。エアバッグの展開が妨げられる可能性があります。また、エアバッグが作動するほどの重大な衝突事故のときは、それらの物によって大けがをする可能性もあります。

警告: 展開したエアバッグは部分的に熱くなっています。熱がさめるまで、手で触れないでください。

ドライバーのプロフィールを作成

Model S にテックパッケージのオプションが付いている場合、Model S の調整は 1 回のみ必要です。運転席シート、ハンドル、または運転席側ミラーの調整を初めて行う場合、タッチスクリーンがこれらの情報を保存するようにドライバープロフィールを作成して保存するようメッセージを表示します。プロフィールにはタッチスクリーンの「設定」ウィンドウを使用して好みの値を他にも複数保存することができます。

「コントロール」 > **「設定」** > **「ドライバーのプロフィール」** の順にタッチすると (またはタッチスクリーンのステータス バーのドライバー アイコン をタッチして、**「ドライバーのプロフィールを作成」**にタッチすると) 新しいドライバーのプロフィールを追加することができます。ドライバー名を入力し、「プロフィールを作成」にタッチします。

プロフィールの保存後、ハンドル、運転席シート、または運転席側ミラーの位置を変更すると、新しい位置を保存するか、または前回保存した位置を復元するかを選択するメッセージがタッチスクリーンに表示されます (その他の設定は自動的に保存されます)。保存または復元せずに設定を使用するには、そのままメッセージを無視します。

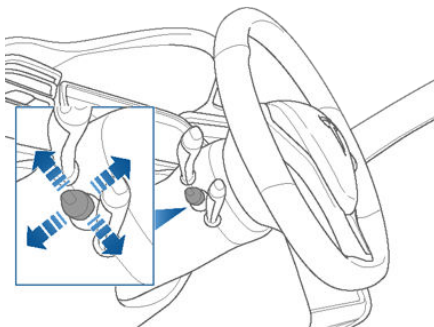
ドライバーのプロフィールの復元

Model S をドライバープロフィールに基づいて調整するには、タッチスクリーンのステータス バーの Tesla の「T」の左側にある「ドライバー」アイコンにタッチします。次にドライバーを選択すると、保存済みの調整内容が自動的に適用されます。

保存済みのドライバー設定

どの設定がドライバーのプロフィールに関連しているかを見るには、 **「コントロール」** > **「設定」** > **「ドライバーのプロフィール」**の順にタッチします。次に、**「保存内容を確認」**にタッチします。ドライバーのプロフィールに登録されている設定内容がポップアップ ウィンドウに一覧表示されます。設定内容は、Model S で現在実行されているソフトウェアバージョンによって異なります。

位置の調整

ステアリング コラムの左側にあるノブを動かして
ハンドルを好みの運転位置に調整します。

警告: 運転中に位置を調整しないでください。

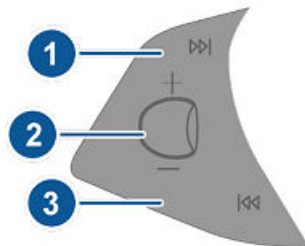
感度の調整

ハンドル システムの感触と感度をお好みに合わせて調整できます。

1. タッチスクリーンで 「**コントロール**」にタッチします。
2. ハンドルのオプションを選択します。
   - コンフォート：ハンドルを楽に回せます。この設定にすると、市街地で Model S を運転するときに運転と駐車が容易です。
   - スタンダード：あらゆる条件で最適な操作性と応答性が得られる Tesla 推奨の設定です。
   - スポーツ：ハンドルを回すのに力が必要です。高速で運転するときの Model S の応答性がよくなります。

実際にお試しになって、お好みのオプションを選択してください。

ハンドルの左ボタンを使用する

ハンドルの左側のボタンを使用して、ラジオ局を変更したり、メディア プレーヤーの音量を調整したり、計器パネルの左側に表示される情報を変更したりすることができます (Navigation アプリに指示が表示されていないときに)。

1. 次へ

   地上波ラジオまたは衛星ラジオを聞いており、複数のラジオ局がプリセットにある場合、このボタンを押すと現在再生中のラジオ局の次にあるプリセットを再生します。複数のプリセットが設定されていない場合は、このボタンを押すと次に受信可能な周波数へ移動します。

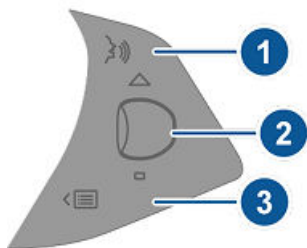
   インターネット ラジオ、接続している Bluetooth 機器または USB 機器のオーディオファイルを聞いているときにこのボタンを押すと、次の曲またはラジオ局へスキップします。
2. スクロール ホイール
   - 上または下に回してメディアの音量を調整します。
   - メディアの音量をミュートしたり、オーディオ ファイルを一時停止したり再生したりするには、ホイールをタップします。
   - 計器パネルの左側に表示される情報を選択するには、スクロール ホイールを押し続けて利用可能なオプションを表示します。次に、スクロール ホイールを回してオプションの一覧を見ます。目的のオプションが強調表示されたらスクロール ホイールをタップします。
3. 前へ

   前の曲またはラジオ局へスキップする点を除いて、操作方法は上記の「次へ」と同じです。

注: 計器パネル左側をどのようにカスタマイズしても、ナビゲーションの指示 (該当する場合) や Model S がドライブ ギアに入っているときにドアやトランクが開いていることを知らせるメッセージは計器パネルの左側に自動的に表示されます。

ハンドルの右ボタンを使用する

ハンドルの右側のボタンを使用して電話を操作したり、スクロール ホイールをタップして Model S の機能を選択/調整したり、計器パネルの右側に表示される情報を選択したりします。

注: 計器パネルの右側がどのようにカスタマイズされていても、Bluetooth 接続された電話の電話メニューは計器パネルの右側に自動的に表示されます。

1. 電話メニュー

   通話中に電話メニューを押すと、メニューで通話をミュートしたり、保留したり、終了したりすることができます。
2. スクロール ホイール
   - 計器パネルの右側に表示される情報を選択するには、スクロール ホイールを押し続けて利用可能なオプションを表示します。次に、スクロール ホイールを回してオプションの一覧を見ます。目的のオプションが強調表示されたらスクロール ホイールをタップします。
   - 計器パネルの右側にメニューが表示されているときにホイールを回すと、メニューの次の項目が強調表示され、ホイールをタップすると、強調表示されている項目が選択されます。メニューが表示されていないときにホイールを回すと、選択されている制御可能な機能を調整します (下記の項目 3 を参照)。
3. スクロール ホイールのカスタマイズ/メニューの終了

   スクロールホイールを押してから、「**電話**」 を選択し、連絡先や通話履歴を閲覧および選択します。

   スクロールホイールを押してから、「**カスタマイズ**」を選択し、メニューが表示されていないときにホイールを回し、そのつど調整したい Model S の機能を選択します。以下の機能から選択できます。
   - 「**すべて**」: ホイールを回して、利用可能なすべての機能から選択できます（以下を参照）。
   - 「**エアコンの温度**」: ホイールを回して温度を変更するか、ホイールを押して空調システムを ON/OFF にします。
   - 「**ファン速度**」: ホイールを回してキャビンの冷房または暖房に使用されるファンの速度を調整します。
   - 「**画面の明るさ**」: ホイールを回してディスプレイの明るさの度合いを調整したり、ホイールを押して標準設定に戻したりします。
   - 「**サンルーフ**」 (装備されている場合) : ホイールを回してサンルーフの位置を調整します。
   - 「**メディアソース**」: ホイールを回してメディア プレーヤーが再生する対象を変更したり、ホイールを押して現在再生中のラジオ局またはオーディオ トラックをお気に入りに追加したりお気に入りから削除したりします。

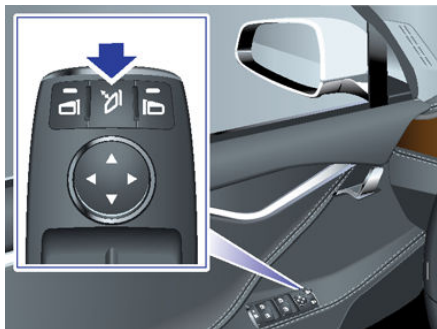
   メニューを終了するか、前のメニューに戻るには、任意の時点で右下のボタンを押します。

ホーン

クラクションを鳴らすには、ハンドル中央のパッドを押します。

サイドミラーの調整

調整したい (左または右の) サイドミラーに付いているボタンを押します。ボタンのランプが点灯している状態でダイヤルと押すと、ミラーを希望の位置まで動かすことができます。もう一方のサイドミラーも同様に調整します。Model S にテックパッケージのオプションが付いている場合は、タッチスクリーンの「保存」にタッチして、ミラーの調整をドライバーのプロフィールに保存しておく必要があります。

サイドミラーをたたむ場合は、センター ボタンを押します。

Model S にテックパッケージのオプションが付いている場合は、運転席側のミラーは、後続の車両からのヘッドライトのグレア（眩しさ）に応じて自動的に薄暗くなります (ギアがリバースに入っている場合を除く)。また、左右どちらのサイドミラーも、リア ウィンドウのヒーターとともに ON/OFF するヒーターを備えています。

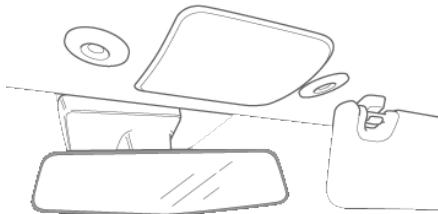
バックするときのミラーの自動角度調整

Model S にテックパッケージのオプションが付いている場合は、バックするときに左右どちらのミラーも下へ傾けることができます。自動調整される角度を調整するには、ギアをリバースに入れてからミラーを前述のように調整します (調整したいミラーに付いているボタンを押し、ダイヤルを押してミラーを希望の位置まで動かします)。タッチスクリーン上の **「保存」** にタッチし、ミラーの調整角度をドライバーのプロフィールに保存します。

ギアを Drive に戻すと、ミラーの角度はまた通常の位置 (上) へ戻ります。しかし、ミラーの角度は既に調整され保存されているため、ギアをリバースに入れるたびに、ミラーは選択した角度だけ自動的に下へ傾きます。

「コントロール」 > 「設定」 > 「車両」 > 「ミラー角度の自動調節」 の順にタッチして、自動角度調整機能を ON/OFF することができます。

バックミラー

ギアをリバースに入れているとき以外、バックミラーは後続の車両のヘッドライトからのグレア（眩しさ）に応じて自動的に薄暗くなります。

Model S の始動

ドアを開けると、計器パネルとタッチスクリーンに電源が入ります。計器パネルのセンター サークルには、ドアのステータスと充電レベルが表示され、あらゆる制御系統を操作できる状態になります。

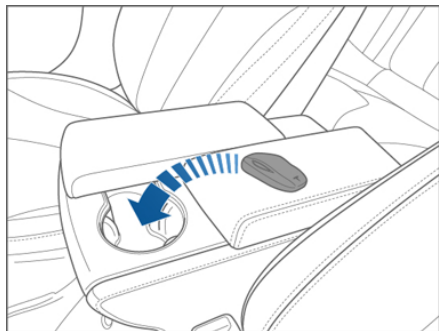
始動操作:

- **ブレーキを踏む** - 計器パネルのセンター サークルの表示がスピードメーター、電源 メーター、充電レベル、選択ギア (P、R、N、D) の表示に変わります。
- **ギアを入れる** - ドライブからリバースまでのいずれかを選択します。

運転中に把握する必要があることはすべて Model S が計器パネルに表示します。

キー非検出時

ブレーキを踏んだときに Model S がキーを検出しない場合、計器パネルにキーが検出されなかったことを伝えるメッセージが表示されます。

その場合、Model S がキーを最も検出しやすいセンター コンソールのカップ ホルダーに入れてください。

それでもキーが検出されないときは、キーをセンター コンソールの 12 V 電源ソケット (75 ページの「12V 電源ソケット」を参照) の真下に置いて試してください。あるいは、代わりのキーを試します。キーを代えても検出されないときは、Tesla に連絡してください。

Model S のキーの検出には、さまざまな要因が影響することがあります。たとえば、キーのバッテリー残量低下、他の無線デバイスとの干渉、キーとレシーバーとの間の障害物などです。

キーは常に携帯してください。走行終了後も、Model S を停止してから再始動するときにはキーが必要です。また、Model S から降車後、手動または自動でロックするときにもキーが必要です (6 ページの「降車後オートロック」を参照)。

停止

目的地に着いたら、ギア セレクターの端のボタンを押してギアをパーキングに切り換えます。自動的にパーキング ブレーキがかかりますが、まだすべてのシステムが動作しています。キーを持って Model S を降りると、その時点で自動的に電源がオフになり、タッチスクリーンと計器パネルの表示も消えます。

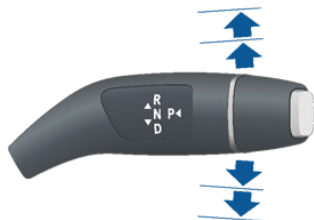
また、運転席に座っていても、ギアをパーキングに切り換えて 15 分が経過したら、やはり自動的に電源がオフになります。

ふだんは必要な操作ではありませんが、運転席に座ったまま手動で Model S の電源をオフにすることもできます。**「コントロール」 > 「E ブレーキと電源オフ」 > 「電源オフ」**の順にタッチします。ブレーキを踏むか、タッチスクリーンのどこかにタッチすると、Model S は再び自動的に電源をオンにします。

注: Model S は、降車するときにギアをニュートラルにしていても、キーを持った人が車外に出ると、自動的にギアをパーキングに切り換えます。Model S をニュートラルにしておく方法については、39 ページの「Model S をニュートラルのままにする - 牽引モード」を参照してください。

ギアシフト

Model S のギアをパーキングに入れている場合、ギアをシフトするにはブレーキを踏みます。

レバーを上方向または下方向に動かしてギアを変更します。

現在の走行速度で使用が制限されているギアにシフトしようとすると、チャイムが鳴り、ギアを変更することができません。

リバース

レバーを上方向いっぱいまで押して、放します。リバースへのシフトは Model S が停止状態かまたは走行速度が時速 8 km 未満の場合にのみ行うことができます。走行速度が時速 1.6 km 未満の場合は、ブレーキを踏む必要があります。

ニュートラル

レバーを上方向または下方向に押し、最初の位置に戻して放すとニュートラルにシフトされます。ニュートラルでは Model S が惰性走行します。

Model S がパーキングに入っている状態で、タッチスクリーンを使ってサイド ブレーキを解除すると (**「コントロール」 > 「E ブレーキと電源オフ」**)、Model S は ニュートラルにシフトされます (56 ページの「パーキング ブレーキ」を参照)。

ニュートラルを終了すると、Model S は自動的にパーキングにシフトされます。Model S をニュートラルのままにしておくには、タッチスクリーンで牽引モードにします (39 ページの「Model S をニュートラルのままにする - 牽引モード」を参照)。

ドライブ

レバーを下方向いっぱいまで押して、放します。ドライブへのシフトは Model S が停止状態かまたはリバースに入った状態で、走行速度が時速 8 km 未満の場合にのみ行うことができます。Model S の走行速度が時速 1.6 km 未満の場合、ドライブにシフトするにはブレーキを踏む必要があります。

パーキング

Model S が停止している状態で、ギア セレクターの先端部を押します。Model S がパーキングに入っているときは常時、サイド ブレーキが掛かります。

以下の場合は、Model S が自動的にパーキングにシフトされます。

- 車両から降りた場合。
- 充電ケーブルを接続した場合。

Model S をニュートラルのままにする - 牽引モード

走行が終了し、Model S を離れると毎回、Model S が自動的にパーキングにシフトされます。走行終了後、Model S をニュートラルにしてホイールをフリー状態にする場合は (トランスポーターへ引き込みたい場合など)、次のようにして牽引モードを起動してください。

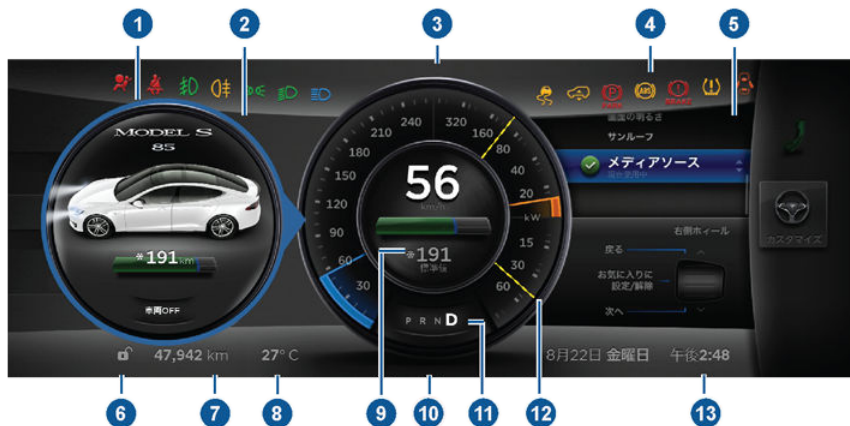
1. パーキングにシフトします。
2. ブレーキ ペダルを踏みます。
3. **「コントロール」 > 「E ブレーキと電源オフ」 > 「牽引モード」** の順にタッチします。

Model S のビープ音が鳴り、ニュートラルにシフトされます (サイド ブレーキが解除されたことを示しています)。

牽引モードが起動していると、Model S の計器パネルにこの表示灯と同時に Model S のホイールがフリー状態であることを示す

注: 牽引モードでは、Model S を走行用のギアにシフトすることはできません。牽引をキャンセルするには、パーキングにシフトするか、牽引モードを再度タッチします。または、タッチスクリーンでサイドブレーキをかけると (**「コントロール」 > 「E ブレーキと電源オフ」 > 「パーキングブレーキ」**)、牽引モードをキャンセルすることもできます。

計器パネルについて

注: 以下の図は説明目的で掲載されています。表示される情報は、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。

1. センター ディスプレイは、Model S がオフの場合と運転可能な場合とで異なります。Model S がオフの場合、センター ディスプレイには残りの予想航続距離とドアの状態が表示されます。ブレーキを踏むと Model S がオンになり、インジケーター類が 1 秒間点滅し、センター ディスプレイに速度、電力、充電レベル、予想航続距離 (項目 9 を参照)、有効なギアが表示されます。Model S が充電中の場合は、計器パネルに充電状態が表示されます (89 ページの「充電ステータス」を参照)。
2. ハンドルの左側のボタンを使用してオーディオ システムを操作します。スクロール ホイールを押して回転させることによって計器パネルの左側に表示される情報を変更することができます (35 ページの「ステアリングホイール」を参照)。
3. ここに表示される重要なメッセージに注意してください。
4. ブレーキを踏んで運転の準備を行うと、すべてのインジケーターが短い間点滅します。現在の状況を反映するインジケーターがある場合を除いて、その後すべてのインジケーターが消灯します (41 ページの「インジケーター」を参照)。
5. ハンドルの右側のボタンを使用して、電話を操作したり、Model S の機能を調整したりします。スクロール ホイールで調整できる機能をカスタマイズすることができます (36 ページの「ハンドルの右ボタンを使用する」を参照)。
6. ドアのロック状態
7. オドメーター
8. 外気温
9. 推定航続可能距離 (エネルギー)。航続距離の代わりに、バッテリー残量 (%) を表示することもできます。バッテリー残量を表示するには、 **「コントロール」** > **「設定」** > **「単位と形式」** > **「充電単位」** の順にタッチします (65 ページの「設定」を参照)。

   注: 充電の必要性が迫っている場合は、予想航続距離はガイドラインとしてのみ利用してください。

   注: 寒冷地では、バッテリーの温度が低すぎるため、バッテリーに蓄積されたエネルギーの一部が利用できない可能性があります。その場合は、バッテリー メーターの一部が青くなり、航続距離値の横に雪片のマークが表示されます。Model S が充電のために電源に接続されている場合、モバイルアプリを使用して温度調整機能を ON にすることで、バッテリーを温めることができます。バッテリーが温まると、メーターの青い部分と雪片のマークが表示されなくなります。
10. 計器パネルの下部中央に表示される警告メッセージに注意してください。警告が出ている場合は、タッチスクリーンのステータスバー (タッチスクリーンの最上部) の警告アイコン (! マーク) にタッチして警告の詳細を表示することができます。

11. 現在選択されているギア: パーキング、リバース、ニュートラル、ドライブ。
12. Model S が電力を制限している場合は、パワー メーターに点線が表示されます。加速用の電力が制限されていると、最上部に点線が表示され、回生ブレーキからの電力が制限されている場合には、最下部に点線が表示されます。Model S が電力を制限するには多くの理由があります。以下にいくつかの例を挙げます。
    - バッテリーの残量が低下していたり、パワートレインが熱い場合は、加速が制限されることがあります。
    - 外気温が非常に高い場合または非常に低い場合は、加速と回生ブレーキの両方が制限されることがあります。
    - バッテリーがフル充電されていると回生ブレーキが制限されることがあります。
13. 日付と時刻

インジケーター

ブレーキ ペダルを踏んで運転の準備をすると、インジケーターが短く点滅します。現状に該当するインジケーターがない限り、その後インジケーターは消灯します。インジケーターが点灯または消灯しない場合は、Tesla に連絡してください。

インジケーターのほか、警告が計器パネルの最上部または最下部の中央に表示されます。警告が出ている場合は、タッチスクリーンの最上部に警告アイコン (! マーク) が表示されます。このアイコンにタッチすると、警告の説明が表示されます。

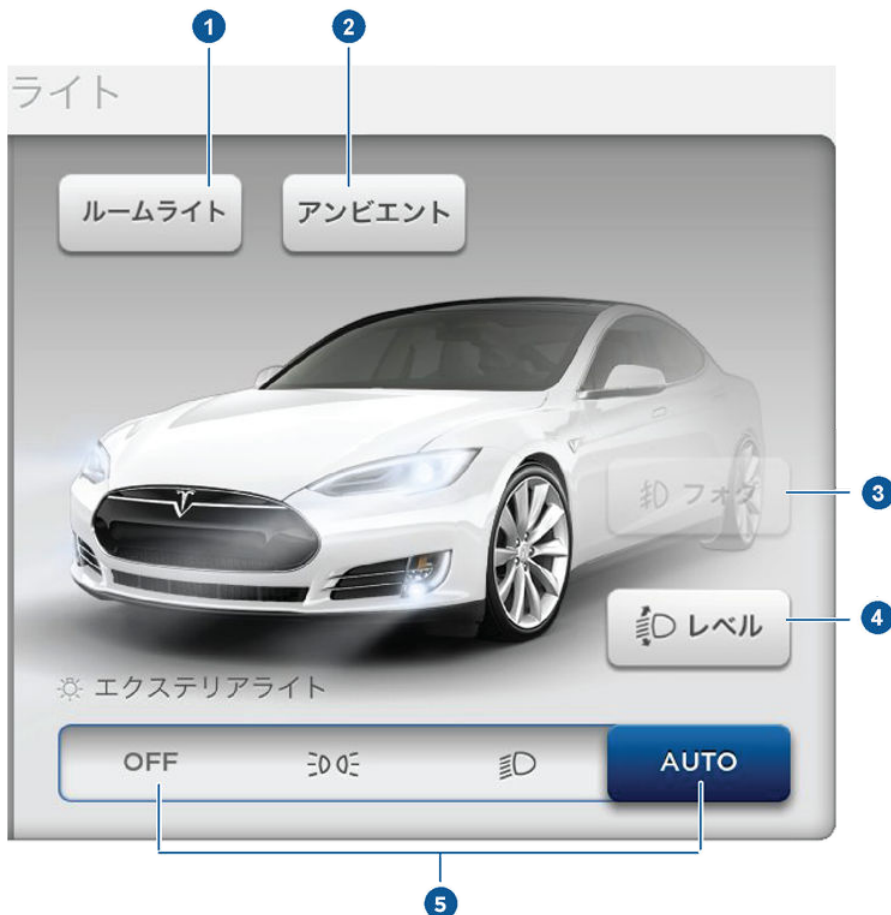
インジケーター	詳細
	エアバッグの安全性。Model S の運転の準備が整ったときにこのインジケーターが点滅しない場合、または点灯し続ける場合は、ただちに Tesla に連絡してください。33 ページの「エアバッグインジケーター」を参照してください。
	運転者または助手席の乗員がシートベルトを着用していません。18 ページの「シートベルト」を参照してください。
	フロント フォグランプ (オプション)。44 ページの「ライト」を参照してください。
	パーキングランプ (側面標識灯、テールランプ、ナンバーランプ) が点灯しています。44 ページの「ライト」を参照してください。
	ヘッドライトのロービームがオンになっています。
	ヘッドライトのハイビームがオンになっています。46 ページの「ヘッドライトのハイビーム」を参照してください。
	スリップを防止するために、電気安全制御システムが関連のあるホイールにブレーキを適用しています。57 ページの「トラクションコントロール」を参照してください。

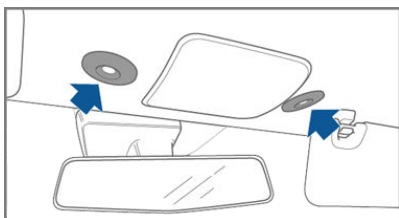
インジケーター	詳細
	トラクションコントロールシステムが無効になっています。57 ページの「トラクションコントロール」を参照してください。
	スマートエアサスペンションの不具合が検出されています。Tesla に連絡してください。71 ページの「スマート エア サスペンション」を参照してください。
	スマートエアサスペンションの自動セルフレベリングが無効になっています。これは、Model S がジャッキ モードになっており、持ち上げたり、車両輸送車に載せたりする準備が整っていることを意味します。Model S を時速 7 km 以上で運転すると、ジャッキモードは解除されます。71 ページの「スマート エア サスペンション」を参照してください。
	パーキングブレーキが手動で作動しています。56 ページの「パーキング ブレーキ」を参照してください。
	パーキングブレーキの不具合が検出されています。Tesla に連絡してください。56 ページの「パーキング ブレーキ」を参照してください。
	ABS (アンチロック ブレーキ システム) の不具合が検出されています。55 ページの「ブレーキ」を参照してください。ただちに Tesla に連絡してください。
	ブレーキ システムの不具合が検出されているか、ブレーキフルードのレベルが低下しています。55 ページの「ブレーキ」を参照してください。ただちに Tesla に連絡してください。
	空気圧警告。タイヤの空気圧が許容範囲外になっています。タイヤ空気圧監視システム (TPMS) の不具合が検出されると、インジケーターが点滅します。TPMS が故障した場合は、Tesla に連絡してください。91 ページの「タイヤの手入れと保守」を参照してください。
	ドアまたはトランクが開いています。5 ページの「外部ドアハンドルを使用する」を参照してください。
	左折の方向指示器が動作していると緑色で点滅します。ハザードランプが動作していると、左右両方の方向指示器が緑色で点滅します。

インジケーター	詳細
	右折の方向指示器が動作していると緑色で点滅します。ハザードランプが動作していると、左右両方の方向指示器が緑色で点滅します。
	Model S が牽引モードになっており、ホイールがフリーの状態です。車両から降りても自動的にパーキングにシフトしません。129 ページの「ロードサービスご利用の注意」を参照してください。

ライトの調整

大半のライト類は、タッチスクリーン下隅の **「コントロール」** にタッチして調整します。

Model S は、タッチスクリーンから調整できるライト類のほか、運転者の行動に応じて自動的にオン、オフする便利なライト類を備えています。たとえば、ルームライト、標識灯、テール ランプ、ドア ハンドル ランプ、パドル ランプは、Model S のロックを解除したとき、ドアを開けたとき、パーキングにシフトしたときに点灯します。これらのライト類は、1 ~ 2 分後またはドライブ ギアにシフトしたとき、または Model S をロックしたときに自動的に消灯します。

1. ルームライトをオンにすると、Model S のロックを解除したとき、ドアを開けたとき、または P (パーキング) にシフトしたとき、車内のルーム (マップ) ライトが点灯します。ルームライトは、Model S をロックしてから、またはドライブギアにシフトしてから 60 秒後に消灯します。

   ルームライトのレンズを押すと、それぞれのルームライトを ON/OFF にすることができます。手動でルームライトをオンにすると、Model S の電源がオフになったときにルームライトが消灯します。手動でライトをオンにしたときに、すでに Model S の電源がオフになっていた場合、ライトは 60 秒後に消灯します。

2. アンビエントライトをオンにすると、ヘッドライトを点灯させるたびにドアアームレストのライトが点灯します。
3. Model S オプションのフロントフォグランプを搭載している場合は、フォグランプをタッチして ON/OFF にします。

   オプションのフロントフォグランプが点灯していると、必ず計器パネルのフロント フォグインジケーターが表示されます。

   フォグランプは、ヘッドライトが点灯している場合にのみ動作します。ヘッドライトが消灯しているときは、必ずフォグ ランプも消灯します。
4. Model S がコイルサスペンションシステムを装備している場合は、搭載荷重に応じてヘッドライトの角度を調整できます。リアトランクの荷物がかなり重い場合など、対向車の運転者がまぶしくないように、ヘッドライトの角度を下げる必要が生じることがあります。そのような場合は、「レベル」にタッチし、スライダーを目的の位置までドラッグします。

0	ヘッドライトの角度を下げません。フロントシートとリアシートに乗員が座っており、フロントトランクだけに荷物が入っている場合、ヘッドライトの角度を変更する必要はありません。
1	ヘッドライトを 1 レベルまたは 2 レベル下げます。フロントシートとリアシートに乗員が座っており、リアトランクに荷物が入っている場合に適しています。
2	

注: Model S がスマートエアサスペンションを装備している場合は、Model S の高さが自動的に調整されるため、ヘッドライトの角度は調整できません。

5. 外部ライトは、Model S を始動させるたびに AUTO に設定されます。

「AUTO」	周囲が暗いときに運転すると、すべての外部ライト (ヘッドライト、テール ランプ、ポジション ライト、ナンバー ライト) が自動的に点灯します。前回運転した際に選択した設定に関わらず、これらのライト類は、次回の運転で常に 「**AUTO**」 に戻ります。

外部ライトの設定を一時的に変更するには、以下のオプションのいずれかにタッチします。

「OFF」	手動で ON に戻すか、次回 Model S を運転するまで、ヘッドライト、テール ランプ、ナンバー ライトが消灯します。昼間走行灯 (フロント) のみが点灯します。
	昼間走行灯、リアポジションライト、ナンバー ライトが点灯します。
	すべての外部ライト (ヘッドライト、テール ランプ、ポジション ライト、ナンバー ライト) が点灯します。

ヘッドライトのハイビーム

左側のステアリングコラムレバーを奥に向かって押します。操作を取り消すには、レバーを手前に引きます。

ハイビームがオンになると、計器パネルのハイビームインジケーターが点灯します。

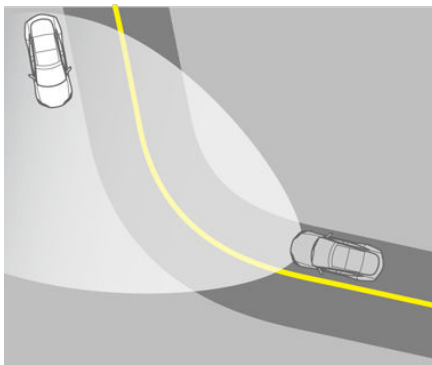
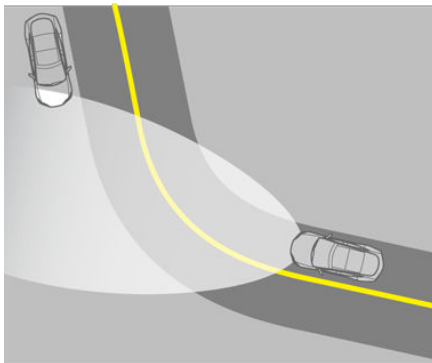
ヘッドライトハイビームを点滅させるには、レバーを手前いっぱいに引いた後、離します。

降車後のヘッドライト

周囲が暗い場所に Model S を停めて駐車すると、外部ライトが自動的に点灯します。2 分後または Model S をロックすると、外部ライトは自動的に消灯します。

タッチスクリーンを使用してこの機能を ON/OFF にすることができます。**「コントロール」 > 「設定」 > 「車両」 > 「降車後のヘッドライト」**の順にタッチします。

コーナリング ライト

Model S にオプションのテックパッケージが付属していれば、カーブを曲がるたびに LED のコーナリング ライトによってヘッドライトのビームが広がります。

ウィンカー

左側のステアリングコラムレバーを上げるか (右折する前)、下げます (左折する前)。

ハンドルを操作するか、レバーを中央の位置に戻すと、ウィンカーが停止します。

ウィンカーが動作していると、計器パネルの対応する方向指示器インジケーターが点灯します。カチカチという音も聞こえます。

車線変更の点滅

車線変更の意思を示すには、レバーをすばやく押し上げるか押し下げた後、離します。対応するウィンカーが 3 回点滅します。

ハザードランプの点滅

ハザードランプを点滅させるには、タッチスクリーンの横のハンドルに一番近い位置にあるスイッチを押します。すべてのハザードランプが点滅します。もう一度押すとハザードランプが消灯します。

注: ハザードランプは Model S のキーが近くになくても動作します。

ワイパー

フロントガラスのワイパーを作動させるには、左側のステアリング コラム レバーの先端を奥へ回します。4 つのレベルから選択できます。

- 1st: Auto と低レインセンサー感度*
- 2nd: Auto と高レインセンサー感度*
- 3rd: 連続、低速。
- 4th: 連続、高速。

ワイパーを 1 回動かすには、レバーの先端を押して離します。

ワイパーが Auto に設定され、センサーが水を感知しない場合は、ワイパーは動きません。

ワイパーを動かすと、ヘッドライトが (すでに点灯していなければ) 自動的に点灯します。

*Model S は、フロントガラスの内側、車内ミラーの基部にレインセンサーを備えています。ワイパーが Auto に設定されていると、センサーが感知した水の量に応じてワイパーの動く頻度が変わります。ワイパーを 2nd レベルに設定すると、センサーの感度がより高くなります。

ワイパーブレードを長持ちさせるために、ワイパーを ON にする前にフロントガラスの氷を除去してください。氷はエッジが尖っており、ブレードのゴムを傷める可能性があります。

ワイパーブレードのエッジを定期的にチェックし、クリーニングしてください。損傷している場合は、ただちにブレードを交換してください。ワイパーブレードのチェックと交換について詳しくは、103 ページの「ワイパー ブレードとウォッシャー液ノズル」を参照してください。

注意: 厳しい気象条件では、ワイパーブレードが凍結していたり、フロントガラスに付着していないことを確認してください。

ワイパーの除氷

ワイパーの氷や雪を除去しやすくするために、Model S をパーキングにシフトしてから、タッチスクリーンで ワイパーをサービスポジションへ動かします。**「コントロール」 > 「設定」 > 「車両」 > 「サービスモード」 > 「ON」**の順にタッチします。寒い屋外に駐車するときは、Model S のワイパーをサービスポジションにしておくと便利です。このポジションでは、除霜通気口にワイパーがより近くなるため、空調システムから出る空気をフロントガラスに向けることによって氷を溶かすことができます。

Model S に寒冷地パッケージが装備されている場合、 **「コントロール」 > 「寒冷地設定」 > 「ヒーテッドワイパー」**の順にタッチして、ワイパーを除氷することができます。ワイパーが 15 分加熱された後、この機能は自動的に OFF になります。

注: Model S をパーキング以外にシフトすると、ワイパーは自動的に通常の位置に戻ります。

ウォッシャー

左側のステアリング コラム レバーの先端のボタンを押すと、フロント ガラスにウォッシャー液が噴射されます。このボタンを押すレベルには 2 段階あります。軽く押すとワイパーが 1 回作動し、ウォッシャー液は噴射されません。ワイパーとウォッシャーの両方を作動させるには、ボタンを強く押します。フロント ガラスの洗浄では、ボタンを離した後ワイパーが 2 回作動し、数秒後にもう 1 回作動します。

ウォッシャー液は定期的に補充してください (107 ページの「ウォッシャー液の補充」を参照)。

ウォッシャー ノズルの除氷

Model S に寒冷地パッケージが付いている場合は、外気温が氷点下近くになるか、加熱式ワイパー を ON にすると (**「コントロール」 > 「寒冷地設定」 > 「ヒーテッドワイパー」**) ウォッシャーノズルに付属している除氷装置が ON になります。外気温が凍結防止に十分な温度の場合は、加熱式ワイパーが OFF になってから 15 分後にウォッシャーの除氷装置も OFF になります。

車線逸脱警報の動作原理

Model S にオプションのドライビングアシストが付属している場合は、フロントガラス上の内部バックミラーの後ろに付いているカメラが、走行している車線内にある標識をモニターします。前側のタイヤが車線区分線を横切り、関連する方向指示器が点灯しないときは、ハンドルの軽い振動を 3 回感じます。

車線逸脱警報は Model S が時速約 50 km 以上で走行しているときのみ動作します。

警告: 車線逸脱警報は無意識に車線を越えて走行しているときに警報しますが、この機能に完全に依存しないようにしてください。外部要因によって車線逸脱警報の性能が低下し、センサーが読み取り不能になったり読み取りエラーが生じる場合があります。したがって、このシステムを車線逸脱を防止するために使用することは重傷や死亡につながるおそれがあります。車線逸脱警報は補助としてご利用ください。運転中は常にご自分の目で路上を確認してください。警戒を怠らず、安全運転で、車両が車線を逸脱しない状態を確保し、常に車両を制御してください。

注意: 車線逸脱警報を搭載した Model S のフロントガラスの交換が必要な場合は、警報の誤作動を防ぐためにも、車両を Tesla サービスセンターまでお持ちください。

車線逸脱警報のコントロール

レーン アシストを ON/OFF するには、**「コントロール」** > **「設定」** > **「ドライビングアシスト」** > **「車線逸脱警報」** の順にタッチします。

制限および不正確な記述

車線逸脱警報は、車線を明瞭に検出できるとは限りません。以下のような場合に、無効な警報を受ける場合があります。

- 視界が悪く、車線区分線がはっきり見えない (豪雨、降雪、濃霧など)。
- 明るい光 (対向車のヘッドライトや直射日光) がカメラの視野を妨げている。
- 走行中の Model S が前方の車両に近づきすぎて、カメラの視野が遮られる。
- バックミラー後部のフロントガラス部分が遮られている(ガラスのくもり、汚れ、シールが貼ってあるなど)。 (くもり、汚れ、ステッカーが貼られているなど)。
- 車線区分線が著しく劣化していたり、道路工事のため調整さ頻繁に変更されている。
- 車線区分線が頻繁に変更される (たとえば、道路が枝分かれしたり、交差、統合する)。
- 道路がせまく、曲がりくねっている。
- 車線区分線上に影を落とすような物体や景観物がある。

アクティブボンネット

Model S は、歩行者や自転車走行者と車両車両の正面衝突時に瞬間的に作動して歩行者らの頭部への衝撃を軽減する保護システムを備えています。
Model S が 時速 19 ～ 53 km で走行中に歩行者と衝突し、その衝撃をフロント バンパー内のセンサーが検出すると、ボンネットの後部が自動的に約 80 mm 上昇します。これにより、比較的柔らかいボンネットとその下の固い部品との間にスペースができ、そこに衝突時の衝撃エネルギーの一部が吸収されます。

注: 歩行者保護システムは、一連のセンサーとアルゴリズムによりアクティブボンネットを作動させるタイミングを決めます。したがって、保護システムが衝突時に必ず作動するとは限りません。

アクティブボンネットが作動したときは、計器パネルに警告が表示され、チャイムが鳴ります。ただちに、Model S を最寄りの Tesla サービスセンターへ運んでください。アクティブボンネットが作動した場合は、そのつどアクティブボンネットの関連センサーおよびアクチュエーターを Tesla で整備する必要があります。

警告: アクティブボンネットが作動すると、ボンネットが上昇し、ドライバーの視界を遮ることがあります。ボンネットが作動した車を運転することは、衝突につながる恐れがあります。ボンネットが作動した車はただちに 最寄りの Tesla サービスセンターへ運んでください。

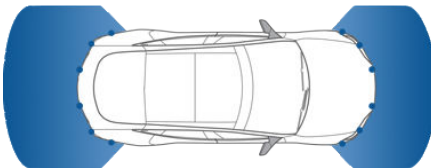
警告: アクティブボンネットが作動する必要のないときに作動したことを示す警告が計器パネルに表示されるときは、ただちに Model S を最寄りの Tesla サービスセンターへ運んでください。

注: フロント バンパーが損傷した場合は Tesla にご連絡ください。お住まいの地域にある Tesla 認定修理センターをご案内します。Tesla 認定の修理センターは、技術トレーニング、設備、品質、顧客満足度など Tesla の設定する厳しい基準を満たしています。

パーキングアシストの動作原理

Model S がパーキングアシストオプションを装備している場合、フロント バンパーとリア バンパーの両方に 4 つのセンサーがあります。ドライブまたはリバースでゆっくり動いているときにフロント バンパーまたはリア バンパーの近くで物体が検出されるとセンサーが警告を発します。

警告: 下図に示すパーキングアシストは見本です。パーキングアシストセンサーの正確な数と位置は、お客さまの Model S の製造日に応じて変わることがあります。

時速 4.8 km 未満で運転すると、センサーが作動します。

警告: 近づいている場所に物体があったり人がいたりするかどうかを調べるときに、パーキングアシストに頼らないでください。外部要因によってパーキングアシストの性能が低下し、センサーが読み取り不能になったり読み取りエラーが生じる場合があります (52 ページの「制約と誤警告」を参照)。従って、パーキングアシストに頼って Model S が障害物に近づいているかどうかを判断すると、車両や物品を損傷したり、大けがの原因となるおそれがあります。必ず自分の目で近づいている場所を確認してください。バックするときは、後ろを振り返って、すべてのミラーを利用してください。パーキングアシストはお子さま、歩行者、自転車、動物、または移動したり突起している物体、センサーのはるか上または下にある物体、センサーのすぐ側もしくは離れたところにある物体を検出できません。パーキングアシストは誘導のみを目的としており、運転者自身の直接の目視による確認を肩代わりすることは意図していません。パーキングアシストは注意深い運転に代わるものではありません。

視覚的、聴覚的フィードバック

リバースまたはドライブにギアを入れて Model S が 時速 4.8 km 未満の速度でゆっくり移動しているときに、リア バンパーまたはフロント バンパーの近くで物体が検出されると、注意を促すフィードバック情報が計器パネルの左側に表示されます。バックしていると、視覚的フィードバックもタッチスクリーンのカメラ ビューの真下に表示されます (60 ページの「リア ビュー カメラ」を参照)。

チャイムがオンになっていれば (51 ページの「チャイムによるフィードバックの調整」を参照)、物体に近づいたときにビープ音が鳴ります。ハンドルの左側のスクロール ホイールを押すことによって一時的にチャイムをミュートすることができます。

注: センサーがフィードバックを出力できない場合は、計器パネルに警告メッセージが表示されます。

注意: センサーに泥、ゴミ、雪、氷が付着しないように注意してください。高圧洗浄機をセンサーに使用しないでください。センサーの表面を傷つけたり損傷したりするおそれのある尖ったものや研磨剤でセンサーをクリーニングしないでください。

注意: パーキング センサーの上または近くにアクセサリーを取り付けたりステッカーを貼ったりしないでください。

チャイムによるフィードバックの調整

パーキングアシストを使用するときの音によるフィードバックをオン/オフすることができます。チャイムをオン/オフするには、**「コントロール」** > **「設定」** > **「安全とセキュリティ」** > **「パーキング アシスト チャイム」** の順にタッチします。

ハンドルの左側のスクロール ホイールを押すことによって一時的にチャイムをミュートすることもできます。その場合、チャイムは、他のギアにシフトするまで、または速度が 時速 4.8 km を超えるまでミュートされます。

制約と誤警告

以下の場合はパーキング センサーが正しく機能しないことがあります。

- 1 つまたは複数のパーキング センサーが損傷していたり、汚れていたり、(泥、氷、雪などで) 覆われていたりする場合。
- 物体がおよそ 20 cm 下にある場合 (縁石や低い柵など)。
- 気象条件 (豪雨、降雪、濃霧) がセンサーの動作に干渉している場合。
- 物体が薄い場合 (道路標識など)。
- センサーの動作範囲を超えている場合。
- 物体が音を吸収する場合またはやわらかい場合 (粉雪など)。
- 物体が傾斜している場合 (傾斜している土手など)。
- 外気温度が極端に高いまたは低い環境で Model S を駐車したり運転したりした場合。
- センサーが超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- 物体がバンパーに近すぎる場合。
- バンパーがずれている場合または損傷している場合。
- Model S に取り付けられている物体がセンサーと干渉していたり、センサーを妨害していたりする場合 (バイクラックやバンパーステッカーなど)。

その他のパーキング補助装置

パーキングアシストのほか、リバースギアにシフトすると、バックアップ カメラに Model S の周囲の映像が表示されます。60 ページの「リア ビュー カメラ」を参照してください。

走行情報を表示する

「コントロール」 > 「走行データ」の順にタッチすると、タッチスクリーン上に走行情報が表示されます。トリップメーターは A と B の 2 つあります。どちらか一方のトリップ メーターだけをリセットするには、対応する **「リセット」**にタッチします。

注: 計器パネル上に航続距離や走行情報を表示することもできます (35 ページの「ハンドルの左ボタンを使用する」を参照)。

航続距離を最大限に伸ばすヒント

ガソリンエンジン車で燃料を節約するのと同様の運転方法で航続距離を最大限に伸ばすことができます。エネルギー消費量は運転方法に加え、環境条件によっても変わります (寒冷な気候や山岳路など)。1 回の充電で最大限の航続距離を確保するに以下の点に留意してください:

- 急激な加速を頻繁に行わないでください。
- 減速にブレーキを使用せず、足をアクセル ペダルから離します。Model S が動いている状態でアクセル ペダルから足を離すと、回生ブレーキが作動して Model S を減速させ、余剰エネルギーをバッテリーに戻します (56 ページの「回生ブレーキ」を参照)。
- タイヤは推奨空気圧を維持してください (91 ページの「タイヤの手入れと保守」を参照)。
- 必要のない荷物は車両から降ろして、負荷を軽減します。
- ヒーターやエアコンなどの電装品の使用を控えます。キャビン内を暖房するより、シートヒーターを利用するほうが効果的です。レンジモードを ON にすると、自動的に空調システムの電源消費量が抑制されます (65 ページの「設定」を参照)。

計器パネルの電力メーターと Energy アプリがエネルギーの使用方法についてのフィードバックを表示します。このフィードバックにより、運転習慣と環境条件が Model S のエネルギー消費量にどのような影響を与えるか分かるようになります。

エネルギーの節約

Model S には省エネ機能があり、Model S を使用していないときの消費エネルギーを減らすことができます。**「コントロール」** > **「スクリーン」** > **「省エネモード」**の順にタッチし、以下のオプションを選択します:

- **「OFF」**: Model S を使用していないときもすべての表示システムが通電されたままとなり、素早い反応が得られます。エネルギー消費が多くなります。
- **「NIGHTLY」**: 夜間 (午後 10 時から朝 5 時まで) Model S が省エネモードに移行します。
- **「ON」**: Model S を使用していないときのエネルギー消費がかなり少なくなります。計器パネルと Bluetooth の起動が遅くなります。
- **「Always Connected」**: 省エネモードが機能しているときも電池の接続を維持します。このオプションにより、モバイル アプリと Model S の接続が速くなり、車に乗ってからすぐに 3G インターネット接続が可能です。エネルギー消費がやや多くなります。

ブレーキシステム

Model S は、最大のブレーキ圧をかけたときにホイールがロックすることを防止するアンチロック ブレーキシステム (ABS) を装備しています。この機構によって、大半の路面状態で急ブレーキ時のステアリング制御が改善されます。

緊急ブレーキ操作中は ABS が常に各ホイールの速度をモニターし、利用可能なグリップに応じてブレーキ圧を変更します。

ブレーキ圧が変わると、ブレーキ ペダルから振動が伝わります。これは ABS が作動していることを示すもので、異常な動作ではありません。振動が感じられる間は、ブレーキ ペダルを一定の圧力でしっかり踏み続けてください。

Model S を始動させると、計器パネルの ABS インジケーターが短く点滅します。それ以外の場合にこのインジケーターが点灯するときは、ABS が故障しており、機能していません。Tesla に連絡してください。ABS が故障していても、ブレーキシステムは影響を受けることなく完全に機能します。ただし、ブレーキの制動距離が長くなることがあります。

Model S の始動時に短く点滅する以外にこのインジケーターが計器パネルに表示された場合は、ブレーキ システムの故障が検出されたか、ブレーキフルードのレベルが低下しています。その場合は、ただちに Tesla に連絡してください。

緊急ブレーキ操作

緊急時は、摩擦力の低い路面上でも、ブレーキ ペダルを床まで力一杯踏み込んで圧力を保ち続けます。ABS は、利用可能な摩擦力に従って各ホイールのブレーキ圧を調整します。この機能によってホイールのロックが防止され、可能な限り安全に停車することができます。

警告: ブレーキ ペダルを軽く何度も踏むポンピングはしないでください。ポンピングは ABS の動作を妨げ、制動距離を長くするおそれがあります。

警告: 常に前の車との間に安全距離を保ち、危険な運転状況に注意してください。ABS は制動距離を改善することができますが、物理法則を変えることはできません。ABS はハイドロプレーニング現象 (水の層がタイヤと路面との直接の接触を妨げる現象) の危険を防ぐこともできません。

ブレーキの摩耗

Model S のブレーキ パッドはウエア インジケーターを備えています。ウエア インジケーターは、ブレーキ パッドに取り付けられた薄い金属片で、パッドが摩耗するとローターとの間でこすれてスキール音が鳴ります。このスキール音は、ブレーキ パッドの耐用寿命が尽き、交換が必要であることを示します。スキール音を止めるには、Tesla サービスにお問い合わせください。

タイヤとホイールを取り外して定期的にブレーキを点検する必要があります。ローターとブレーキ パッドの詳細な仕様と整備期限については、122 ページの「ブレーキ」を参照してください。

警告: 摩耗したブレーキ パッドを交換しないと、ブレーキ システムを損傷し、危険なブレーキ動作を招くおそれがあります。

回生ブレーキ

Model S が走行しており、運転者の足がアクセルから離れているときは、常に回生ブレーキが Model S を減速させ、余ったエネルギーをバッテリーに戻します。

停車に備えアクセルから足を離して減速することで、回生ブレーキを利用して航続距離を伸ばすことができます。もちろん、回生ブレーキは安全のために必要とされる通常のブレーキと同じ役割を果たすものではありません。

注: 急な坂などで回生ブレーキが効き、Model S が著しく減速すると、ブレーキ ランプが点灯し、Model S が減速していることを後続車に知らせて警告します。

計器パネルのパワー メーターに回生ブレーキから得られるエネルギー量に関するリアルタイムのフィードバックが表示されます。

回生ブレーキを利用してバッテリーに戻されるエネルギー量は、バッテリーの現在の状態と使用している充電レベルの設定によって異なることがあります。回生ブレーキが制限されていると、パワーメーターに黄色い点線が表示されます。たとえば、バッテリーがすでにフル充電されていたり、外気温が低い場合は、回生ブレーキ動作が制限されることがあります。

回生ブレーキ レベルを設定するには

タッチスクリーンを使用して回生ブレーキのレベルを変更できます。

1. **「コントロール」 > 「運転モード」 > 「回生ブレーキ」** の順にタッチします。
2. 2 つのレベルのどちらかを選択します。

- **「Standard」**: 回生ブレーキのレベルを最大にします。アクセルから足を離すと Model S がより早く減速し、ブレーキを使用する必要性が軽減されます。
- **「Low」**: 回生ブレーキのレベルを制限します。アクセルから足を離したときに Model S が減速するまでの時間がより長くなり、惰性走行がより長く続きます。

パーキング ブレーキ

Model S をパーキング位置にシフトすると、パーキング ブレーキが自動的に作動し、他のギアにシフトするとパーキング ブレーキが解除されます。

注: パーキング ブレーキは後輪のみに作用し、足踏みブレーキ システムからは独立しています。

手動でパーキング ブレーキを解除するには、タッチスクリーンを使用します (パーキング ブレーキが解除されると、Model S はニュートラルにシフトします)。

1. **「コントロール」 > 「E ブレーキと電源オフ」** の順にタッチします。
2. ブレーキ ペダルを踏み、「パーキングブレーキ」にタッチします。Model S がパーキングになっていた場合は、ニュートラルにシフトします。

PARK タッチスクリーンを使用して手動でパーキング ブレーキを作動させると、計器パネルのパーキング ブレーキ インジケーターが点灯します。

パーキング ブレーキに電気的な問題が発生すると、タッチスクリーンの上部中央に黄色いパーキング ブレーキ故障メッセージが表示されます。

注意: 万一 Model S の電源が切れた場合、パーキング ブレーキを解除することはできません。

動作の仕組み

トラクションコントロールシステムは、常に前輪と後輪の速度差をモニターしています。Model S のトラクションコントロールが低下すると、トラクションコントロールシステムはブレーキ圧とモーターの電力を制御して車輪の回転を最小にします。

トラクションコントロールシステムがブレーキ圧とモーターの電力を効果的に制御しているときは、常に計器パネル上に電子安定性制御インジケーターが表示されます。

警告: トラクションコントロールシステムは、危険な運転や高速で急回転することで引き起こされる事故を防止するものではありません。

オフにする

通常の状態では、トラクションコントロールシステムはオンにしておいてください。以下のような、どうしても車輪を回転させたいという場合に限って、システムをオフにします。

- 砂利や雪などの緩い路面での発進。
- 深雪や砂、泥道での走行。
- 穴や深い轍からの脱出。

トラクションコントロールをオフにするには、**「コントロール」** > **「運転モード」** > **「トラクションコントロール」** > **「オフ」**の順にタッチします。

トラクションコントロールシステムをオフにすると、タッチスクリーン上部中央に、常に「トラクション コントロール OFF」インジケーターが表示されます。

次回 Model S を発進するとき、トラクションコントロールシステムは自動的にオンになりますが、システムをオフにしなければならない状況がなくなったら、タッチスクリーンを使ってすぐにシステムをオンにしてください。

クルーズ コントロールの操作

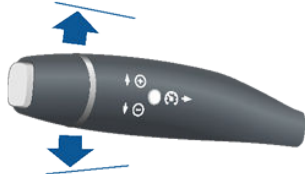
クルーズ コントロールを使用すると、アクセルを踏み続けなくても簡単に一定の速度を維持することができます。これは長距離走行時に同じ速度を維持して走行したい場合に便利です。

クルーズ コントロールは走行速度が時速 27 km を超える場合のみ動作します。

警告: 山道や滑りやすい路面または一定速度での走行が危険な交通状況では、クルーズ コントロールを使用しないでください。

クルーズ コントロールの操作:

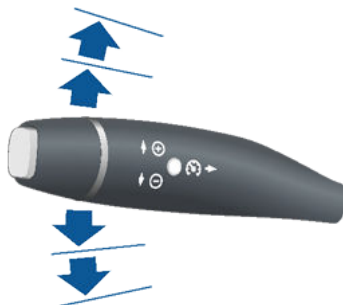
1. 走行速度が時速 27 km 以上の場合、クルーズ コントロール レバーの先端部にタッチします。レバーのライトが点灯します。

2. 必要な巡航速度まで加速します。
3. クルーズ コントロール レバーを上または下に動かして放します。

計器パネルの速度計の上方に「クルーズ ON」というメッセージが表示され、速度計に白い矢印で設定速度が表示されます。

クルーズ コントロールの設定速度で走行中は、いつでも加速できます。しかし、アクセル ペダルを放すと、再び設定速度に戻ります。

警告: 下り坂では走行速度が上昇し、Model S の速度が設定速度を超えることがあります。

巡航速度の変更

必要な速度になるまで、クルーズ コントロール レバーを上 (増加) または下 (減少) に動かします。

注: Model S が新たに設定した巡航速度に達するまで数秒かかります。設定速度を時速 27 km 未満に下げると、クルーズ コントロールがキャンセルされ、設定速度がクリアされます。

キャンセルおよび再開

以下のいずれかの場合、クルーズ コントロールがキャンセルされます。

- ブレーキを踏む。
- 時速 27 km 未満の速度で走行する。
- Drive 以外にシフトする。

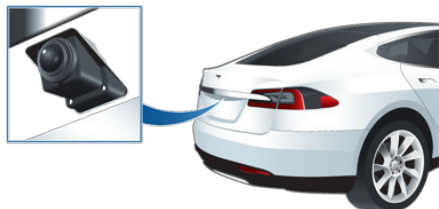
クルーズ コントロールを手動でキャンセルするには、クルーズ コントロール レバーを少しだけ前方へ押します。計器パネルのメッセージは消えますが、Model S の電源を切るまでは設定速度は表示されたままです。

前回の設定速度で再び巡航する場合は、クルーズ コントロール レバーを少しだけ手前に引きます。走行速度が 27 km を超えるとクルーズ コントロールが再開します。

ヒル スタート アシストでは、坂道で約 1 秒間ブレーキが自動的にかかります。これにより、足をブレーキ ペダルからアクセル ペダルへ移動させる間に Model S が惰性走行することを防止します。ヒル スタート アシストでは、 Model S のギアがドライブに入っていて上り坂の場合、またはリバースに入っていて下り坂の場合のみ、ブレーキがかかります。

警告: 約 1 秒経過すると、ヒル スタート アシストによるブレーキは解除されるため、車両が惰性走行する場合があります。したがって、ブレーキ ペダルからアクセル ペダルへの足の移動はすばやく行ってください。ヒル スタート アシストを過信しないようご注意ください。ヒル スタート アシストにより、Model S の惰性走行を 1 秒以上にわたって防止することはできません。ヒル スタート アシストを過信すると、事故につながる危険があります。

カメラ位置

Model S では、リアライセンスプレートの上にリアビューカメラが付いています。

ギアをリバースに入れると、このカメラの画像がタッチスクリーンに表示されます。

注: Model S がパーキングアシスト機能を装備している場合は、カメラ画像の下にパーキング センサーからの視覚的フィードバックが表示されます。51 ページの「パーキングアシスト」を参照してください。

警告: 車両をバックする際に、車両の背後に人がいるか、または障害物があるか、リアビューカメラの映像だけで判断しないでください。このカメラでは、車両への損傷や人身事故につながる可能性のある障害物や人を検出できない場合があります。また、カメラの検出能力はレンズの汚れや視界の遮断など、いくつかの外的要因によって低下することがあります。このため、リアビューカメラによってのみ Model S の背後に障害物があるかどうかを確認するのは、車両や物体への損傷、さらには重大な人身事故につながる危険性があります。必ずご自分の目で確認してください。バックするときは、後ろを振り返り、すべてのミラーを使用するようにし、カメラは補助としてご利用ください。カメラは目視確認の代わりおよび安全運転にとって代わるものではありません。

カメラのクリーニング

カメラのレンズはできるだけ鮮明な画像が得られるように清潔に保ち、視界が遮られないようにしてください。ゴミは、ときどき湿らせた軟らかい布でカメラのレンズを拭いて取り除いておいてください。

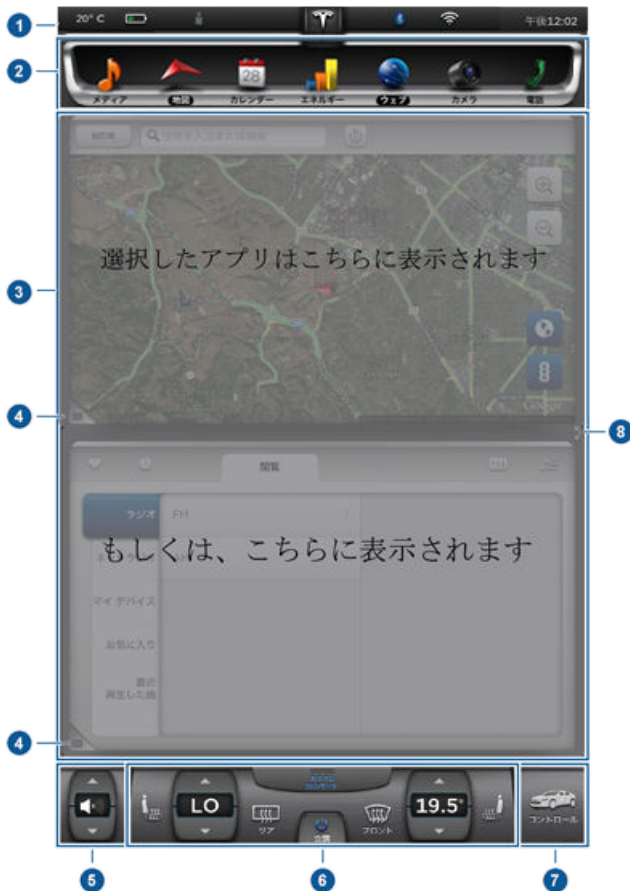
注意: カメラ レンズの表面に傷がつく可能性のある化学薬品系や研磨剤系のクリーナーは使用しないでください。

大画面

ここでは、タッチスクリーンの各部について説明します。明るさとコントラストを手動で調節するには、**「コントロール」** > **「スクリーン」**の順にタッチします。**「AUTO」**に設定すると、周囲の明るさに応じてタッチスクリーンの「昼」(明るいバックグラウンド) と「夜」(暗いバックグラウンド) が自動的に切り替わります。

注: 以下の図は説明のみを目的としています。タッチスクリーンは、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。

選択したアプリはこちらに表示されます

もしくは、こちらに表示されます

1. ステータスバー

   いちばん上の行には、充電、およびドライバーのプロフィール、車両情報 (Tesla の「T」)、ソフトウェアのアップデート、Bluetooth®, Wi-Fi 設定、助手席エアバッグ設定のショートカットがあります。ステータス記号は、外の気温、ネットワーク信号の強度、Bluetooth、Wi-Fi 設定、助手席エアバッグの状態、および時刻を示します。警告アイコン (! マーク) が表示された場合、それにタッチして現在有効な警告メッセージを確認してください。

   注: エアバッグのステータス記号は、Model S の電源が入っているときだけ表示されます。

2. アプリ

   アプリを主表示エリアに表示する方法はいくつかあります。

   - アプリのアイコンをタップすると、アプリが表示エリア上部に表示されます。アプリがすでに表示されている場合、もう一度タップするとフルスクリーン表示になります (フルスクリーンモードがあるアプリは限られています)。
   - アプリのアイコンを直接表示エリア上部または下部にドラッグします。
   - アプリのアイコンにタッチし続けるとポップアップが表示され、そこからアプリを主表示エリアの上に表示するか下に表示するかを選ぶことができます。

   メディア：73 ページの「メディアとオーディオ」を参照してください。

   カレンダー：78 ページの「カレンダー」を参照してください。

   エネルギー：54 ページの「航続距離を最大限に伸ばす」を参照してください。

   ウェブ：ウェブブラウザーを使ってインターネットにアクセスします (装備されている場合)。

   カメラ:Model S の後ろ側のエリアを映し出します。リバースにシフトしたときは必ずこのエリアが映し出されます。60 ページの「リア ビュー カメラ」を参照してください。

   電話：76 ページの「電話」を参照してください。

3. 主表示エリア

   選んだアプリによって、主表示エリアの内容が変わります (この例では、ナビアプリとメディアアプリが表示されています)。アプリ (ナビやウェブなど) によっては、タッチスクリーンの一般的な指操作によって拡大、縮小ができます。

4. アプリの最大化/最小化

   小さい四角型にタッチすると、対応するアプリが主表示エリアいっぱいに表示されます (拡大できないアプリもあります)。もう一度タッチすると、ふたつのアプリが画面の半分ずつに表示されます。

5. 音量調節

   上向き矢印と下向き矢印にタッチしてスピーカーの音量を上げたり下げたりします。ハンドルの左側にあるスクロールホイールを使って音量を調節することもできます。

6. 温度調整 (68 ページの「温度調整」を参照)。

7. コントロール

   タッチして、Model S のすべての制御や設定 (ドア、ロック、ライトなど) にアクセスします。

8. 現在表示されている 2 つのアプリの位置を入れ替えます。

警告: 運転者は、常に道路と交通状態に注意を払うことを最優先してください。車両乗員および道路歩行者の安全を確保するため、道路と交通状態が許す限りにおいてタッチスクリーンを操作してください。

Model S の機能を制御する

タッチスクリーンの下隅にある **「コントロール」** にタッチして、Model S のすべての主要な機能をカスタマイズします。

注: 以下の図は説明目的で掲載されています。コントロール画面で利用可能な機能は、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。

1. 閉じる

   ウィンドウを閉じるには、ウィンドウ左上の丸囲みの X にタッチします (または、ウィンドウの外側の任意の場所をタッチします)。
2. サンルーフ

   Model S にサンルーフが装備されている場合は、タッチして位置を調整します (14 ページの「サンルーフ」を参照)。
3. 運転

   - サスペンション

     Model S にスマートエアサスペンションが装備されている場合、タッチして Model S を手動で上げ下げします (71 ページの「スマート エア サスペンション」参照)。サスペンションの設定を変更するには、Model S のエンジンをかけるか、ブレーキ ペダルを押す必要があります。スマートエアサスペンションは、エンジンがかかっていなくても、Model S を水平に保ちます (セルフレベリング)。したがって、引き上げや牽引を行う場合は、セルフレベリングを無効にする必要があります (72 ページの「ジャッキモード」および114 ページの「ジャッキ アップと引き上げ」を参照)。
   - ステアリングモード

     どのくらいの力でハンドルを回すかを調節します。「スポーツ」に設定するとより素早い反応が得られ、「コンフォート」に設定すると運転や駐車の操作がより容易になります (35 ページの「ステアリングホイール」を参照)。
   - 回生ブレーキ

     運転中にアクセルを離すと、回生ブレーキにより Model S のスピードが落ち、余剰エネルギーがバッテリーに戻されます。「Low」に設定すると、Model S のスピードが急激に落ちることはありませんが、航続距離が低下することがあります (56 ページの「回生ブレーキ」を参照)。

     注: 設定に関わらず、バッテリーがフル充電されている場合や気温が極端に高いまたは低い場合は、回生ブレーキによって得られるエネルギー量は少なくなります (余剰エネルギーは、バッテリーを温めたり冷やしたりするために使われます)。
   - トラクションコントロール

     トラクションコントロールをオフにすると、計器パネルに警告メッセージが表示されます。オフの設定は、現在の運転に限って有効になります (57 ページの「トラクションコントロール」を参照)。
   - クリープ

     オンにすると、ブレーキを離したときに、Model S がドライブ状態であればゆっくり前進し、リバース状態であればゆっくり後退します (従来の自動車のオートマチック トランスミッションに相当します)。この設定は、Model S がパーキング状態のときだけ変更できます。
4. 寒冷地設定

   寒冷地オプションを備えた Model S の場合、全座席のヒーテッドワイパーを調節できます。さらに、タッチスクリーンの下にある主温度調整パネルを使って運転席と助手席の空調調節もできます (68 ページの「温度調整」を参照)。
5. トリップ

   トリップ メーターでこれまでの走行データを確認し、メーターをリセットします (53 ページの「走行情報」を参照)。
6. スクリーン

   タッチスクリーンの明るさを手動で調節したり、昼モード (明るいバックグラウンド) と夜モード (暗いバックグラウンド) の切り替えを行います。「AUTO」に設定すると、周囲の明るさに応じてタッチスクリーンの「昼」と「夜」の設定が自動的に切り替わります。また、Model S を省エネモードにしておくと、使用していないときの消費エネルギー量が少なくなります (54 ページの「航続距離を最大限に伸ばす」参照)。ただし、「スクリーン」設定は「設定」ウィンドウからアクセスすることもできます。
7. E ブレーキと電源オフ

   手動で以下の操作ができます。

   - サイドブレーキをかける/解除する (56 ページの「パーキング ブレーキ」を参照)。
   - 電源を切る (38 ページの「停止」を参照)。
   - 牽引モードにして、Model S のギアをニュートラルに保つ (39 ページの「Model S をニュートラルのままにする - 牽引モード」参照).
8. ドアとロック (6 ページの「内部ドアハンドルの使用」を参照)
9. ライト (44 ページの「ライト」を参照)

警告: 運転中はタッチスクリーンを見ないでください。衝突の危険性が高くなります。運転中に必要な情報はすべて計器パネルに表示されます。

Model S のカスタマイズ

「コントロール」ウィンドウの「設定」タブにタッチして、Model S をお好みに合わせて調整します。

注: 以下の図は説明目的で掲載されています。「設定」画面で利用できるオプションは、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域によって、これと異なることがあります。たとえば、多くの地域で「言語と単位」タブは「単位と形式」と呼ばれています。

1. インストールされているアプリ (アプリケーション) に関連のある設定を調整します。この時点で調整できる設定項目のないアプリはグレー表示されます。
2. ドライバーのプロフィールを管理します (34 ページの「ドライバーのプロフィール」を参照)。
3. 単位と形式

   Model S の表示方法を調整します。

   - 距離：航続距離表示、速度計、エネルギーチャート、トリップメーター、Google マップのルート検索およびナビゲーションの表示単位をマイルと km の間で切り替えることができます。
   - 時間：12 時間形式または 24 時間形式。
   - 温度：˚F または ˚C。
   - 充電単位：充電レベルの単位を残りのバッテリー エネルギーのパーセンテージまたは残りの航続距離のどちらかで表示します。
   - 航続距離表示：予想航続距離を次のどちらかで表示します。
     - 定格値 - ECE R101 テストに基づく表示。
     - 標準値 - US EPA テストに基づく表示。

     注: 充電の必要性が迫っている場合は、予想航続距離を大まかなガイドラインとしてのみ利用してください。
4. 車両
   - 走行時オートロック：オンにすると、Model S の速度が 時速 8 km を超えたときにすべてのドアが自動的にロックされます (6 ページの「走行時オートロック」を参照)。
   - 降車後オートロック：オンにすると、キーを携帯して Model S から離れたときに、すべてのドアが自動的にロックされます (6 ページの「降車後オートロック」を参照)。Model S にオプションのテックパッケージが付属している場合にのみ利用できます。
   - チャイルドロック：オンにすると、セーフティー ロックが作動し、Model S の車内からリア ドアとリフトゲートを開けられなくなります。
   - ドアハンドル自動せり出し：オンにすると、Model S がロックされているかどうかに関係なく、運転者がキーを持って Model S に近づいたときにドア ハンドルが自動的にせり出します (5 ページの「外部ドアハンドルを使用する」を参照)。バッテリーを長持ちさせるため、キーが 48 時間以上にわたって検出範囲外にある場合、または、すべてのドアが閉まってから 5 分経過してもキーが検出範囲内にある場合、Model S は一時的にオート プレゼント ハンドル機能を無効にするように設計されています。
   - 降車後のヘッドライト：オンにすると、運転者が車から出てから 2 分の間、または Model S をロックするまで、ヘッドライトが点灯し続けます (46 ページの「降車後のヘッドライト」を参照)。
   - タイヤ空気圧モニター：ホイールを交換した後、**「センサーをリセット」** にタッチして TPMS センサーをリセットします (94 ページの「TPMS センサーのリセット」参照)。
   - レンジモード：オンにすると、Model S は空調システムの電力を制限することによってエネルギーを節約します。このモードをオンにすると、キャビンの冷暖房の効果が低下しますが、シート ヒーターがオンになって効果の低下を補います。
   - サービスモード：オンにすると、ワイパーブレードを交換するときにアクセスしやすいように、ワイパー ブレードがサービス ポジションへ移動します。Model S をパーキング状態にする必要があります。103 ページの「ワイパー ブレードとウォッシャー液ノズル」を参照してください。
   - ミラー角度の自動調節：オンにすると、バックするときに外部ミラーが下に傾きます (37 ページの「ミラー」を参照)。Model S にオプションのテックパッケージが付属している場合にのみ利用できます。
   - ミラー自動格納：オンにすると、キーを使って、または降車後オートロック機能を利用して Model S をロックしたときに外部ミラーが折りたたまれます。運転者が Model S に戻ってくると、外部ミラーは自動的に開きます。この機能は、Model S に折りたたみ式ミラー (新 Model) とオプションのテックパッケージの両方が付属している場合にのみ利用できます。新しい Model S では、センター ミラー コントロール ボタンにタッチして手動でミラーを折りたたむこともできます (37 ページの「ミラー」を参照)。

- 車高自動降下：Model S がスマート エア サスペンションを装備している場合は、サスペンションが自動的に低車高へ移行するときの速度を設定できます (71 ページの「スマート エア サスペンション」を参照)。

5. 安全とセキュリティ

   さまざまな安全性とセキュリティの機能をオン、オフにします。

   - 助手席 フロントエアバッグ (32 ページの「助手席ヘッドエアバッグを OFF にする」を参照)。
   - パーキング アシスト チャイムなど、Model S が装備しているアクティブ セーフティー装置 (51 ページの「パーキングアシスト」を参照)。
   - Model S が装備しているアラームおよびセキュリティ オプション (79 ページの「セキュリティ設定」を参照)。
   - Tesla のモバイル アプリケーションを利用したリモート アクセス (82 ページの「モバイル アプリ」を参照)。

6. スクリーン

   タッチスクリーンの明るさを手動で調節したり、昼モード (明るいバックグラウンド) と夜モード (暗いバックグラウンド) の切り替えを行います。「AUTO」に設定すると、周囲の明るさに応じてタッチスクリーンの昼モードと夜モードが自動的に切り替わります。また、Model S を省エネモードにしておくと、使用していないときの消費エネルギー量が少なくなります (54 ページの「航続距離を最大限に伸ばす」参照)。ただし、スクリーン設定は「コントロール」ウィンドウからアクセスすることもできます。

7. ドライビングアシスト

   車両がパーキングアシスト機能を装備している場合は、車線逸脱警報 (49 ページの「車線逸脱警報」参照) のような機能をコントロールして、安全運転を体験できます。

8. マニュアル

   本オーナーズ マニュアルを表示します。

警告: 運転中はタッチスクリーンを見ないでください。衝突の危険性が高くなります。

Model S に名前を付ける

Model S をさらにカスタマイズするために、名前を付けることができます。Model S に付けた名前はモバイル アプリに表示されます。Model S に名前を付けるには、タッチスクリーンの最上部中央の**「Tesla “T”」** にタッチしてから、**「車の名前を入力」**にタッチします。

温度調整の概要

タッチスクリーンの最下部から空調にいつでもアクセスできます。空調は標準で「AUTO ON」に設定されています。この設定では、過酷な気象条件を除くあらゆる環境で最高の快適さが保たれます。温度を調整すると、システムが暖房、空調、空気供給、空気循環、ファンの速度を自動的に調整して設定した温度を維持します。これらの設定を変更するには、「**AUTO ON**」 にタッチします (69 ページの「空調のカスタマイズ」 参照)。

ファン、暖房、空調はバッテリーを電源としています。したがって、長時間使用すると航続距離が減少します。

注: 以下の図は説明目的で掲載されています。
表示される情報は、車両オプション、ソフトウェアバージョン、販売地域、設定により異なる場合があります。

1. フロント シートは 3 (最強) から 1 (最弱) の 3 つのレベルで動作するヒーターを備えています。

   動作中はインジケーターが赤く点灯し、設定番号が表示されます。

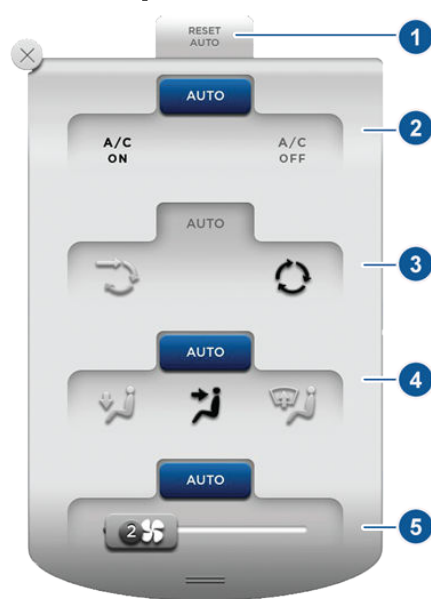
   注: Model S にオプションの寒冷地設定が付属している場合は、「**コントロール**」 > 「**寒冷地設定**」 の順にタッチすることによって、リア シートのシート ヒーターとヒーテッドワイパーも調整することができます (63 ページの「コントロール」 参照)。
2. 上矢印または下矢印にタッチしてキャビンの温度 (LO: 17° C から HI: 32° C) を設定します。運転席側と助手席側に同じ温度設定を適用するには、矢印にタッチすると表示される温度表示ポップアップ画面の「**連動モード**」にタッチします。
3. 自動/手動温度調整 (69 ページの「空調のカスタマイズ」を参照)。
4. リア ウィンドウのデフロスターは 15 分間リアウィンドウを温めた後*、自動的に停止します。

   *Model S にテックパッケージのオプションが付いている場合は、外部サイド ミラーも温めることができます。
5. 空調システムを ON/OFF にします。
6. フロント ガラスのデフロスターはフロント ガラスの表面に空気を流し、ヒーターとファンを最大レベルで動作させます。1 回タッチすると「Normal Defrost」に設定され、2 回タッチすると「Max Defrost」に設定されます。デフロスターが ON の状態でタッチすると OFF に切り替わり、空気供給、ヒーター、ファンが元の設定に戻ります。

警告: 長時間の使用によるやけどを防止するために、末梢神経障害を患っている方、糖尿病、加齢、神経損傷、その他の症状が原因で痛みを感じる機能が低下している方は、空調システムやシート ヒーターの使用の際に十分注意してください。

空調のカスタマイズ

空調システムは、ほとんどの状況で自動的に最高の快適さを保つように設計されています。お好みの温度を設定するだけで、空調、空気再循環、空気供給、ファンの速度が調整され、設定温度が自動的に維持されます。

自動設定を上書きするには「AUTO ON」にタッチして個別の設定を表示します。次に、変更したい設定にタッチします。設定を変更すると、「AUTO ON」アイコンの色が青からグレーに変わり、アイコンの表示が「RESET AUTO」に変わります。

1. 「RESET AUTO」にタッチすると、すべての設定が標準の値に戻ります。
2. 空調を ON/OFF にするには、「A/C ON」または「A/C OFF」にタッチします。オフにすると冷房効果は下がりますが、エネルギーの節約になります。

   Model S はガソリン車より走行音が格段に静かなため、コンプレッサーの動作音が気になることがあります。騒音を最小限に抑えるには、ファンの速度を下げるか、空気を再循環させます。
3. タッチして Model S に空気を取り込む方法を指定します。

	外気が Model S の車内に取り込まれます (70 ページの「換気」を参照)。非常に暑いときや寒いときは空気を再循環させるよりも効率が低下しますが、この設定ではより多くの空気がリア シート周辺に流れるため、Tesla ビルトインタイプ後ろ向きチャイルド シートにお子さまが座っている場合は、この設定にすることをお勧めします。
	Model S の車内で空気が再循環します。この設定では、外気 (排気ガスなど) が車内に入り込むことを防止できますが、除湿と冷房の効果は低下します。空気を再循環させることの利点はキャビンの前方を冷やす効果が最も高いことですが、騒音も最大になります。状況の変化によってフロント ガラスが曇るのを防止するために、1 時間ごとに短時間設定を変えて外気を車内に取り込んでください。

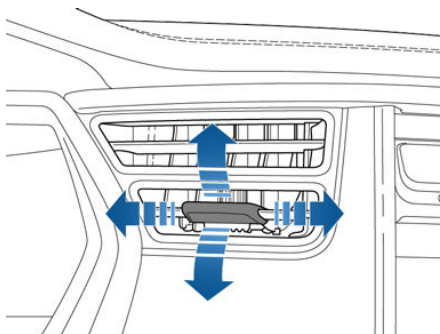
4. 以下のアイコンのいずれかにタッチして空気が流れる場所を選択します。複数の場所を選択できます。

	足元の通気口
	顔の高さの通気口
	フロント ガラスの通気口

5. スライダーにタッチし、ドラッグすることによってファンの速度を設定します。

換気

外気はフロント ガラスの前のグリルを通して Model S に取り込まれます。木の葉や雪などの障害物がグリルをふさがないようにしてください。

Model S 車内の空気の流れを変えるには、車内の通気口を上下左右に動かします。

注: 顔の高さにある外側の通気口をサイド ウィンドウに向けると、サイド ウィンドウの霜や曇りの除去に役立ちます。

キャビン エア フィルター

Model S は、花粉、産業降下物、道のほこり、その他の粒子が通気口から入り込むことを防止するエア フィルターを備えています。Tesla では、12 か月ごとの定期メンテナンスで、または 20,000 km ごとにエア フィルターを交換します。

温度調整の使い方のヒント

- エネルギーを節約するために、レンジモードをオンにして空調システムの消費電力を制限することができます。このモードをオンにすると、キャビンの冷暖房効果が低下しますが、シートヒーターがオンになって効果の低下を補います。**「コントロール」** > **「設定」** > **「車両」** > **「レンジモード」**の順にタッチします。
- 空調システムの動作音が大きすぎる場合は、ファンの速度を落とすか、空気の流れを調整し、外気を取り込みます(空気を再循環させる代わりに)。
- 車内を冷房するほか、空調システムはバッテリーも冷却します。したがって、暑いときは、空調システムを OFF に設定したとしても、ON になることがあります。これは、バッテリーの寿命を保ち、バッテリーの最適化性能に必要とされる最適な温度範囲にバッテリーを保つために、システムがバッテリーの冷却を優先するためであり、正常な動作です。
- 空調システムを効率的に動作させるために、すべてのウィンドウを閉め、フロント ガラス前面の外部のグリルに氷、雪、木の葉、その他の破片がつまらないように注意してください。
- 暑いときに快適な温度に達するまでの時間を短縮するために、運転開始時に数分間ウィンドウを少し開けて運転するようにしてください。
- 湿度が非常に高い場合、空調を ON にした直後にフロント ガラスが少し曇ることがあります。この曇りは数秒で消えます。
- 駐車している間、Model S の下に小さい水溜まりができることがあります。これは、湿気を除去する過程で発生した余分な水分が下から排出されたためで、正常な動作です。

注: Model S にスマート エア サスペンションが搭載されている場合、Model S の始動時、システムのリザーバにエアが充填される際にコンプレッサーの音が聞こえることがあります。

スマート エア サスペンションの動作モードには手動と自動の両方があります。

手動高さ調整

⚠ **注意:** サスペンションの高さを調整する際は、Model S の上方と下方に障害物が一切ないことを確認してください。

Model S の手動高さ調整は、自宅車庫までの急な道、スロープ、積雪、住宅街のスピード バンプなど、最低地上高が余分に必要な場合に、車高を調節できる便利な機能です。

Model S の電源をオンにした状態で、またはブレーキ ペダルを踏んだ状態で、タッチスクリーンを使って車高を手動で変更します。**「コントロール」** > **「運転モード」** の順にタッチし、次のいずれかを選びます。

- 「VERY HIGH」: に設定されている場合、走行速度が時速 35 km に達すると自動的に車高が「HIGH」に下がります。
- 「HIGH」: に設定されている場合、走行速度が時速 55 km に達すると自動的に車高が「STANDARD」に下がります。
- 「STANDARD」: に設定されている場合、あらゆる積載条件下で最大の快適性と最良の操作性が得られます。
- 「LOW」: 車高を下げると、荷物の積み下ろしや乗員の乗降が楽になります。

注: 使用可能な設定は走行速度やその他の条件によって異なります。たとえば、ドアが開いていると車高を下げることはできません。

ロケーションベース サスペンション

ロケーションベース サスペンションは、車高を上げる必要がある場所 (急な道、スロープ、積雪、スピード バンプなど) を頻繁に訪れる場合、その都度サスペンションを手動で調整する手間を省きます。

「HIGH」または「VERY HIGH」に車高を上げるたびに、Model S はその場所をデータとして保存します。ステータス メッセージが表示され、その場所が Auto Raising 対象として保存されていることを知らせます。

保存された場所に次回戻ってくると、Model S は車高を上げ、計器パネルにその旨を知らせるメッセージが表示されます:

注:

- 車高を「HIGH」に上げるときは、走行速度が時速 55 km を超えないようにしてください。車高を「VERY HIGH」に上げるときは、走行速度が時速 35 km を超えないようにしてください。さらに、保存された場所に戻るとき上記の速度より速い速度で走行している場合は、Model S が減速するまで車高は上がりません。
- 保存された場所を離れると、(**「コントロール」** > **「設定」** > **「車両」** > **「地上高自動降下」** により設定された) 地上高自動低下速度になっても、上記の Auto Raising 速度のしきい値を上回る速度で走行するまで、車高は下がらないことがあります。
- Model S が保存された場所に着いても、その場所のために保存されたサスペンション設定の車

高より現在のサスペンション設定の車高の方が高い場合は、サスペンションは調節されません。

車高オート上昇を取り消す

保存された場所でサスペンションの車高オート上昇を希望しないときは、そこで表示されるタッチスクリーンのメッセージ内の **車高オート上昇** をタッチします。その場所の車高オート上昇が取り消され、今後その場所に着いても車高が自動的に上がることはありません。

注: 保存された場所にいる間に手動で「**STANDARD**」 または 「**LOW**」に車高を下げると、その場所の 車高オート上昇 が取り消されます。

地上高自動低下

Model S の走行速度が、自宅車庫までの道や駐車場内を走行する速度を超えると、スマート エア サスペンションが自動的に車高を下げ、空力抵抗やハンドリングを改善します。ほぼ平均的な速度で走行している場合、サスペンションは自動的に「Standard」に設定されます。上述のとおり、手動高さ調整を行った場合は、走行速度の増加に応じてサスペンションが自動的に下がります。

荷物を積載する場合、スマート エア サスペンションがフロントとリア間の水平を自動的に維持します。

タッチスクリーンで「**コントロール**」 > 「**設定**」 > 「**車両**」 > 「**地上高自動低下**」の順にタッチすると、エアサスペンションが自動的に車高を「**LOW**」に切り替える際の速度を設定することができます。この設定は「**ドライバーのプロフィール**」に保存されます。

注: 一時的に車高を変更するには、ブレーキ ペダルを踏み、 「**コントロール**」 > 「**運転モード**」の順にエア サスペンション コントロールにタッチしてから手動で車高を選択します。サスペンションを自動的に下げる保存済みの設定は、次回の走行時に復元されます。

エア サスペンション システムの不具合が検知されると、計器パネル上で黄色の表示灯が点灯します。不具合が解消しない場合は、Tesla に連絡してください。

ジャッキモード

ジャッキアップやリフトアップを行う際は、サスペンションを「**ジャッキモード**」に設定し、Model S の電源がオフになった状態でもセルフレベリングが機能しないようにします。

ブレーキペダルを踏み、次に「**コントロール**」 > 「**運転モード**」 > 「**ジャッキモード**」の順にタッチします。

Model S が「**ジャッキモード**」になると、計器パネルに赤色のエア サスペンション表示灯が点灯します。

ジャッキモードを解除するには、「**ジャッキモード**」を再度タッチします。

注: 「**ジャッキモード**」は、走行速度が時速 7 km を超えると自動的にキャンセルされます。

概要

ラジオを聞いたり、オーディオ ファイルを再生したりするには、 **「メディア」** アイコンにタッチします。タッチスクリーンにメディア プレーヤーが表示されます。メディア プレーヤーには 2 つのタブがあります。**「ブラウズ」**タブを使用して再生する対象を選択し、**「再生中」**タブを使用して再生中の対象を表示し、操作します。AM ラジオと FM ラジオを再生できます (HD 含む)。 インターネット ラジオ (TuneIn など) や Bluetooth 接続された機器、USB 接続されたフラッシュ ドライブのオーディオ ファイルを再生することもできます。

AM ラジオ サービスと FM ラジオ サービス

Model S では AM ラジオ サービスと FM ラジオ サービスを利用できます。ラジオ サービスは「ブラウズ」タブから選択することも、メディア プレーヤー ウィンドウの右上にある「Source Picker」を使用して選択することもできます。

「再生中」画面のチャンネル セレクター バーにタッチし、ドラッグすることによって、ラジオを手動で任意の周波数に合わせることができます。チャンネル セレクター バーを使用して、ラジオ局から別のラジオ局へ移動できます。

インターネット ラジオ

データ接続を経由してインターネット ラジオ サービスにアクセスできます。インターネット ラジオを使うには、 **「メディア」** > **「ブラウズ」** > **「ネットラジオ」** の順にタッチします。

目的のインターネット ラジオ サービス (例えば TuneIn) を選択し、カテゴリーとラジオ局を選択します。ラジオ局または番組を選択すると、メディア プレーヤーが再生を開始し、「再生中」画面が表示されます。

インターネット ラジオ サービスで聴ける次の (前の) ラジオ局、番組または曲を再生するには、「再生中」画面の矢印にタッチするか、ハンドルの左側のボタン (35 ページの「ハンドルの左ボタンを使用する」を参照) を使用します。矢印やボタンの機能は、現在聴いているインターネット サービスによって異なります。

インターネット ラジオ アカウントの登録

Model S では複数のインターネット ラジオ サービスを利用できます。ログイン情報を入力するには、**「コントロール」** > **「設定」** > **「アプリ」** > **「メディアプレイヤー」**の順にタッチします。使用するインターネット ラジオ アカウントの名前とパスワードを入力し、「ログイン」にタッチします。

TuneIn

TuneIn を聞く場合、アカウントを登録する必要はありません。ただし、(www.tunein.com にアクセスするための) TuneIn アカウントを持っていれば、上記の方法でログインできます。

メディアの設定

ラジオ局の設定を調整したり、インターネット ラジオ アカウントにログインするには、 **「コントロール」 > 「設定」 > 「アプリ」 > 「メディアプレイヤー」**の順にタッチします。

お気に入り

現在再生中のラジオ局またはオーディオ ファイルをお気に入りリストに追加するには、「再生中」画面の「お気に入り」アイコンにタッチします。アイコンが青くなり、お気に入りに追加されたことを示します。お気に入りを削除するには、もう一度アイコンにタッチします。

注: お気に入りリストにラジオ局を追加すると、プリセット（最大 6 局）に空きがある場合は、追加したラジオ局がプリセットに追加されます。

注: お気に入りのラジオ局またはオーディオ ファイルを選択するには、 **「ブラウズ」 > 「お気に入り」**の順にタッチしてお気に入りリストの一覧を表示します。下図に示すように、お気に入りがカテゴリー別に表示されます。

お気に入りリストの前または次の曲やラジオ局を再生するには、「再生中」画面の「前へ」アイコンまたは「次へ」アイコンにタッチするか、ハンドルの左側にあるボタン (35 ページの「ハンドルの左ボタンを使用する」を参照) を使用します。

お気に入りをリストから削除するには、削除する対象の X にタッチします。

注: プリセットに割り当てられているお気に入りのラジオ局またはチャンネルを削除すると、プリセットからもそのお気に入りが削除されます。

マイ デバイス

USB 端子に接続したフラッシュ ドライブや Bluetooth 機器のオーディオ ファイルを再生するには、 **「マイ デバイス」**にタッチします。機器の名前が表示されます。再生したい曲、アルバムまたはプレイリストにタッチすると、メディア プレーヤーが再生を開始し、「再生中」画面が表示されます。

選択されているプレイリストまたはアルバムの次の曲を再生するには、タッチスクリーンの「前へ」矢印または「次へ」矢印にタッチするか、ハンドルの左側のボタン (35 ページの「ハンドルの左ボタンを使用する」を参照) を使用します。

USB 接続されたフラッシュ ドライブ

USB 端子 (75 ページの「USB 接続」を参照) にフラッシュ ドライブを接続します。**「メディア」 > 「ブラウズ」 > 「マイ デバイス」**の順にタッチしてから、フラッシュ ドライブの名前と再生したい曲をタッチします。

注: USB 接続したメディアを再生する場合、Model S が認識できるのはフラッシュ ドライブのみです。他の種類の機器 (iPod など) でメディアを再生するには、Bluetooth (機器が対応している場合)を使用して機器を接続してください。

Bluetooth® 接続された機器

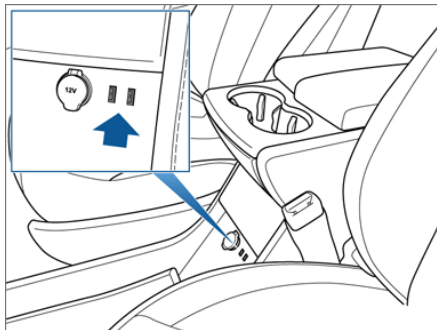
Model S に登録および接続されている (76 ページの「Bluetooth 対応の携帯電話の接続」を参照) 携帯電話などの Bluetooth 対応機器があれば、機器に保存されているオーディオ ファイルを再生したり、音楽ストリーミング サービス (Pandora、Spotify など) を利用したりすることができます。**「メディア」 > 「ブラウズ」 > 「マイ デバイス」**の順にタッチしてから、Bluetooth 機器の名前にタッチします。

Bluetooth 機器は、その時点でアクティブになっているオーディオ ファイルの再生を開始し、タッチスクリーンに「再生中」画面が表示されます。

再生する曲を変更するには、タッチスクリーンの「前へ」アイコンまたは「次へ」アイコンにタッチするか、ハンドルの左側のボタンを使用します。

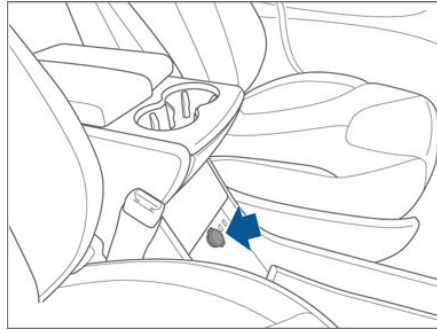
注: Bluetooth 接続された機器でメディアを再生するには、機器のメディアへのアクセスがオンになっていることを確認してください。76 ページの「電話」を参照してください。

USB 接続

Model S のセンター コンソールの前面に 2 つの USB 接続端子があります。これらの端子を使用して USB ドライブを接続します。これらの端子を使用して USB 機器を充電することもできます。

接続された USB 機器に保存されているオーディオファイルを再生する方法については、74 ページの「マイ デバイス」を参照してください。

注: USB ハブを使用して複数の機器を接続しないでください。複数の機器を接続すると、接続されている機器が充電されなかったり、タッチスクリーンによって認識されなかったりすることがあります。

12V 電源ソケット

Model S のセンター コンソールの前面に電源ソケットがあります。計器パネルとタッチスクリーンがオンになっていれば、ソケットの電源を利用できます。

12V 電源ソケットは最大 15A または最大 180W を必要とするアクセサリー機器に対応します。

注: Model S が (バッテリー電圧低下、電波干渉などのために) キーを認識できない場合は、Model S を最もキーを検出しやすい 12V 電源ソケットの真下にキーを置いてください。

警告: 電源ソケットとアクセサリーの端子は熱くなることがあります。

Bluetooth® 互換性

Model S では、電話が動作範囲内にあれば、Bluetooth 対応電話をハンズフリーで使用できます。Bluetooth は通常、およそ 9 メートルまでの距離の無線通信に対応していますが、通信の性能は使用している電話によって異なることがあります。

Model S で電話を使用する前に、電話を登録する必要があります。登録の際には、Bluetooth 対応電話を使えるように Model S を設定します (76 ページの「Bluetooth 対応の携帯電話の接続」を参照)。

最大 10 台の Bluetooth 電話を登録できます。Model S は、常に最後に使用された電話に自動的に接続します (その電話が動作範囲にあることが前提です)。別の電話に接続する方法については、77 ページの「登録済みの電話との接続」を参照してください。

注: 多くの電話では、電話のバッテリーが低下すると、Bluetooth がオフになります。

注: 電話のほかにも、Bluetooth 対応機器を Model S に登録できます。たとえば、iPod Touch、iPad または Android タブレット端末を登録して音楽をストリーミングすることができます。

Bluetooth 対応の携帯電話の接続

登録の際には、Bluetooth 対応の携帯電話を使えるように Model S を設定します。電話が接続されている場合、Model S は電話が動作範囲にあれば、電話に接続できます。

電話を登録するには、Model S の車内で以下の手順を実行します。

1. タッチスクリーンと電話の両方の電源がオンになっていることを確認します。
2. タッチスクリーンのステータスバーで、Bluetooth アイコンにタッチします。
3. 電話で Bluetooth を有効にして、電話を検出可能にします。
4. Model S のタッチスクリーンで「検索開始」にタッチします。タッチスクリーンが検索を開始し、動作範囲内にあるすべての利用可能な Bluetooth 機器のリストを表示します。
5. Model S のタッチスクリーンで、登録したい電話にタッチします。数秒以内にランダムに生成された数字がタッチスクリーンに表示され、電話にも同じ数字が表示されます。
6. 電話に表示される数字がタッチスクリーンに表示される数字と同じであることを確認します。次に、電話で登録をすることを確認します。

登録が完了すると、Model S は自動的に電話に接続し、タッチスクリーンの電話名の横に、接続が有効になっていることを示す Bluetooth マークが表示されます。

連絡先のインポート

登録が完了すると、電話の連絡先と最近の通話履歴へのアクセスを許可するかどうかを Bluetooth 設定画面を使用して指定できます。

アクセスをオンにすると、Model S のタッチスクリーンで連絡先のリストを見ることができます。**「電話」** > **「連絡先」**の順にタッチします。連絡先にタッチして、連絡先の電話番号をダイヤルしたり、連絡先のアドレスを表示することができます。

注: 連絡先をインポートするには、同期を許可するように電話を設定するか、連絡先の同期に関する確認を求める電話のポップアップ画面に応答する必要があります。この方法は使用している電話の種類によって異なります。詳細については、ご使用の電話に付属しているマニュアルを参照してください。

アクセスがオンになっていれば、Phone アプリの連絡先タブにタッチするとインポートされた情報が表示されます。

Bluetooth 対応の携帯接続の登録解除

電話の接続を切断し、後で再び使用したい場合は、Bluetooth 設定画面で「切断」にタッチします。Model S でその電話を再び使うことがない場合は、「このデバイスを登録解除」にタッチします。この設定を行った電話を、再度 Model S で使用する場合は、もう一度電話を登録する必要があります (76 ページの「Bluetooth 対応の携帯電話の接続」を参照)。

注: Model S から離れると、電話の接続は自動的に切断されます。

登録済みの電話との接続

Model S は、最後に接続された電話が動作範囲にあり、その電話の Bluetooth がオンになっている場合、自動的にその電話に接続します。最後の電話が動作範囲内にない場合、Model S は登録されている次の電話との接続を試みます。

別の電話に接続するには、タッチスクリーンのステータスバーの Bluetooth アイコンにタッチします。Bluetooth ウィンドウに登録されている電話のリストが表示されます。接続したい電話を選択し、**「接続」**にタッチします。接続したい電話がリストにない場合は、76 ページの「Bluetooth 対応の携帯電話の接続」の手順に従ってください。

接続されると、Model S のタッチスクリーンの電話名の横に、接続が有効になっていることを示す Bluetooth マークが表示されます。

電話をかける

以下の方法で電話をかけることができます。

- 連絡先リストから連絡先を選択する (上記の方法)。
- Model S のキーパッドを使用する。

キーパッドを使用して電話をかける:

1. タッチスクリーンの 電話アプリにタッチし、「キーパッド」にタッチします。
2. キーパッドに電話番号を入力します。
3. 「発信」にタッチします。タッチスクリーンに通話画面と通話相手の番号が表示されます。

連絡先を選択して電話をかける:

1. タッチスクリーンの 電話アプリにタッチし、「連絡先」にタッチします。

   注: 電話の連絡先へのアクセスがオンになっていることを確認します。
2. 通話相手の連絡先名にタッチして、連絡先の詳細情報を表示します。
3. ダイヤルしたい番号にタッチします (複数の番号が表示される場合があります)。タッチスクリーンに通話画面と通話相手の連絡先の名前が表示されます。

注: 安全上および法令上に問題がない場合は、電話機で直接番号をダイヤルするか、連絡先を選択することによって電話をかけることもできます。

電話に応答する

電話に着信があると、計器パネルとタッチスクリーンの両方に発信者の番号または名前 (発信者が電話の連絡先リストに含まれていて、Model S がその連絡先へアクセスできる場合) が表示されます。

タッチスクリーンのオプションの 1 つにタッチするか、ハンドルの右側のスクロール ホイールを使用して着信に「応答」するか、着信を 「無視」 します (36 ページの「ハンドルの右ボタンを使用する」を参照)。

通話中オプション

通話中、ハンドルの右側の最上部のボタンを押すことによって計器パネルに通話メニューを表示することができます。通話メニューが表示されたら、スクロール ホイールを使用してメニューをスクロールし、オプションを選択することができます (36 ページの「ハンドルの右ボタンを使用する」を参照)。

概要

注: バージョン 6.0 のカレンダー機能はテスト仕様です。

カレンダー アプリにより、スマートフォン (iPhone または Android) のカレンダーを当日と翌日の分だけ見ることができます。カレンダー アプリを使用するには、次の条件が満たされる必要があります。

- Tesla Model S のモバイル アプリが起動し、お客さまがすでにログインしていること。スマートフォンから指示があれば、モバイル アプリによるカレンダーへのアクセスを許可しなくてはなりません。モバイル アプリは定期的に (かつ自動的に) カレンダー データをスマートフォンから Model S に転送します。 さらに、スマートフォンでモバイル アプリを表示するたびに、更新されたカレンダー データが Model S に転送されます。
- スマートフォンが Model S に Bluetooth 接続されていること。
- Model S へのリモート アクセスが有効されること(**「コントロール」 > 「設定」 > 「安全とセキュリティ」 > 「リモート アクセス」 > 「On」**の順にタッチします)。
- Model S およびスマートフォンの接続状態が両方とも良好であること。

注: 秘密保持上の理由で、Model S と Bluetooth 接続されたスマートフォンからのカレンダー データのみ表示します。

「コントロール」 > 「設定」 > 「アプリ」 > 「カレンダー」 > 「乗車後カンレンダーを表示」 の順にタッチして Model S をカスタマイズすると、その日のイベントのリマインダーを表示させることができます。

セキュリティ システムについて

Model S が近くにキーがあることを検出していない状態でドアやトランクのロックが解除されると、アラームが鳴り、ヘッドライトと方向指示器のランプが点滅します。アラームは、キーのボタンを押すと解除されます。

アラームシステムを手動でオン/オフするには、**「コントロール」** > **「設定」** > **「安全とセキュリティ」** > **「アラーム」**の順にタッチします。アラームシステムを ON にすると、ドアがロックされてから、および認識されたキーが近くに検出されない状態になってから 1 分間後にアラームが有効になります。

データ接続方法として Wi-Fi が用意されており、携帯電話通信網よりも速い場合も多くあります。Wi-Fi 接続は携帯電話が通じにくい、または通じない地域で特に便利です。Model S のソフトウェア アップデートを高速かつ確実に行うため (81 ページの「ソフトウェア アップデート」を参照)、Tesla は Wi-Fi をネットワークに接続した状態にしておくことをお勧めします。Wi-Fi ネットワークへの接続方法は以下の通りです:

1. タッチスクリーンのステータス バーにある「**3G**」アイコンにタッチします。Model S が圏内にある Wi-Fi ネットワークの検索と表示を開始します。
2. 使用したい Wi-Fi ネットワークを選択してパスワード (必要な場合) を入力してから、「**接続**」にタッチします。

検索したネットワークの一覧にない非表示のネットワークにも接続できます。「**Wi-Fi 設定**」 にタッチし、表示されるダイアログ ボックスにネットワーク名を入力するだけです。

ネットワークにいったん接続すると、そのネットワークが圏内にあるかぎり Model S は自動的に同じネットワークに接続されます。過去に接続したことのあるネットワークが圏内に複数ある場合、Model S は直近に使用したネットワークに接続されます。

注: モバイル ホットスポットや Wi-Fi テザリングを経由したインターネット接続も使用できます。

注: Tesla サービス センターでは、Model S が Tesla サービス Wi-Fi アクセス ポイントに自動的に接続されます。

新しいソフトウェアの読み込み

Model S のソフトウェア アップデートはワイヤレスで行われ、車両保有期間中は新機能の提供が継続的に行われます。アップデートが利用可能な状態になった後、最初に Model S に乗る際にタッチスクリーン上にスケジューリング ウィンドウが表示されます。

注: ソフトウェア アップデートの中には完了までに 2 ～ 3 時間かかるものもあります。新しいソフトウェアのインストール中は、Model S のギアを P (パーキング) に入れておく必要があります。ソフトウェア アップデートを最も速くそして確実に受け取るには、できる限り Wi-Fi に常時接続した状態にしておきます (80 ページの「Wi-Fi への接続」を参照)。

ソフトウェア アップデートが利用可能な状態になると、タッチスクリーンのステータス バーに黄色の時計アイコンが表示されます。

1. 上下矢印をタッチするとアップデートを開始したい時間を変更できます (必要な場合)。次に、**「この時間に設定」** を押してアップデートを予約します。予約すると、タッチスクリーンのステータス バーの黄色の時計アイコンが白色に変わります。
2. **「今すぐインストール」** をタッチすると、アップデート プロセスが直ちに開始されます。

アップデートの開始前であれば、いつでもアップデートの再予約を行うことができます。これを行うには、タッチスクリーンのステータス バーの時計アイコンをタッチして、アップデート ウィンドウを表示します。

ソフトウェア アップデート開始時に Model S が充電されている場合、充電は停止します。アップデートが完了すると、充電が自動的に再開します。予約したアップデート時刻に Model S が走行中の場合、アップデートがキャンセルされますので、再予約する必要があります。

タッチスクリーンにソフトウェア アップデートが完了しなかった旨のメッセージが表示された場合は、Tesla にご連絡ください。

リリース ノートの表示

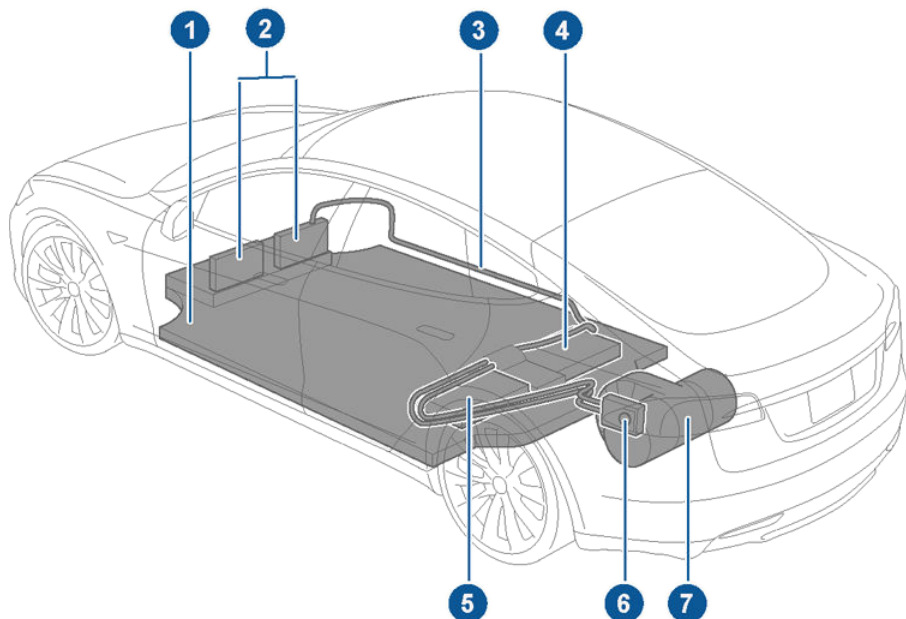
ソフトウェア アップデートが完了したら、リリース ノートを表示させて新機能を確認してください。リリース ノートを任意のタイミングで表示させるには、タッチスクリーンの最上部中央の **Tesla の「T」** をタッチしてから、**「リリースノート」** をタッチします。

Model S モバイル アプリ

Tesla Model S モバイル アプリでは、iPhone® または Android™ 携帯を用いてリモートから Model S と通信することができます。モバイル アプリを使用すると次のことができます:

- 充電の進行状況をチェックしたり、充電の開始時や停止時、完了時に通知を受け取る。
- 運転前に Model S の暖房/冷房を入れる (ガレージ内でも可能)。
- Model S の位置と方向を特定し、マップ上で動きを追跡する。
- 駐車時にライトを点滅させたり、ホーンを鳴らして Model S を見つける。
- サンルーフを開放してチルトしたり、閉めたりする。
- 遠くから Model S をロックまたはアンロックする。
- Model S を始動する。
- Model S のカレンダー アプリをサポートし、モバイル アプリを使ってスマートフォンのカレンダー データを Model S に転送する。
- 車のアラームが発動したときや、Model S の新しいソフトウェアが更新可能なときに通知を受け取る。

お使いのスマートフォンに Tesla Model S モバイル アプリをダウンロードして、MY TESLA ログイン情報を入力します。また、リモート アクセスの設定をオンにして Model S がモバイル アプリと通信できるようにしておく必要があります。**「コントロール」** > **「設定」** > **「安全とセキュリティ」** > **「リモートアクセス」** > **「ON」**の順にタッチしてください (65 ページの「設定」を参照)。

高電圧コンポーネント

1. バッテリー
2. DC-DC コンバーターおよびジャンクション ボックス
3. 高電圧ケーブル (オレンジ色)
4. 10 kW 車載マスター充電器
5. 10 kW 車載充電器（オプション）
6. 充電ポート
7. 駆動装置

警告: 高電圧システムにはユーザーが整備可能な部品はありません。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、脱着は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーはオレンジ色になっており、容易に見分けることができます。

警告: Model S に貼られているラベルに記載の指示事項をすべて読み、その内容に従ってください。これらのラベルはお客様の安全のために貼っています。

警告: 万が一火災が発生した場合は、直ちに最寄りの消防機関に連絡してください。

充電機器

Model S の充電専用に設計された充電機器は Tesla から入手できます。Tesla ウォールコネクターはガレージに取り付けるタイプで、Model S をご自宅で最も高速に充電することができます。

一部の国・地域では、Model S にモバイルコネクターとアダプターが装備され、一般的に使用される電源コンセントに差して使います。モバイルコネクターを使用する場合、まずモバイルコネクターを電源コンセントに差してから Model S に接続します。お使いのモバイルコネクターの詳細情報は、モバイルコネクター所有者ハンドブックを参照してください。追加アダプターの購入は、Tesla にお問い合わせください。

Tesla では各種アダプターを販売しており (J1772、Mennekes Type 2、CHAdeMO など)、Model S をお使いの地域で最も一般的に使用されている公共充電ステーションに接続することができます。アダプターを充電ステーションの充電ケーブルに接続し、タッチスクリーンを使って充電ポート扉を開けてから (86 ページの「Model S の充電」を参照)、Model S に接続します。

お使いの地域の充電機器の詳細な情報については、www.teslamotors.com にアクセスし、お使いの地域を選択し、利用可能な充電オプションをご確認ください。

バッテリーについて

Model S は世界最高クラスの高性能バッテリーを搭載しています。バッテリーを長持ちさせるために最も重要なのは、Model S を使用していない間も**充電したままにしておく** ことです。特に数週間以上 Model S を運転する予定がない場合、これは重要です。Model S が充電状態になっていれば、バッテリーの寿命を最大にする充電レベルを自動的に維持することが必要になったときにスリープ状態から復帰します。

バッテリーのレベルが低下するまで充電を待つ必要はありません。実際、バッテリーは定期的に充電されていると最高の性能を発揮します。

注: Model S のバッテリーが完全に放電し、牽引が必要になった場合は、オーナーが牽引の費用を負担しなければなりません。放電に関連する牽引の費用はロードサイド アシスタンス契約の対象になりません。

バッテリーの保護

バッテリーを完全放電させないでください。Model S を運転していない間も、バッテリーは車載電子回路に電源を供給するために非常にゆっくり放電しています。バッテリーは平均して 1 日 1% の割合で放電します。Model S が充電されない状態が長期間続くような場合もあります (たとえば、空港の駐車場に車を置いて旅行に出かけるなど)。バッテリーを十分な充電レベルに保つために、1%について留意してください。たとえば、2 週間 (14 日) 充電しないと、バッテリーはおよそ 14% 放電します。

バッテリーを 0%まで放電すると、バッテリーを恒久的に損傷するおそれがあります。完全放電からバッテリーを保護するために、充電レベルが 5% に低下すると、Model S は低消費電力モードに入ります。このモードでは、1 か月当たりの放電速度をおよそ 4% にまで下げるために、バッテリーは車載電子回路への電源供給を停止します。省エネモードに入った場合は、バッテリーを損傷しないように、2 か月以内に Model S を充電することが重要です。

注: 省エネモードに入っていると、補助 12V バッテリーの充電は停止し、12V バッテリーは 12 時間以内に完全放電します。そのような状態になった場合、ジャンプスタートさせるか、12V バッテリーを交換しないと充電できなくなるおそれがあります。その場合は Tesla に連絡してください。

温度の限界

長期にわたり良好な性能を得るため、Model S を 60° C 以上または -30° C 以下の環境に 24 時間以上連続して置かないでください。

省エネ機能

Model S には省エネ機能があり、Model S を使用していないときの消費エネルギーを減らすことができます。**「コントロール」 > 「スクリーン」 > 「省エネモード」**の順にタッチします。航続距離を最大限に伸ばし、かつエネルギーを節減することについての詳細情報は 54 ページの「航続距離を最大限に伸ばす」を参照してください。

バッテリーに関する警告と注意事項

警告: バッテリーには、オーナーや Tesla が認定しないサービス技術者が整備できる部品は 1 つもありません。どのような状況にあっても、バッテリーのフタを開けたり、バッテリーを改造したりしないでください。必ず Tesla に連絡して、バッテリーの修理を依頼してください。

注意: バッテリーの充電レベルが 0% になった場合は、バッテリーを充電する必要があります。長期間にわたってバッテリーを充電せずに放置した場合は、ジャンプスタートさせるか 12V バッテリーを交換しないと Model S を充電できなくなったり、使用できなくなったりするおそれがあります。Model S を長期間にわたって充電せずに放置すると、恒久的にバッテリーを損傷することもあります。Model S を充電できない場合は、ただちに Tesla に連絡してください。

注意: バッテリーはオーナーによるメンテナンスを必要としません。フィラー キャップを開けたりバッテリー液を補充したりしないでください。バッテリー液のレベルが低いという警告が計器パネルに表示された場合は、ただちに Tesla に連絡してください。

充電ポートを開ける

充電ポートは Model S の助手席側に位置し、リアテール ランプ アセンブリの一部になっているドアの後ろにあります。

充電ケーブルが充電ポートに届きやすいように、Model S を駐車します。

Model S のロックが解除されている状態または認識済みのキーがそばにある状態で、Tesla 充電ケーブルのボタンを押して離します。

使用しているケーブルにこのボタンが付いていない場合は、**「コントロール」** > **「充電ポート」**の順にタッチします。タッチスクリーン最上部のバッテリー アイコンにタッチしてから、「充電」画面で**「充電ポートを開く」**にタッチすることもできます。

公共の充電スタンドで充電するには、スタンドの充電コネクターにアダプターを接続します。Model S には販売地域でよく使われているアダプターが付属しています。使用している充電器によっては、充電器の制御装置を使用して充電を開始、停止する必要があります。

注: 充電ポート扉を開けると、充電ポートのライトが白色に点灯します。充電ケーブルが接続されていないと、やがてライトが消灯します。

注: 充電ポート扉を開いてから数分以内に充電ケーブルを充電ポートに接続しないと、ラッチが閉じます。その場合は、タッチスクリーンを使用して充電ポート扉を開けます。

⚠ **注意:** 充電ケーブルのコネクター側を Model S の上に落とすと、塗装が損傷することがあります。

⚠ **注意:** 充電ポートを無理に開けようとしないでください。そうするとラッチが損傷することがあります。ラッチが損傷すると、ドアが閉まらなくなります。

差し込む

必要な場合は、タッチスクリーンを使用して充電上限と充電電流を変更します。

コネクターと充電ポートの向きを合わせて、コネクターを奥まで差し込みます。コネクターが正しく差し込まれている場合に Model S が以下の状態になると、自動的に充電が開始されます。

- ラッチによってコネクターが所定の位置に固定されたとき。
- パーキングにシフトしたとき (他のギアに入っていた場合)。
- 必要に応じてバッテリーを加熱または冷却したとき。バッテリーを加熱または冷却する必要がある場合は、充電が開始されるまでに遅れが生じる場合があります。

注: Model S に充電ケーブルが差し込まれている状態で充電が行われていないときは、バッテリーに蓄積されたエネルギーではなく、コンセントからエネルギーが引き出されます。たとえば、ギアをパーキングに入れ、充電ケーブルを差し込んだ状態で、Model S の座席に座ってタッチスクリーンを操作している間、タッチスクリーンが消費するエネルギーはバッテリーではなく電源コンセントから取り込まれます。

充電中

充電中、充電ポートは緑色に点滅し、計器パネルに充電ステータスが表示されます。充電レベルがフルに近づくにつれて、充電ポートのライトが点滅する周期が遅くなります。充電が完了すると、ライトの点滅が停止し、緑色の点灯になります。

注: Model S がロックされている場合、充電ポートの周囲のライトは点灯しません。

充電ポートの周囲のライトが充電中に赤く点灯する場合は、故障が検出されています。計器パネルまたはタッチスクリーンで故障に関するメッセージを確認してください。故障は、停電などのよくある障害が原因で発生する可能性があります。停電が発生した場合は、電力が復旧すると自動的に充電が再開されます。

注: 特に大電流で充電する場合は、必要に応じて冷却コンプレッサーとファンが動作し、バッテリーを冷却します。したがって、充電中に音が聞こえるのは正常な状態です。

充電の停止

充電ケーブルを取り外すか、タッチスクリーンで「充電を停止」にタッチすることにより、いつでも充電を停止できます。

充電ケーブルを取り外す

1. Tesla コネクターのボタンを長押ししてラッチを解除します。
2. コネクターを充電ポートから引き抜きます。
3. 充電ポート扉を押して閉めます。

注: 充電ケーブルの不正な取り外しを防止するため、Model S のロックが解除されるか、Model S がキーを認識しない限り、充電ケーブルは取り外せないようになっています。

注: キーをダブルクリックすると、Model S の充電は停止します。充電が停止してから 60 秒以内に充電ケーブルを取り外さないと、充電が再開されます。

注意: Tesla では、Model S を使用していない場合でも、充電ケーブルを差し込んだままにしておくことを強く推奨します。そうすることで、バッテリーの充電レベルが最適に保たれます。

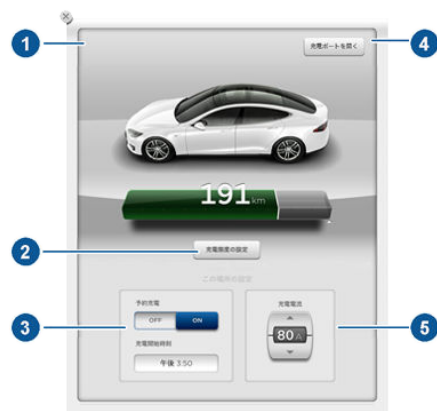
充電ポート ライト

白色	充電ポート扉を開け、充電モードになるとライトは白色で点灯します。
緑色	ライトは充電中は緑色で点滅し、充電が完了すると緑色の点灯に変わります。
赤色	故障が検出されて充電が停止すると、ライトは赤色で点滅します。計器パネルまたはタッチスクリーンで故障に関するメッセージを確認してください。

充電設定の変更

充電ポート扉が開いていると、タッチスクリーンに充電設定画面が表示されます。

充電設定画面を表示するには、タッチスクリーン最上部のバッテリー アイコンにタッチするか、**「コントロール」** > **「充電中」** (「コントロール」画面の右上) の順にタッチします。

注: 以下の図は説明目的で掲載されており、Model S のソフトウェアのバージョンおよび販売地域によって異なる場合があります。

1. 充電ステータス メッセージ (「予約充電」、「充電中」」 など) はここに表示されます。
2. 充電上限を調整するには、 **「充電限度の設定」** にタッチしてからスライドバーをドラッグします。50% から 100% の間の任意のレベルに変更できます。選択した設定は、即充電と予約充電の両方に適用されます。
3. 特定の場所の予約充電: Model S がパーキングの状態のとき、現在の場所で Model S の充電開始時刻を設定します。予定時刻に指定場所にある Model S に充電ケーブルが接続されていない場合は、予定時刻経過後 6 時間以内に充電ケーブルを接続するとすぐに充電が開始されます。予定時刻から 6 時間経過した後で充電ケーブルを接続した場合、Model S の充電は翌日の予定時刻になるまで開始されません。この設定を変更するには、「充電開始」または「充電を停止」にタッチします (第 4 項を参照)。充電予定時刻を設定すると、Model S の計器パネルとタッチスクリーンに設定された時刻が表示されます。
4. タッチして充電ポート扉を開けるか、充電を開始 (または停止) します。
5. あらかじめ低い電流レベルに設定されていない限り、接続されている充電ケーブルから得られる最大電流に電流が自動的に設定されます。

必要な場合は、上下矢印にタッチして電流を変更します (たとえば、他の機器と屋内配線を共有している場合に屋内配線が過負荷にならないように電流を下げることがあります)。接続されている充電ケーブルから得られる最大電流を上回るレベルに充電電流を設定することはできません。

電流を変更すると、Model S はそのときの場所を記憶します。したがって、その後、同じ場所で充電するときに電流を再度設定する必要はありません。

注: 入力電力の変動により、Model S が充電場所の電流設定値を自動的に低下させた場合は (89 ページの「充電ステータス」の注記を参照)、問題が解決して充電場所の電力が安定するまで、低い電流で充電することをお勧めします。

充電ステータス

以下の図は説明目的で掲載されています。表示される情報は、Model S のソフトウェア バージョンおよび販売地域により異なる場合があります。

1. 1 時間当たりの充電量。
2. 推定航続距離 (エネルギー)。ここに表示されている走行距離の代わりに、バッテリー残量 (%) を表示することもできます。
   そうするには、**「コントロール」 > 「設定」 > 「単位と形式」 > 「充電単位の表示」**の順にタッチします。

   注: バッテリーの図の一部が青くなることがあります。これは、バッテリーが冷えているため、バッテリーに蓄えられているエネルギーのごく一部が運転に利用できないことを示しています。これは正常な動作で、問題はありません。バッテリーが温まると、青い部分が消えます。
3. 供給中の電流/接続されている電源から利用可能な総電流 (88 ページの「充電設定の変更」を参照)。
4. 現在の充電で増加した推定航続距離 (またはエネルギー)。上図の走行距離の代わりに、増加したエネルギー量が表示されるように設定を変えることもできます。そうするには、**「コントロール」 > 「設定」 > 「単位と形式」 > 「充電単位の表示」** の順にタッチします。
5. ここに充電ステータス情報が表示されます。たとえば、Model S が充電中の場合は、現在選択されている充電レベルで充電したときのフル充電までの残り時間が表示されます。特定の場所で予約充電が ON に設定されている場合は、充電開始時刻が表示されます。
6. 充電ケーブルから供給されている電圧。

注: Model S が充電中のとき、入力電力に予期せぬ変動が検出されると、充電電流が自動的に 25% 減少します。たとえば、40 アンペアの電流が 30 アンペアに減少します。この自動電流減少機構によって、Model S または充電回路以外の部分に問題があるときの安定性と安全性が向上します。このような問題の例として、家庭の屋内配線、コンセント、アダプター、コードが定格電流容量を満たしていないことがあります。Model S は、ある場所の充電電流が自動的に減少した場合、将来の予防策としてその場所の減少した電流を記憶します。減少した電流を手動で増やすこともできますが、Tesla としては、根本的な問題が解決して充電場所の電力が安定するまで、低い電流で充電することをお勧めします。

定期サービス

ご利用の Model S の信頼性と効率を長期に渡って維持するには、定期的なメンテナンスが重要となります。

タイヤは 8000 km 走行ごとにローテーションして (パフォーマンス プラス モデルは除く) 適正なタイヤ空気圧を維持し、車両は走行期間 12 か月または走行距離 20,000 km のいずれかの条件に達するたびに Tesla の定期メンテナンスを受けてください。また、毎日および毎月、下記のようなチェックを行うことも重要です。

Model S のサービスは Tesla 認定の整備士によって実施される必要があります。Tesla 認定の整備士以外が行ったメンテナンスまたは修理で生じた損傷または故障は保証の対象となりません。

毎日のチェック

- 計器パネルに表示されるバッテリーの充電レベルをチェックします。
- 外装のライト、ホーン、方向指示ライト、ワイパー、ウォッシャーの動作をチェックします。
- パーキング ブレーキも含め、ブレーキの動作をチェックします。
- シートベルトをチェックします (18 ページの「シートベルト」を参照)。
- 車体の下に液体が漏れていないことをチェックします。少量の水がたまっていても（空調システムの除湿プロセスによる）、異常ではありません。

毎月のチェック

- 走行距離をチェックし、タイヤのローテーション (パフォーマンス プラス モデル以外では 8000 km ごと) が必要かどうかを判断し、個々のタイヤの状態と空気圧をチェックします (91 ページの「タイヤの手入れと保守」を参照).
- ウォッシャーの液位をチェックし、必要なら液を補充します (107 ページの「ウォッシャー液の補充」を参照)。
- 空調システムの動作をチェックします (68 ページの「温度調整」を参照)。

警告: 液位の大幅または急激な低下、あるいはタイヤの局部的な摩耗に気づいたら、ただちに Tesla に連絡してください。

定期液交換

バッテリー冷却剤やブレーキフルードはご自分で交換したり補充したりしないでください。液は Tesla サービス技術者が以下の間隔で定期的に交換いたします。

- ブレーキフルード:走行期間 2 年または走行距離 40,000 km のいずれかの条件到達時。
- バッテリー冷却剤:走行期間 5 年または走行距離 100,000 km のいずれかの条件到達時。

注: バッテリー冷却剤タンクを開けたために生じた損害は保証の対象外です。

高電圧安全性

お客様の Model S は安全性を最優先して設計・製造されています。しかし、どのような高電圧システムにも負傷のリスクはつきものですので、安全のため、以下の注意事項に留意してください。

- Model S に貼ってあるラベルの注意をお読みになり、必ず守るようにしてください。これらのラベルはお客様の安全のために貼っています。
- 高電圧システムには、ユーザーがサービス可能な部品はありません。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、脱着は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーはオレンジ色になっており、容易に見分けることができます。
- 事故発生時は、高電圧配線、コネクタ、配線に接続された部品に一切手を触れないでください。
- 万が一火災が発生した場合は、直ちに最寄りの消防機関に連絡してください。

警告: 車体の下で作業をする場合は、充電中でなくても、必ず事前に充電ケーブルを抜いておいてください。

警告: 冷却ファンの吹き出し口を、手や衣類などでふさがないでください。冷却ファンの中には、Model S がパワー オフの状態でも動作するものがあります。

注意: 自動車で使用される液体 (バッテリー酸、バッテリー冷却剤、ブレーキフルード、フロントガラス ウォッシャー添加剤など) の中には有毒なものがあり、これらの液を吸入または嚥下したり、傷口に接触させたりしないでください。安全のため、液体の容器に表示されている説明を必ずお読みになり、守るようにしてください。

タイヤ空気圧の保守

タイヤの空気圧がタイヤに記載されている空気圧とは異なる場合でも、タイヤの空気圧ラベルに表示される空気圧に従ってください。タイヤの荷重ラベルは、中央のドア ピラー上にあり、運転席側のドアを開くと確認することができます。

1 つまたは複数のタイヤの空気圧が低すぎるまたは高すぎる場合、計器パネル上のタイヤ空気圧表示灯が警告します。

タイヤ空気圧表示灯は、空気圧を調整してもすぐには消えません。タイヤを推奨空気圧にした後、タイヤ空気圧表示灯を消すタイヤ空気圧監視システム (TPMS) を作動させるには、時速 40 km 以上の速度で 10 分間以上運転する必要があります。

Model S の電源を入れるたびに表示灯が 1 分間点滅する場合は、タイヤ空気圧監視システム (TPMS) が故障を検出しています (95 ページの「TPMS 故障」を参照)。

タイヤ空気圧の点検と調整

タイヤが冷えており、Model S が 3 時間以上静止しているときに以下の手順に従ってください。

1. バルブキャップを取り外します。
2. 圧力を測定するため、正確なタイヤ空気圧ゲージをバルブにしっかりと押しつけます。
3. 必要に応じて、推奨空気圧にするために空気を追加します。
4. タイヤゲージを取り外して再び取り付けることにより、圧力を再度チェックします。
5. 空気を入れすぎた場合は、バルブ中央の金属ステムを押すことによって空気を逃がします。
6. タイヤゲージの圧力を再チェックし、必要に応じて調整します。
7. ほこりが侵入しないよう、バルブキャップを再び取り付けます。バルブに損傷や漏れがないかを定期的に点検します。

警告: タイヤの低空気圧は、タイヤ温度の上昇、深刻なひび割れ、突然のトレッド剥離やパンクを引き起こすなど、タイヤの不具合の最も一般的な原因です。この結果、車両制御が予期せず失われ、けがや事故につながる危険性が高まります。低空気圧はバッテリー耐走行距離およびタイヤのトレッド寿命に影響を及ぼします。

警告: タイヤが冷えているときに、正確なタイヤ空気圧ゲージを使用して圧力をチェックしてください。現在のタイヤ空気圧でタイヤをなじませるには、タイヤを温めるため約 1.6 km ほど運転すれば十分です。直射日光や高温な場所における駐車も、タイヤ空気圧に影響します。タイヤの温度が上がっている場合は、圧力も高くなっていることに注意してください。タイヤ空気圧の調整は必ずタイヤが冷えた状態でおこなってください。温まった状態では正しい調整ができず、空気圧不足になり大変危険です。

警告: Tesla 修理キットに用意されているタイプ以外のタイヤシーラントは使用しないでください。他のタイプを使用すると、タイヤ空気圧センサーが故障する可能性があります。Model S にタイヤ修理キットが含まれていない場合は、Tesla から購入できます。

タイヤの点検と保守

トレッドとサイド ウォールにゆがみ (膨らみ)、切り込み、または摩耗の兆候がないか定期的に点検してください。

警告: タイヤが損傷している、摩耗しすぎている、またはタイヤの空気圧が不適切な場合は、Model S を運転しないでください。タイヤの摩耗を定期的に点検し、切り込み、膨らみ、またはプライ / コード構造の露出がないことを確認してください。

タイヤ摩耗

納車時の Model S には、トレッドパターンにウェアインジケーターが鋳込まれたタイヤが取り付けられています。トレッドが 1.6 mm まで摩耗すると、トレッドパターンの表面にウェアインジケーターが現れ、タイヤ幅にわたって連続した輪ゴムのように見えます。

輪ゴムのような表示が現れたら、またはトレッド溝の深さが法律で許容される最小値に達したら、タイヤをただちに交換してください。

ローテーション、バランス、ホイールアライメント

Tesla は 8000 km 走行ごとにタイヤのローテーション (位置交換) を行うことを推奨します。

ホイールバランスが悪い場合 (ステアリング ホイールからの振動によって気付くことがあります) は、車両の操作とタイヤの寿命に影響します。通常の使用であっても、ホイールはバランスを失うことがあります。したがって、必要に応じてバランスを調整する必要があります。

タイヤの摩耗が均一でない場合 (タイヤの片側のみ摩耗) または異常なほど摩耗しすぎている場合は、ホイールアライメントを点検してください。

注: 2 つのタイヤのみを交換する場合は、常に新しいタイヤを後部に取り付けてください。

パンクしたタイヤ

タイヤはパンクすると、最終的には圧力を失います。タイヤ空気圧を頻繁に点検することが重要な理由はここにあります。パンクしたタイヤまたは損傷したタイヤは、できるだけ速やかに永久的修理をほどこすかまたは交換してください。パンクでタイヤの空気が抜けていなくても、パンクしたタイヤで運転しないでください。パンクしたタイヤは突然空気が抜けてしまう可能性があります。

チューブレスタイヤは、物が刺さったとき、それがタイヤ内に残っていれば空気が漏れないことがあります。ただし、運転中に突然の振動や乗り心地の低下を感じた場合、またはタイヤの損傷が疑われる場合は、ただちに速度を落としてください。低速で走行し、急ブレーキや急なステアリングを避けながら、安全を確認して車両を停止します。Model S を Tesla サービスセンターまたは最寄りのタイヤ修理センターに輸送するよう手配します。

注: 場合によっては、Tesla から購入可能なオプションのタイヤ修理キットを使用して、軽度のパンク (6 mm 未満) を応急修理することもできます。これにより、Model S を Tesla または最寄りのタイヤ修理施設に低速で移動させることができます。

警告: パンクしたタイヤのまま Model S を運転しないでください。パンクしたタイヤの空気が抜けていなくても、突然空気が抜けてしまう可能性があります。

フラットスポット

Model S を高温下で長期間駐車しておくと、タイヤにフラットスポットが発生することがあります。Model S を運転すると、このフラット スポットが原因で振動が発生します。タイヤが温まるにつれ、しだいにこの振動は消え元の形状に戻ります。

駐車中にフラット スポットの発生を最小限にするには、タイヤウォールに示されている最大圧まで空気圧を入れておくことです。その後、運転する前に空気を抜いてタイヤの空気圧を推奨レベルに調整します。

低周囲温度での運転

タイヤの性能は低周囲温度では低下し、そのためグリップが低下して、衝撃による損傷をより受けやすくなります。パフォーマンスタイヤは冷えた場合一時的に固くなることがあり、タイヤが温まるまでの最初の数 km は回転ノイズが聞こえます。Tesla に連絡し、スタッドレスタイヤに関する推奨事項を確認してください。

タイヤの走行距離の改善

タイヤの走行距離を伸ばすには、タイヤの推奨空気圧を維持し、速度制限および推奨速度を順守し、以下の点にご注意ください。

- 急発進または急加速を避ける。
- 急に曲がったり急ブレーキを避ける。
- 陥没している道路、障害物のある道路を避ける。
- 駐車時に縁石にぶつからないようにする。
- タイヤに腐食性の高い液体が付着しないようにする。

タイヤとホイールの交換

タイヤは、紫外線、極端な高温・低温、高負荷、および環境条件によって時間とともに劣化します。タイヤは 6 年ごと、必要に応じてはそれ以前に交換するようにしてください。

ホイールリムとタイヤは、車両のハンドリング特性に合うように組み合わされています。交換用タイヤは、元の仕様に適合する必要があります。指定された以外のタイヤを使用する場合は、タイヤにマーキングされた定格荷重および定格速度 が、元の仕様と等しいかあるいはそれを上回っていることを確認してください。

4 本すべてのタイヤを一度に交換することが理想的ですが、これができない場合は、タイヤをペア単位で交換してください (フロントまたはリアのペア)。タイヤを交換する場合は、必ずリバランスを行いホイールのアライメントを点検します。

ホイールを交換する際は、タイヤの空気圧を監視し警告を発信する TPMS (タイヤ空気圧監視システム) をリセットする必要があります(94 ページの「TPMS センサーのリセット」を参照)。

警告: 安全のため、元の仕様と一致するタイヤおよびホイールのみを使用してください。元の仕様と一致しないタイヤは、タイヤ空気圧監視システム (TPMS) の動作に影響を与える可能性があります。

非対称タイヤ

Model S タイヤは非対称であり、正しいサイドウォールが外側を向くようにホイールに取り付ける必要があります。タイヤのサイドウォールに **OUTSIDE (外側)** という単語で示されています。新しいタイヤを取り付ける際は、タイヤにホイールを正しく取り付けてください。

警告: タイヤにホイールが正確に取り付けられないと、ロードホールディング性能が著しく損なわれます。

スタッドレスタイヤ

降雪・積雪の場合や路面が凍結している場合は、スタッドレスタイヤの取り付けを検討してください。スタッドレスタイヤは、4 つの車輪とも同一のサイズ、メーカー、構造およびトレッドパターンを使用してください。スタッドレスタイヤに関する推奨事項については、Tesla に確認してください。

警告: スタッドレスタイヤは、普通のタイヤに比べて乾燥路では摩擦が大幅に減少することがあります。

タイヤチェーンの使用

Tesla は SCC 社の Model Z-563 チェーンの後輪への使用をテストし、承認しました。これらのチェーンは、Model S に 245/45R19 リア タイヤが取り付けられている場合にのみ使用し、21 インチタイヤには使用しないでください。

タイヤチェーンを取り付ける際は、タイヤチェーン製造元の取扱説明書の指示に従ってください。チェーンはできるだけしっかり取り付けてください。

チェーンを使用する際には、次の点にご注意ください。

- ゆっくり運転します。時速 48 km を超えないようにします。
- Model S に重量物を積載しないでください (重量物はタイヤとボディ間のクリアランスを減少させる可能性があります)。
- タイヤチェーンは状況が許せばただちに取り外してください。

注: タイヤチェーンの使用は一部の地域では禁止されています。タイヤチェーンを取り付ける前に当該地域の法律を確認してください。

注意: 非推奨タイヤチェーンの使用、サイズ違いのタイヤチェーンの使用は、サスペンション、ボディ、ホイール、またはブレーキ ラインを損傷する可能性があります。非推奨タイヤチェーンの使用により発生した損傷は、保証の対象外です。

注意: チェーンがサスペンションコンポーネントやブレーキラインに触れないようにしてください。チェーンから Model S との接触を示す異常なノイズが聞こえたらただちに停車して、確認してください。

タイヤ空気圧監視

タイヤが冷えている状態、および運転席側のドアピラーにあるタイヤの荷重情報ラベルに記載された推奨空気圧の状態で、毎月点検する必要があります (91 ページの「タイヤ空気圧の保守」を参照)。車両のラベルまたはタイヤ空気圧ラベルに記載されたサイズと異なるサイズのタイヤが取り付けられている場合は、それらのタイヤの適正空気圧を確認してください。

追加の安全機能として、車両にはタイヤ空気圧監視システム (TPMS) が装備されています。TPMS は、1 本または複数のタイヤの空気圧が著しく低すぎる、または高すぎる場合に、計器パネルに警告（タイヤ空気圧警告）を表示します。これに応じて計器パネル上のタイヤ空気圧インジケーターがタイヤ空気圧の警告を表示する場合は、ただちに停車してタイヤを点検し、適正な空気圧に調整してください(91 ページの「タイヤ空気圧の保守」を参照)。タイヤの空気圧が著しく低い状態で運転すると、タイヤが過熱しタイヤの不具合につながる可能性があります。低空気圧は、燃料の効率とタイヤのトレッド寿命に悪影響を与え、車両のハンドリングおよび停止能力にも影響を及ぼす可能性があります。

タイヤ空気圧監視システム(TPMS)が不具合を検出した場合、Model S の電源を入れるたびにこのインジケーターが 1 分間点滅します。

注: Tesla に承認されていない付属品を取り付けると、TPMS システムが阻害される可能性があります。

警告: TPMS は、タイヤ空気圧の手動による点検およびタイヤの定期検査などのタイヤの適切な保守に代わるものではありません。TPMS が計器パネル上にタイヤ空気圧の警告を表示していない場合でも、常に適正なタイヤ空気圧を維持するようにしてください。

TPMS センサーのリセット

ホイールを 1 本以上交換した場合、TPMS がタイヤ空気圧に関して正確に機能するためには、センサーをリセットする必要があります。ただし、タイヤ交換またはホイールローテーション後にリセットする必要はありません。

注: 21 インチホイールに交換する際 (Performance Plus モデル)、TPMS が誤った空気圧警告を表示する可能性があります。その場合、より詳細な調整をするために Model S を Tesla サービスセンターにお持ちください。

注: タイヤ空気圧警告をクリアするために、TPMS センサーをリセットしないでください。

TPMS センサーをリセットするには、次の手順に従ってください。

1. すべてのタイヤを運転席側のドアピラーにあるタイヤ荷重情報ラベルに記載された推奨空気圧にします。
2. 10 分間運転してから、Model S のタッチスクリーンで、**「コントロール」** > **「設定」** > **「車両」** > **「タイヤ空気圧モニター」** > **「センサーをリセット」** の順にタッチします。
3. 画面上の指示に従ってください。

タイヤセンサーの交換

タイヤ空気圧警告インジケーターが頻繁に表示される場合は、Tesla に連絡してタイヤセンサーを交換する必要があるかどうかを確認してください。タイヤセンサーは、簡略セットアップを行える Tesla のサービス技術者が交換する必要があります。Tesla 以外の修理施設でがタイヤを修理または交換した場合、タイヤセンサーは Tesla がセットアップを実行するまで作動しません。

TPMS 故障

Model S には、システムが正しく作動していないときに知らせる TPMS 故障インジケーターも搭載されています。

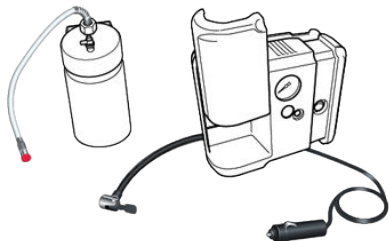
TPMS 故障インジケーターは、タイヤ空気圧インジケーターライトに組み込まれています。システムが故障を検出すると、Model S の電源を入れてから約 1 分間の間インジケーターが点滅し、その後点灯したままの状態になります。このシーケンスは、故障が存在する限りその後も車両を始動するたびに繰り返されます。TPMS 故障インジケーターがオンの状態では、タイヤ空気圧の異常を通常通りに検出できない場合があります。

TPMS の故障は、交換用または代替タイヤまたはホイールの取り付けを含む、TPMS の正しい作動を阻害するさまざまな要因によって発生します。1 本または複数のタイヤまたはホイールを交換した後は、必ず TPMS 故障インジケーターをチェックして、交換用または代替のタイヤおよびホイールで TPMS が引き続き正しく機能することを確認してください。

注: Tesla が提供するタイヤシーラントと異なるシーラントを使用してタイヤを交換または修理した後に、低タイヤ空気圧が検出された場合は、タイヤセンサーが損傷している可能性があります。できるだけ早く Tesla に連絡し、修理を依頼してください。

タイヤ修理キット

Model S にはスペア タイヤが付属していません。Model S を購入した地域の法令に応じて、タイヤ修理キットは付属していることも付属していないこともあります。Model S の納車時にタイヤ修理キットが付属していなかった場合は、Tesla からタイヤ修理キットをご購入できます。

タイヤ修理キットはコンプレッサーとタイヤ シーラント缶 (1 本のタイヤのタイヤ修理に十分な量) から構成されます。シーラントをタイヤに注入すると、6mm 以下の小さい穴からシーラントが浸透し、応急処置が行われます。

注: 6 mm より大きい穴が開いた場合、トレッドがひどく損傷している場合、タイヤが裂けている場合、タイヤがリムから外れている場合は、ロードサイド アシスタンスを呼んでください。

警告: タイヤ修理キットは応急処置のみに利用できます。損傷したタイヤはただちに修理または交換する必要があります。

警告: シーラントで応急処置をしたタイヤで運転する場合は、時速 48 km 以下の速度で運転してください。

警告: 修理を始める前に、タイヤ修理キットに関するすべての指示と警告を守ってください。

注意: 大きな損傷をきたすことがあるので、タイヤがパンクしたまま運転しないでください。

タイヤ シーラント缶

Tesla タイヤ修理キットに含まれているタイヤ シーラントは Model S での使用が承認されており、タイヤ圧監視システム (TPMS) センサーを損傷しないように作られています。したがって、シーラント缶を交換するときは、必ず同じ種類と容量のシーラント缶に交換する必要があります (99 ページの「シーラント缶の交換」を参照)。タイヤ シーラント缶は Tesla からご購入できます。

タイヤ シーラントの有効期限は缶の外側に表示されています。有効期限の過ぎたシーラントは本来の性能を発揮できない可能性があります。有効期限の過ぎたタイヤ シーラント缶は必ず交換してください。

警告: Tesla から購入できるもの以外のタイヤ シーラントは使用しないでください。他のタイヤ シーラントを使用するとタイヤ圧センサーの故障の原因になります。

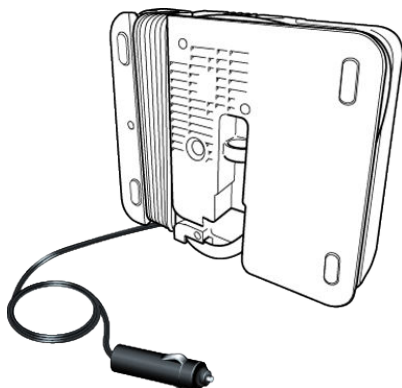
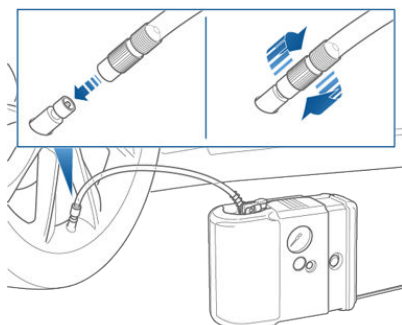
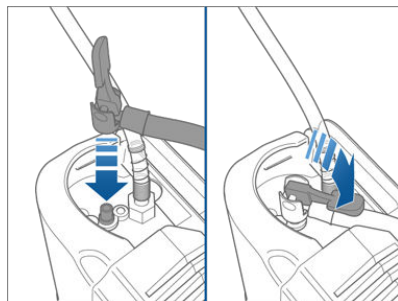
警告: シーラント缶に記載されている安全と取り扱いに関する説明を必ず読み、守ってください。

警告: タイヤ シーラントはお子さまの手が届かないところに保管してください。

警告: タイヤ シーラントが目に入ったり、タイヤ シーラントを飲み込んだり、吸い込んだりすると、人体に有害な作用をもたらすおそれがあります。シーラントが目に入った場合は、ただちに水で洗い流し、炎症が治まらない場合は、医師の診察を受けてください。飲み込んだ場合は、無理に吐かせようとせずに、ただちに医師の診察を受けてください。吸い込んだ場合は、新鮮な空気を吸ってください。吸い込むと眠気や目まいを起こすことがあります。呼吸に障害が出た場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

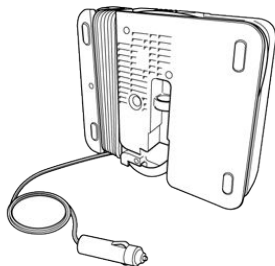
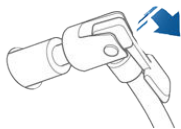
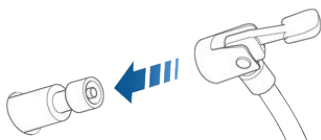
シーラントと空気でふくらませる

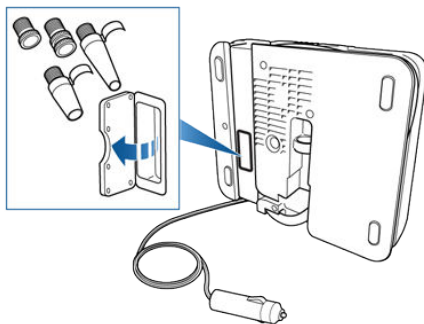
Tesla タイヤ修理キットがある場合は、以下の手順に従って小さいタイヤの穴 (6 mm 未満) を応急修理してください。

1. Model S を交通量の少ない安全な場所に止めて、乗員を安全な場所で待機させます。
2. ハザード ランプをオンにして、他の車に警告します。
3. できれば、穴が下になるようにホイールの位置を調整します。

4. コンプレッサーの背面の電源コネクタを取り外し、センター コンソール前面にある 12V 電源ソケットに接続します。
5. タイヤ コンプレッサーから透明なプラスチックのホースを取り外します。

6. 赤いキャップを取り外し、ホースの先端をタイヤのバルブにねじ込みます。

7. シーラント キットの黒い空気ホースをシーラントのバルブに取り付け、レバーを押し下げてしっかり固定します。
8. コンプレッサーが平らな面に置かれており、手順 5 に示すように圧力ゲージが横を向いていることを確認します。
9. コンプレッサーをオンにします。
10. 推奨空気圧までタイヤをふくらませます。
11. コンプレッサーをオフにして、ホースをタイヤのバルブから取り外します。タイヤ バルブやホイール リムからはみ出た余分なシーラントを拭き取ります。
12. ただちに 8 km ほど走行してシーラントをタイヤ全体に行き渡らせます。速度を時速 48km 以下に抑えてください。
13. 車を止めてタイヤの空気圧をチェックします。必要に応じて、黒の空気ホースを使用してタイヤをふくらませます。
14. なるべく早くタイヤを修理または交換します。
15. タイヤ修理シーラント缶を交換します (99 ページの「シーラント缶の交換」を参照)。

空気でのみふくらませる

Tesla タイヤ修理キットがある場合は、以下の手順に従って空気でタイヤをふくまらせます。

1. コンプレッサーの背面の電源コネクタを取り外し、Model S 前面にある 12V 電源ソケットに接続します。

2. コンプレッサーから黒い空気ホースを取り外します。
3. 空気ホースをバルブに取り付け、レバーを押し下げてしっかり固定します。

4. コンプレッサーが平らな面に置かれており、空気圧を読めるように圧力ゲージが横を向いていてることを確認します。
5. 空気を追加するには、コンプレッサーをオンにし、目的の空気圧になるまでタイヤをふくらませます。
6. 空気を抜くには、コンプレッサーをオフにして、目的の空気圧になるまで赤いボタンを押したままにします。

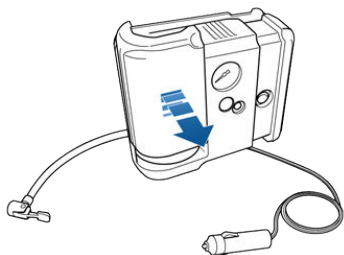
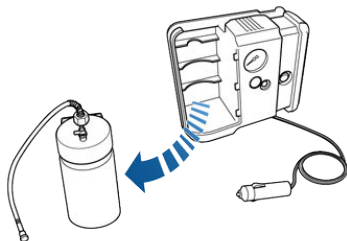
注: タイヤ修理キットには、タイヤ以外の空気入れに使えるアダプターが含まれています。これらのアダプターはコンプレッサーの後面の仕切りに入っています。

注意: 過熱を防ぐために、コンプレッサーを 8 分以上続けて使用しないでください。コンプレッサーを冷ますために、コンプレッサーを使用してから次回使用するまでに 15 分の間隔を置いてください。

注意: 長時間の使用により過熱した場合、コンプレッサーの動作速度が遅くなります。その場合はコンプレッサーをオフにして冷ましてください。

シーラント缶の交換

Tesla タイヤ修理キットがある場合は、Tesla から追加または交換用のタイヤ シーラント缶をご購入できます。

Tesla タイヤ修理キットのシーラント缶を交換するには、以下の手順を実行します。

1. 透明なホースをコンプレッサーから取り外します。このホースはタイヤ修理シーラント缶に付属しています。
2. 缶のカバーを上にスライドさせてコンプレッサーから取り外します。

3. 缶を取り外します。

4. 新しい缶を挿入し、カバーを取り付けます。

外装のクリーニング

腐食性物質 (鳥のフン、樹液、虫の死骸、コールタール、道路塩、大気中降下物など) が付着した場合は、塗装の損傷を防ぐためにただちに除去してください。Model S の次回の洗車時期を待たないようにしてください。必要に応じて変性アルコールを使用してコールタールや頑固な油汚れを除去し、その後ただちに水と中性のの非界面活性剤洗剤でアルコールを除去してください。

Model S の外装を洗うときは以下の手順に従ってください。

1. 徹底的に洗い流す

   洗車する前に、ホースを使用してボディに付着した汚れや砂粒を洗い流します。異物がたまりやすい場所 (ホイール アーチやパネルの継ぎ目など) にたまっている泥を洗い流します。冬の間など、道路で塩が使用された場合は、車両の下に付着している道路塩をすべて除去します。
2. 手洗い

   やわらかい布と中性の良質のカー シャンプーを加えた冷水またはぬるま湯を使用して Model S を手洗いします。
3. 清潔な水ですすぐ

   洗車した後、洗剤が表面に残ったまま乾かないように清潔な水ですすぎます。
4. 完全に乾燥させてガラスの外側を拭く

   洗車とすすぎが終わったら、セーム革で水分をしっかり拭き取ります。

   自動車用のガラス クリーナーで窓ガラスとミラーをクリーニングします。ガラスやミラーの表面を拭くときに、汚れを削り取ったり、研磨洗浄液を使ったりしないでください。

外装のクリーニングに関する注意事項

注意: フロントガラスにはっ水処理液を使用しないでください。はっ水処理液を使用すると、ワイパーとフロントガラスとの摩擦によってびびり音が発生することがあります。

注意: 温水と洗剤を使用しないでください。

注意: 気温が高いときに直射日光下で洗車しないでください。

注意: 高圧洗浄機を使用する場合は、ノズルを Model S の表面から 30 cm 以上離してください。ノズルを動かし続け、水流を一箇所に集中させないでください。

注意: ホースの水をウィンドウ シール、ドア シール、ボンネット シールに直接当てたり、ホイールの開口部を通してブレーキ部品に当てたりしないでください。

注意: 洗浄ミットなどの毛羽だった布や目の粗い布を使わないでください。

注意: 自動洗車機で洗車する場合は、タッチレス洗車機以外は使用しないでください。タッチレス洗車機は Model S の表面に接触する部分 (ブラシなど) がありません。タッチレス洗車機以外の洗車機を使用すると、保証の対象にならない傷が付くことがあります。

注意: 化学物質系のホイール クリーナーを使用しないでください。ホイールの表面が損傷することがあります。

注意: 高圧洗浄機をリア ビュー カメラやパーキング センサー (装備している場合) に使用しないでください。レンズの表面を傷つけたり損傷したりするおそれのある尖った物や研磨剤でセンサーやカメラのレンズをクリーニングしないでください。

内装のクリーニング

内装の美しさを保ち、早期の摩耗を防止するために、頻繁に内装を点検し、クリーニングしてください。可能であれば、こぼれた物をただちに拭き取り、シミを取ってください。全般的なクリーニングでは、ぬるま湯にマイルドな非界面活性剤クリーナーを混ぜた液体で湿らせたやわらかい布 (マイクロ ファイバーなど) を使用して内装の表面を拭き取ります (クリーナーを使用する前に、内装の目に見えない部分でクリーナーを試してください)。拭き跡が残らないように、糸くずの出ないやわらかい布でただちに水分を拭き取ります。

内側のガラス

ガラスやミラーの表面を拭くときに、汚れを削り取ったり、研磨洗浄液を使ったりしないでください。鏡の反射面やリア ウィンドウの発熱体が損傷することがあります。

エアバッグ

エアバッグ カバーに洗剤などの物質が入り込まないように注意してください。エアバッグの動作に支障をきたすおそれがあります。

ダッシュボードとプラスチックの表面

ダッシュボードの上面を磨かないでください。表面を磨くと光が反射し、運転時の視界を妨げるおそれがあります。

レザー シート

レザーは染料が付着しやすく、そのため、特に明るい色のレザーは変色するおそれがあります。ホワイト レザーとタン レザーには汚れ防止処理が施されています。ぬるま湯と非界面活性剤洗剤で湿らせたやわらかい布を使用して、こぼれた物をできるだけ早く拭き取ります。円を描くようにして軽く拭きます。その後、糸くずの出ないやわらかい布で水分を拭き取ります。洗剤や市販のレザー クリーナーとコンディショナーは、レザーを変色させたり乾燥させたりするおそれがあるため、お勧めできません。

布シート

ぬるま湯と非界面活性剤洗剤で湿らしたやわらかい布を使用して、こぼれた物をできるだけ早く拭き取ります。円を描くようにして軽く拭きます。その後、糸くずの出ないやわらかい布で水分を拭き取ります。必要に応じてシートにたまったほこりを掃除機で吸い取ります。

カーペット

カーペットを濡らしすぎないように注意してください。汚れがひどい部分には希釈した布製家具クリーナーを使用します。

シートベルト

ベルトを引き出して拭き取ります。種類のいかんに関わらず、洗剤や化学洗浄剤は使用しないでください。できれば直射日光を避けて、ベルトを引き出したまま自然乾燥させます。

Tesla ビルトインタイプ後ろ向きチャイルドシート

シートにたまったほこりを掃除機で吸い取ります。ぬるま湯で湿らせたやわらかい布でシートを拭き取ります。自動車用の布製家具クリーナーを使用することもできます。ベルトを引き出して拭き取ります。できれば直射日光を避けて、ベルトを自然乾燥させます。

タッチスクリーンと計器パネル

モニターやスクリーンのクリーニング用として市販されている糸くずの出ないやわらかい布を使用してタッチスクリーンと計器パネルを清掃します。クリーナー (ガラス クリーナーなど) を使用しないでください。濡れた布や静電気を帯びた乾いた布 (洗ったばかりのマイクロ ファイバーなど) を使用しないでください。 ボタンを作動させて設定を変えてしまうことがないように、タッチスクリーンを清掃するときはクリーニング モードに切り替えます。**「コントロール」** > **「スクリーン」** > **「クリーニングモード」**の順にタッチします。ディスプレイが暗くなり、ホコリや汚れが見やすくなります。

クロームや金属の表面

光沢剤、研磨クリーナー、かたい布は、クロームや金属の表面を傷つけるおそれがあります。

内装のクリーニングに関する注意事項

警告: エアバックやシートベルトの損傷に気付いたら、ただちに Tesla にご連絡ください。

警告: 水、クリーナー、布がシートベルト機構に入り込まないように注意してください。

注意: 溶剤 (アルコールを含む)、漂白剤、柑橘類、ナフサまたはシリコン系の製品や添加剤を内装部品に使用すると、損傷をきたすことがあります。

つや出し、補修塗り、ボディの修理

ボディの外観の美しさを保つには、以下のものを含む承認済みの光沢剤で塗装面を処理します。

- 塗装をはがしたり傷つけたりしないで表面の汚れを落とすための非常にマイルドな研磨剤。
- 傷を埋めて目立たなくする充填剤。
- 塗装を自然環境から保護する被膜を形成するためのワックス。

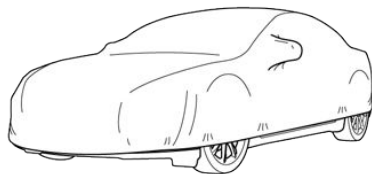
定期的に外装の塗装を点検し、損傷の有無を確認します。タッチ アップ ペン (Tesla から購入可能) を使用して小さい欠けや傷を修復します。洗車した後、つや出しやワックスがけをする前に、タッチ アップ ペンを使用します。

石による欠け、割れ、傷を修復します。車体の修理は、Tesla 認定の車体修理施設以外では行わないでください。認可施設のリストについては、Tesla にお問い合わせください。

注意: カッティング ペースト、色補修剤、粗い研磨剤が含まれた光沢剤は使用しないでください。表面が傷つき、塗装が恒久的に損傷するおそれがあります。

注意: クローム光沢剤やその他の研磨剤入りクリーナーは使用しないでください。

自動車用カバーの使用

Model S を使用していない間、車体の外観の美しさを保つために、Tesla 正規品の自動車用カバーを使用してください。自動車用カバーは Tesla からご購入できます。

注意: Model S に充電ケーブルを接続しているときは Tesla 承認済みの自動車用カバーのみを使用してください。Tesla 以外の自動車用カバーを使用すると、充電中にバッテリーを適切に冷却できないおそれがあります。

フロア マット

カーペットを長持ちさせ、カーペットのクリーニングを簡単にするために、Tesla 正規品のフロア マットを使用してください。マットを定期的にクリーニングし、マットがすり切れたら交換してください。

警告: マットがフット ペダルのじゃまにならないように、運転席のフロア マットがしっかりと固定されていることを確認してください。フロア マットの上に別のフロア マットを絶対に置かないでください。

ワイパー ブレードを点検する、交換する

注意: ワイパー ブレードは持ち上がった状態ではロックされません。ワイパー ブレードをクリーニングまたは交換するときは、ワイパー アームを持ち上げてフロントガラスから遠ざけます。ブレードに手が届く程度に離すだけで十分です。ワイパー アームを想定された位置以上まで持ち上げないでください。保障の対象外となる損傷を引き起こす可能性があります。

ワイパー ブレードに触りやすくするため、ワイパーをオフにし、Model S をパーキングにシフトしてから、タッチスクリーンを操作して、ワイパーを整備位置に動かします。**「コントロール」** > **「設定」** > **「車両」** > **「サービスモード」** > **「ON」**の順にタッチします。

注: Model S をパーキング以外にシフトすると、ワイパーは自動的に通常の位置に戻ります。

ワイパー ブレードのエッジを定期的に点検、清掃し、ゴムにひび割れや裂け目、表面の荒れが生じていないか確認してください。ブレードが損傷している場合は、ガラスが傷つくのを防ぐため、すぐにブレードを交換してください。

フロントガラスやワイパー ブレードが汚れていると、ワイパー ブレードの効果が損なわれる可能性があります。汚れには、氷や洗車スプレーのワックス、防虫、防水対応のウォッシャー液、鳥のフン、樹液その他の有機物質などがあります。

以下のクリーニングのガイドラインに従ってください。

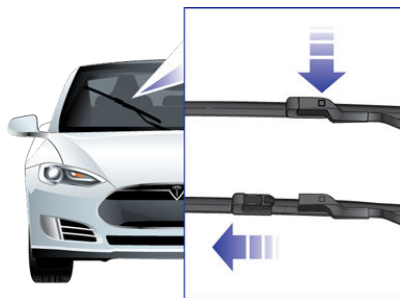
- 非研磨系のガラス クリーナーでフロントガラスをクリーニングします。
- ワイパー アームを少し持ち上げてフロントガラスから遠ざけます。ブレードに手が届く程度に離すだけで十分です。イソプロピル (消毒用) アルコールまたはウォッシャー液でブレードを拭きます。

クリーニング後もワイパーの効果がない場合は、ワイパー ブレードを交換してください。

最良の状態で使用するために、ワイパー ブレードは少なくとも 1 年に 1 回交換してください。

ワイパーブレードを交換する手順は、次のとおりです。

1. ワイパーを OFF にし、Model S をワイパー ブレードに触りやすくするためにシフトしてからタッチスクリーンを操作して、ワイパーを整備位置に動かします。**「コントロール」** > **「設定」** > **「車両」** > **「サービスモード」** > **「ON」**の順にタッチします。

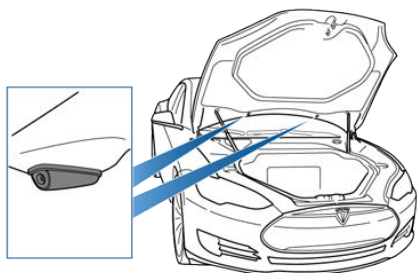
   注: サービスモードに入る前に、ワイパーを必ずオフにしてください。
2. ワイパー アームを少し持ち上げてフロントガラスから遠ざけます。ブレードに手が届く程度に離すだけで十分です。
3. ワイパー アームを保持し (ワイパー アームは持ち上がった状態ではロックされません)、ブレードをアームの方へ滑らせながら、ロック タブを押します。
4. 新しいブレードをワイパー アームに合わせ、アームのフック端側に向かって、固定されるまで滑らせます。
5. ワイパー アームをフロントガラスに当てます。

新しいブレードでも問題が続く場合は、洗剤を含まないぬるま湯に柔らかい布またはスポンジを浸して、フロントガラスとワイパー ブレードをクリーニングしてください。次に、フロントガラスとワイパー ブレードをきれいな水ですすぎます。水滴ができなければ、フロントガラスはきれいな状態です。

注意: 自動車のガラスおよびゴム清掃用の製品以外は使用しないでください。不適切な製品は、損傷や汚れ、フロントガラスのぎらつきを引き起こす可能性があります。

注意: 必ず、元のブレードと同等の交換用ブレードを取り付けてください。不適切なブレードは、ワイパー系の損傷を引き起こし、雨センサーの働きに影響を及ぼす可能性があります。

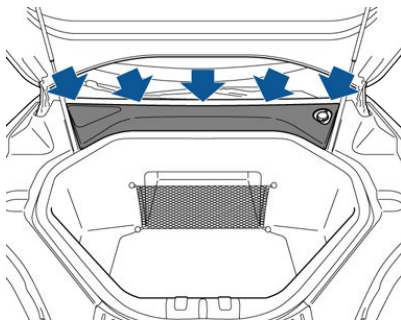
ウォッシャー液噴出口を清掃する

フロントガラス ウォッシャーの位置は工場で決められており、調整の必要はありません。

フロントガラス ウォッシャー液が出てこない場合は、細いひも状のワイヤーでノズル内の遮蔽物を取り除いてください。

警告: Model S のクリーニング中はウォッシャー液を使わないでください。フロントガラスウォッシャー液は眼や肌を刺激する可能性があります。ウォッシャー液メーカーからの説明書を読み、それに従ってください。

メンテナンス パネルの取り外し

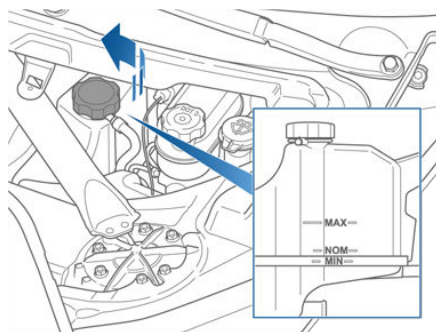
ヒューズにアクセスしたり、フルードのレベルを確認したりするときは、メンテナンス パネルを取り外します。

1. メンテナンス パネルの後ろの端を上に引っ張り、パネルを固定している 5 つのクリップを外します。
2. メンテナンス パネルをフロント ガラスに向かって動かし、取り外します。

注意: メンテナンス パネルはフロント トランクを水から保護する役割を果たしています。メンテナンス パネルを再び取り付けるときは、完全に取り付けられていること確認してください。

バッテリー冷却剤の確認

冷却システムのフルードレベルが推奨レベルより低下すると、計器パネルに警告メッセージが表示されます。その場合は、周囲の安全を確認して Model S を停車させ、Tesla に連絡してください。

フルードレベル チェック

Tesla は定期メンテナンスのときにバッテリー冷却剤の量をチェックします。ご自分でチェックするには、Model S を平らな路面に駐車します。Model S の温度が下がったら、メンテナンス パネルを取り外します (105 ページの「メンテナンス パネルの取り外し」を参照)。

リザーバの側面にある外部のマークを見て、フルードレベルを目視で確認します。フィラーキャップを取り外したり、フルードを追加したりしないでください。その場合は、保証の対象にならない損傷をきたすことがあります。

フルードレベルは MIN マークと MAX マークの間である必要があります。フルードレベルが大幅に低下した場合は、Model S を使用する前に Tesla に連絡してください。

バッテリー冷却剤の補充

どのような状況でも冷却剤を補充しないでください。バッテリー液のレベルが低いという警告が計器パネルに表示された場合は、ただちに Tesla に連絡してください。

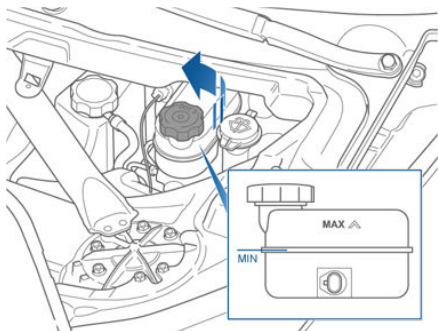
バッテリーの性能と寿命を最大限にするために、冷却システムでは特定の種類の G-48 エチレングリコール冷却剤 (HOAT) を使用しています。冷却剤の詳しい情報については、Tesla に問い合わせてください。

ブレーキフルードのチェック

警告: ブレーキ ペダルの遊びが大きくなったりブレーキフルードが大幅に減ったりした場合は、ただちに Tesla に連絡してください。その状態で運転すると、制動距離が長くなったりブレーキが完全に壊れたりするおそれがあります。

ブレーキ リザーバ内のフルードレベルが推奨レベルより低下すると、計器パネルの「ブレーキ」インジケーターが警告を発します。運転中にブレーキの警告が表示された場合は、周囲の安全を確認しながらゆっくりブレーキを踏んで停車してください。そのまま運転を続けないでください。ただちに Tesla に連絡してください。

フルードレベルチェック

Tesla は定期メンテナンスのときにブレーキフルードのレベルをチェックします。ご自分でチェックするには、Model S を平らな路面に駐車します。Model S の温度が下がったら、メンテナンス パネルを取り外します (105 ページの「メンテナンス パネルの取り外し」を参照)。

フィラー キャップを取り外さず、リザーバの側面にある外部のマークを見てフルードレベルを目視で確認します。

ブレーキフルードのレベルは「MIN」マークと「MAX」マークの間である必要があります。

注: ブレーキ パッドの摩耗に伴って通常の使用状態でもブレーキフルードのレベルは少し低下しますが、MIN マークよりレベルを低下させないようにしてください。

ブレーキフルードの補充

ブレーキフルードを補充しないでください。Model S の定期点検時に Tesla がブレーキフルードを補充します。以下の説明は今後の参考のためにのみ記載されています。

1. リザーバにゴミが入らないように、取り外す前にフィラーキャップを掃除します。
2. キャップを回して取り外します。
3. DOT3 規格または DOT4 規格に適合するブレーキフルードを MAX マークまでリザーバに補充します。
4. フィラー キャップを元に戻します。

警告: 必ず密封された未開封の容器に入っている新しいフルードを使用してください。フルードが水分を吸収し、ブレーキ性能が低下するため、使用済みのブレーキフルードや開封済みの容器に入っているブレーキフルードは使用しないでください。

警告: ブレーキフルードには強い毒性があります。容器を密封して、お子さまの手の届かないところに保管してください。ブレーキフルードを誤飲した場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

注意: ブレーキフルードは塗装面を損傷します。こぼした場合は、吸収性のある布でただちにフルードを吸い取り、カーシャンプーと水を混ぜたもので液が付着した部分を洗い流してください。

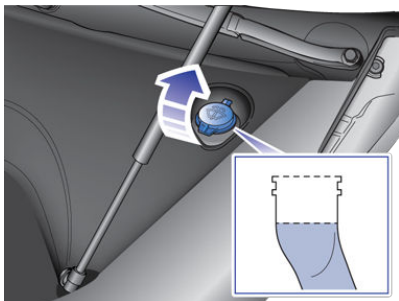
ウォッシャー液の補充

お客様がフルードを補充できる Model S のリザーバは 1 つだけで、フロントトランクの下にあるウォッシャー液リザーバです。ウォッシャー液のレベルが低下すると、計器パネルにメッセージが表示されます。給水口のすぐ下にフルードが来るまで、このリザーバにフルードを補充してください。

はっ水剤や虫洗浄剤が含まれた特殊なウォッシャー液は使用しないでください。この種のウォッシャー液は、汚れの筋、しみ、キーキー音やその他の騒音の原因になることがあります、

定期的にウォッシャーを動作させて、ノズルに詰まりがなく、ウォッシャー液が正しい方向に出ることを確認してください。

ウォッシャー液を補充する

1. リザーバにゴミが入らないように、キャップを開ける前にフィラー キャップを掃除します。
2. フィラー キャップを開けます。

3. 給水口のすぐ下にフルードが来るまで液を補充してください。
4. フィラー キャップを元に戻します。

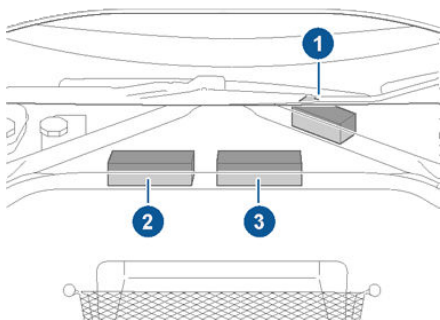
注: 国や地方によっては、揮発性有機化合物 (VOC) の使用が制限されています。VOC はウォッシャー液の不凍剤としてよく使われます。Model S がさらされるあらゆる気候でウォッシャー液が適切な耐凍性を持っている場合にのみ VOC の含有量が限られたウォッシャー液を使用してください。

注意: どのような状況でも、ウォッシャー液以外のフルード リザーバを点検したり液を補充したりする必要はありません。ウォッシャー液の横に 2 つのフルード リザーバがありますが、メンテナンス パネルの下です。万一計器パネルにこれらのリザーバのどちらかの液レベルが低下したことを知らせるメッセージが表示された場合は、周囲の安全を確認しながら Model S を停車させ、Tesla に連絡してください。

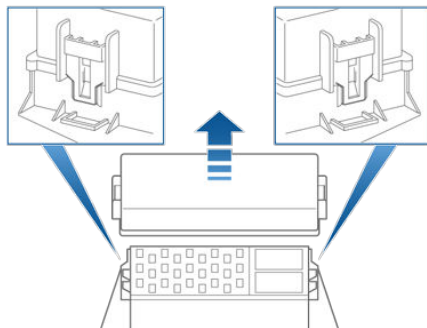
注意: ウォッシャー液をボディ パネルにこぼさないように注意してください。車に損傷を与える可能性があります。ただちに液を拭き取り、液が付着した部分を水で洗い流してください。

警告: 気温が 4° C 以下の場合は、不凍剤の含まれたウォッシャー液を使用してください。寒冷地で不凍剤が入っていないウォッシャー液を使用すると、フロント ガラスの視界が妨げられることがあります。

ヒューズ ボックスの位置

フロント トランク内の保守パネルの下側には、ヒューズ ボックスが 3 つあります。このパネルの取り外し方法については、105 ページの「メンテナンス パネルの取り外し」を参照してください。

1. ヒューズ ボックス 1 (109 ページの「ヒューズ ボックス 1」を参照)。これらのヒューズの交換は絶対にしないでください。ヒューズが 1 つでも切れた場合は、Tesla にご連絡ください。
2. ヒューズ ボックス 2 (111 ページの「ヒューズ ボックス 2」を参照)。
3. ヒューズ ボックス 3 (113 ページの「ヒューズ ボックス 3」を参照)。

ヒューズの交換

ヒューズ ボックス カバーを取り外すには、両側にあるプラスチック タブを押します。

該当する回路を保護するヒューズを特定します。ヒューズ ボックス カバー内部にあるラベルまたはこの項に記載のヒューズ表を参照します。

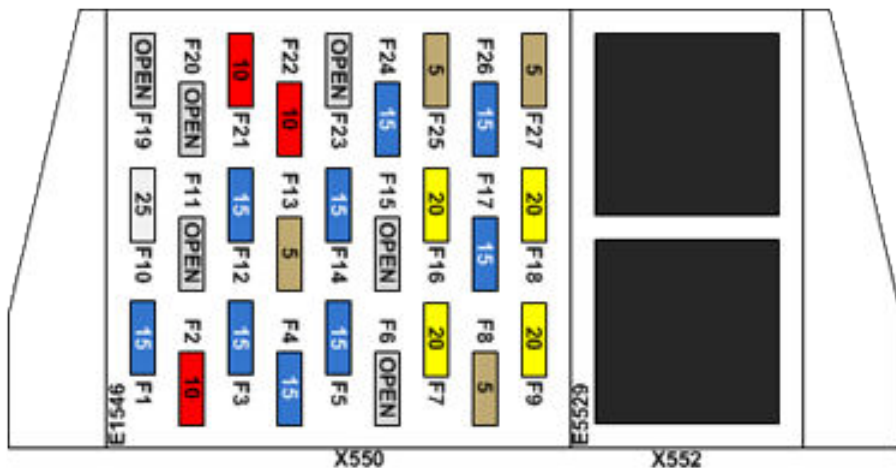
ヒューズを引いて取り外します。ヒューズ内部のワイヤーが破損していれば、ヒューズは切れています。

警告: ヒューズを交換する前に必ず、Model S の電源を手動でオフにしてください (38 ページの「停止」を参照)。

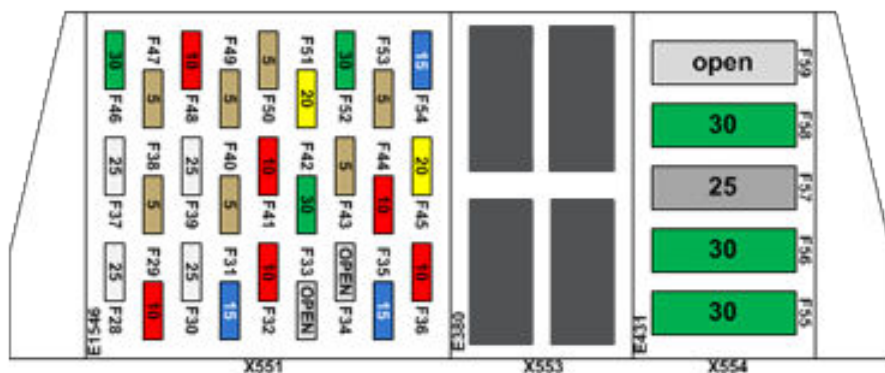
注意: 使用するヒューズは必ず、同定格、同仕様の Tesla 認証済みの交換用ヒューズとします。誤ったヒューズを使用すると、電気系統が損傷したり火災が生じたりすることがあります。

注意: 取り付け後に交換したヒューズが切れる場合は、Tesla に連絡して電気系統の点検を受けてください。

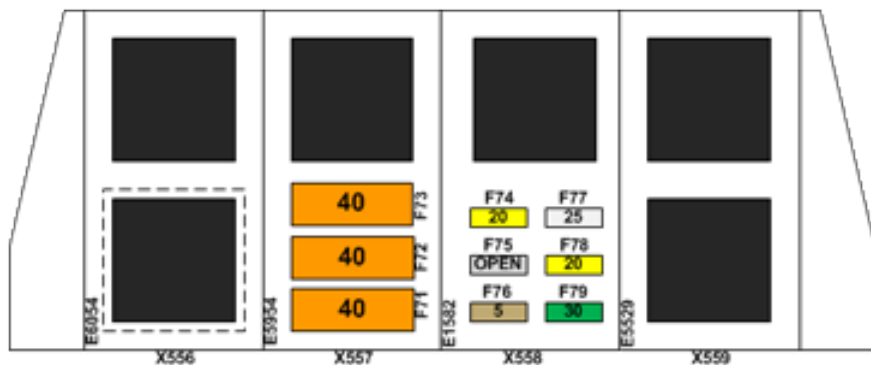
ヒューズ ボックス 1

注: ヒューズ ボックス 1 にアクセスするには、Tesla サービス技術者によるコンポーネントの取り外しが必要です。以下のヒューズ一覧は、このボックス内のヒューズの交換が必要となった際に、使用者がそのヒューズを特定できるようにすることだけを目的としています。ヒューズの交換が 1 つでも必要になった場合は、Tesla サービスにご連絡ください。

ヒューズ	定格	保護された回路
1	15 A	ワイパー停止
2	10 A	ラジオ、バニティ ライト、バックミラー
3	15 A	シート ヒーター、後列右
4	15 A	シート ヒーター、後列中央
5	15 A	シート ヒーター、前列右
6	-	未使用
7	20 A	電子制御サイド ブレーキ (冗長、ヒューズ 16 を参照)
8	5 A	ステアリング ホイール コントロール
9	20 A	オーディオ アンプ
10	25 A	パノラミック サンルーフ コントロール
11	-	未使用
12	15 A	シート ヒーター、後列左
13	5 A	キャビン HVAC
14	15 A	シート ヒーター、前列左
15	-	未使用
16	20 A	電子制御サイド ブレーキ (プライマリー)

ヒューズ	定格	保護された回路
17	15 A	クーラント ポンプ 2
18	20 A	プレミアム オーディオ アンプ
19	-	未使用
20	-	未使用
21	10 A	パーキングアシスト
22	10 A	温度システム コントロール
23	-	未使用
24	15 A	クーラント ポンプ 3
25	5 A	駆動インバーター
26	15 A	クーラント ポンプ 1
27	5 A	エアバッグ モジュール

ヒューズ ボックス 2

ヒューズ	定格	保護された回路
28	25 A	ウィンドウ リフト モーター (右リア)
29	10 A	コンタクター電源
30	25 A	ウィンドウ リフト モーター (右フロント)
31	15	未使用
32	10 A	ドア コントロール (右側)
33	-	未使用
34	-	未使用
35	15 A	12V 電源ソケット
36	10 A	エア サスペンション コントロール、バルブ
37	25 A	ウィンドウ リフト モーター (左リア)
38	5 A	運転席シート メモリー
39	25 A	ウィンドウ リフト モーター (左フロント)
40	5 A	リア ドア ハンドル
41	10 A	ドア コントロール (左側)
42	30 A	パワー リフトゲート
43	5 A	パーマネント電源センサー、ブレーキ スイッチ
44	10 A	充電器 (充電ポート)
45	20 A	パッシブ エントリー、ホーン、セキュリティ
46	30 A	ボディ コントロール (グループ 2)
47	5 A	診断コネクター
48	10 A	ボディ コントロール (グループ 1)

ヒューズ	定格	保護された回路
49	5 A	計器パネル
50	5 A	サイレン、侵入/傾きセンサー (欧州のみ)
51	20 A	タッチスクリーン
52	30 A	リア ウィンドウ デフロスター
53	5 A	バッテリー管理システム
54	15 A	ワイパー デアイサー
55	30 A	左フロント シート調整モーター
56	30 A	右フロント シート調整モーター
57	25 A	キャビン ファン
58	30 A	12V ソケット
59	-	未使用

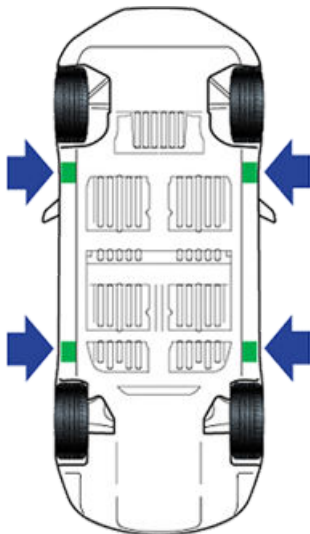
ヒューズ ボックス 3

ヒューズ	定格	保護された回路
71	40 A	コンデンサー ファン (左)
72	40 A	コンデンサー ファン (右)
73	40 A	バキューム ポンプ
74	20 A	12V ドライブ レール (キャビン)
75	-	未使用
76	5 A	ABS/パワー ステアリング ロジック
77	25 A	スタビリティ コントロール バルブ
78	20 A	ヘッドライト ロー / メイン ビーム
79	30 A	照明 (エクステリア/インテリア)

ジャッキ アップの手順

Model S の引き上げは、以下の手順で行ってください。Tesla 以外の修理施設で行う場合は、以下の引き上げ作業の要点が理解されていることを確認してください。

1. Model S をリフト ポストの間に置きます。
2. Model S がスマート エア サスペンションを装備している場合は、電源がオフでも自動的にセルフレベリング機構が働きます。タッチスクリーンでサスペンションを以下のように設定します。
   - **「コントロール」** > **「運転モード」** にタッチします。
   - ブレーキ ペダルを押してから **「VERY HIGH」** にタッチし、サスペンションの高さを最大にします。
   - **「ジャッキモード」** にタッチしてセルフレベリングを無効にします。

ジャッキ モードが有効になると、Model S は計器パネルにこのモードのインジケーターを表示し、さらにアクティブ サスペンションが無効になっていることを通知するメッセージも表示します。

3. リフトのアーム パッドをボディ レールの下の、図に示す位置に当てます。リフトのアーム パッドは、バッテリーの下には当てないでください。
4. リフトのアーム パッドの高さと位置を適切に調整します。
5. 手を添えて、リフトを上げ、アーム パッドが正しい位置にとどまることを確認します。

注: Model S を時速 7 km 以上で運転すると、ジャッキモードは解除されます。

警告: Model S がスマート エア サスペンションを装備している場合は、電源が OFF でも自動的にセルフレベリング機構が働きます。引き上げやジャッキ アップを行うときは、Model S をジャッキ モードにしてこのシステムを無効にしておく必要があります。スマート エア サスペンションを無効にしておかないと、Model S がセルフ レベリングを行い、重大な損傷や負傷事故、死亡事故が発生する可能性があります。

警告: 充電ケーブルを接続しているときは、たとえ充電中でなくても絶対に Model S を持ち上げないでください。

警告: 不適切なサポート車両では作業をしないでください。重大な損傷、負傷事故、死亡事故につながる可能性があります。

注意: バッテリーの下から引き上げないでください。リフト アーム パッドはボディ レールの下以外には当てないでください。Model S のリフト ポイントとして認められているのは図の位置だけです。これ以外のポイントで引き上げようとすると、損傷が発生する可能性があります。Model S の引き上げによって発生した損傷は保証の対象となりません。

部品、アクセサリー、改造

Tesla 正規品の部品/アクセサリーのみをお使いください。Tesla は部品に厳しい試験を実施し、その適合性、安全性、信頼性を確認しています。これらの部品は、専門的な経験を積んだプロの手によって取り付けてもらうことができ、Model S の改造についても専門的なアドバイスが受けられる Tesla でご購入してください。

Model S に Tesla 以外の部品を使用する場合は、Tesla は他の業者が製造した部品を評価することができず、したがって、一切の責任も負いません。

警告: 無認可の部品/アクセサリーの取り付け、または無認可の改造を行うと、Model S の性能やその乗員の安全性に影響が出る可能性があります。無認可の部品の使用または取り付け、あるいは無認可の改造によって生じた損害は、保証の対象外です。

警告: 無認可のアクセサリーの使用または取り付け、あるいは無認可の改造があった場合の死亡、負傷、または損害について、Tesla は一切責任を負いません。

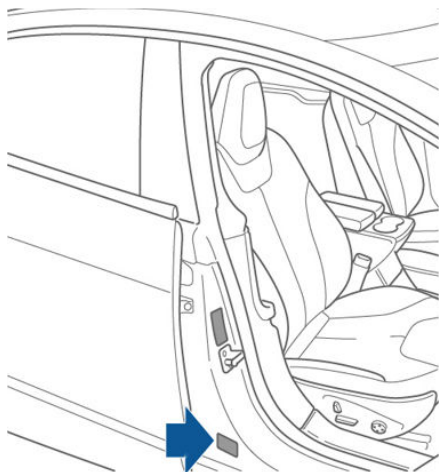
車体の修理

Model S が衝突した場合は、必ず Tesla の正規部品で修理できるように Tesla に連絡してください。Tesla は、訓練、設備、仕事の質、顧客満足度などの厳しい要求水準を満たす修理センターを選定しています。

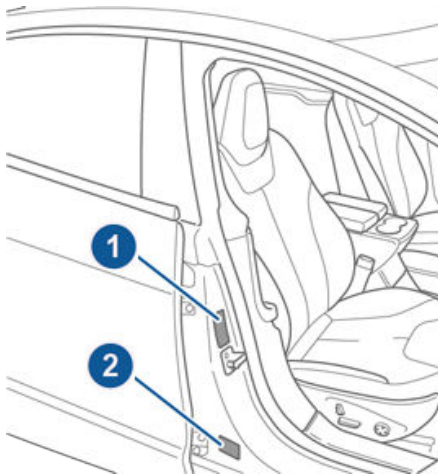
場合によっては、費用節約のため、修理業者や保険会社が正規部品以外の使用や破損した車体の中でまだ使える部品の再利用を勧めることがあります。しかし、それらの部品は品質、適合性、耐腐食性などの面で Tesla の高い基準に適合しません。また、正規部品以外の部品も再利用した部品も (それらによって生じる損害または故障とともに) 保証の対象とはなりません。

車両識別番号

VIN は以下の場所に表示されています。

- ダッシュボードの上にあるプレートに刻印。外からフロントガラス越しに見えます。
- シャーシに刻印。メンテナンス パネル (on page 105「メンテナンス パネルの取り外し」を参照) を取り外すと見えます。
- 運転席側のドア ピラーの法定プレートに印刷。運転席側のドアを開くと見えます。

積載量ラベル

Model S が安全に運搬できる重量を知ることは重要です。この重量は車両の積載容量といい、すべての乗員、積載物、および Model S の製造後に追加されたすべての付加装備の重量を含みます。

Model S には、安全に運搬可能な重量を記載した 2 つのラベルが貼り付けられています。これらのラベルは、中央のドア ピラー上にあり、運転席側のドアを開くと確認することができます。

1. タイヤと荷重載情報ラベル
2. 法定プレート

警告: Model S を過重量にすると、ブレーキとハンドリングに悪影響を及ぼし、安全性が低下し、Model S が損傷する可能性があります。

注意: フロントトランクには 136 kg を越える荷物を積み込むことは必ず避けてください。それ以上の荷物を積むと、車に損傷を与える可能性があります。

注意: Model S に大量の液体を保存することは必ず避けてください。液体を大量にこぼすと、電気部品が故障する原因となります。

タイヤと荷重載情報ラベル

タイヤと荷重載情報ラベルは以下の情報を記載しています。

- 車両の最大座席数。
- 車両の最大可搬重量。
- 元のタイヤのサイズ。
- 元のフロントおよびリアタイヤのタイヤ空気圧（冷間時）。乗り心地とハンドリング特性を最適化するため、これらの圧力が推奨されます。

将来異なるタイヤを使用しても、このラベルを変更しないでください。

注: Model S の容量一杯に積載した場合は、すべてのタイヤを確認して、空気圧が推奨圧力レベルであることを確認してください。

法定プレート

法定プレートには、車両識別番号に加えて以下が記載されています。

- GVWR - 定格車両総重量。Model S の最大許容総重量。これは Model S、すべての乗員、液体、および積載物の重量で計算されます。
- GAWR - フロントアクスルとリアアクスルの定格総軸荷重。GAWR は各アクスルが許容できる最大分散荷重です。

注意: 損傷を防止するため、GVWR または GAWR を超過するような積載を行うことは必ず避けてください。

積載制限の計算

1. 車両の「タイヤと荷重載情報」ラベルで、「乗客と積載物の合計重量は絶対に XXX kg または XXX ポンドを超えないこと」という記載を見つけます。
2. 車両に乗車する運転者と乗員の総重量を計算します。

3. XXX kg または XXX ポンドから運転者と乗員の総重量を引きます（手順 1 参照)。
4. その結果得られる数字は積載物と荷物の許容可能な積載量に等しくなります。たとえば、“XXX”の重量が 635 kg（1400 ポンド）で、68 kg（150 ポンド）の乗員が 5 人乗っている場合、利用可能な積載物と荷物の量は、295 kg（635 - 340 (5 x 68) = 295 kg)、または 650 ポンド（1400 - 750 (5 x 150) = 650 ポンド）です。
5. 車両に積載する積載物と荷物の総重量を求めます。この重量は、手順 4 で計算した積載物と荷物の許容量を超えてはなりません。

警告: 荷物はフロントおよびリアトランクに積むようにしてください。事故、または急ブレーキや急なカーブの際、車内で固定されていない荷物によって、乗員が怪我を負う危険性があります。

積載制限計算の例

Model S が運搬できる積載物の量は、乗員の数と体重によって決まります。以下は積載制限計算の一般的な例です。これらの例では、乗員の体重を 68 kg（150 ポンド）と想定しています。乗員の体重によって、積載可能な重量が変化します。

例 1: 運転者と 1 人の乗員

詳細	合計
車両の積載容量	954 ポンド（433 kg）
乗員の体重を減算する（2 x 68 kg/ 150 ポンド）	300 ポンド（136 kg）
利用可能な積載物重量	654 ポンド（297 kg）

例 2: 運転者と 4 人の乗員

詳細	合計
車両の積載容量	954 ポンド（433 kg）
乗員の体重を減算する（5 x 68 kg/ 150 ポンド）	750 ポンド（340 kg）
利用可能な積載物重量	204 ポンド（93 kg）

積載物または荷物の積載容量は、フロントトランクとリアトランクに分散する必要があります。

注意: フロントトランクには 136 kg を越える荷物を積み込むことは必ず避けてください。

トレーラーの牽引

警告: Model S をトレーラーの牽引に使用しないでください。Model S はトレーラーヒッチに対応していません。トレーラーヒッチを取り付けると、損傷をきたすことがあり、事故につながる恐れがあります。

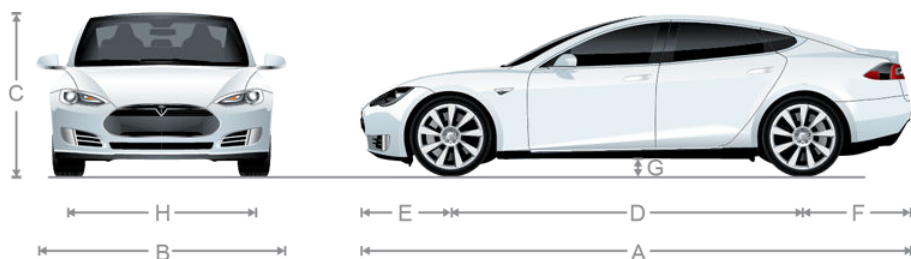
注意: Model S を牽引に使用すると、保障が無効になることがあります。

ルーフラック

Model S に、全面ガラスパノラマルーフが装備されている場合は、Tesla 認定ルーフラックを使って 75 kg までの荷物を運ぶことができます (115 ページの「部品とアクセサリー」を参照)。固体アルミニウムルーフが装備されている Model S でルーフラックを使用することはできません。

注意: ルーフラックに生じた損傷は保証対象にはなりません。

注意: アルミニウムルーフを装備した Model S のルーフには、ルーフラックを使用したり、荷物を載せたりしないでください。そうすると、大きな損傷が生じる可能性があります。

外形寸法

A	全長	196 インチ	4,970 mm
B	全幅 (ミラー含む) 全幅 (ミラー含まず)	86.2 インチ 77.3 インチ	2,189 mm 1,963 mm
C	全高	56.5 インチ	1,427 mm
D	ホイール ベース	116.5 インチ	2,960 mm
E	オーバーハング - フロント	37 インチ	929 mm
F	オーバーハング - リア	42.5 インチ	1080 mm
G	最低地上高	6 インチ	155 mm
H	トレッド - フロント トレッド - リア	65.4 インチ 66.9 インチ	1,661 mm 1,699 mm

重量

車両重量* (85 kWh バッテリー)	4,630 lbs	2,100 kg
車両重量* (60 kWh バッテリー)	4,407 lbs	1,999 kg
定格車両総重量	5,710 lbs	2,590 kg
車両総重量配分 - 19 インチ ホイール	フロント: 2,425 lbs リア: 3,285 lbs	フロント: 1,100 kg リア: 1,490 kg
車両総重量配分 - 21 インチ ホイール	フロント: 2,612 lbs リア: 3,097 lbs	フロント: 1,185 kg リア: 1,405 kg
総軸重定格 - フロント	2,813 lbs	1,276 kg
総軸重定格 - フロント (Performance Plus モデル)	2,723 lbs	1,235 kg
総軸重定格 - リア 19 インチ ホイール	3,307 lbs	1,500 kg
総軸重定格 - リア 21 インチ ホイール	3,131 lbs	1,420 kg
トレーラー牽引	不可	
*車両重量 = 正規のフルードレベルで乗員、積載物を除く重量		

モーター

タイプ	AC インダクション モーター、液冷式、可変周波数ドライブ
定格	375 V
最高速度	16000 rpm

トランスミッション

タイプ	単速固定ギア
全体のファイナル ドライブ比	9.73:1
リバース ギア	モーター逆回転、時速 24 km まで

ステアリング

タイプ	ラック アンド ピニオン電気式パワー ステアリング バリアブル レシオ、速度感応型
ロック ツー ロック回転数	2.45
最小回転半径 (最外輪外面)	11.3 m

ブレーキ

タイプ	電子制御制動力配分/統合アドバンスト スタビリティー コントロール/電子アクセラレーターペダル作動回生ブレーキ システム付き 4 輪アンチロック ブレーキ システム (ABS)
キャリパー	4 ピストン固定
ローター径 (ベンチレーテッド)	フロント: 13.98”/355 mm リア: 14.37”/365 mm
フロント ローター厚	新品: 1.26”/32 mm サービス限界:1.18”/30 mm
リア ローター厚	新品: 1.10”/28 mm サービス限界:1.02”/26 mm
フロント ブレーキ パッド厚 (ブレーキ プレートを除く)	新品: 0.354”/9.0 mm サービス限界:0.078”/2 mm
リア ブレーキ パッド厚 (ブレーキ プレートを除く)	新品: 0.315”/8.0 mm サービス限界:0.078”/2 mm
電気式パーキング ブレーキ (EPB) パッド厚 (ブレーキ プレートを除く)。パッド摩耗電子キャリパー自動調整	新品: 0.216”/5.5 mm サービス限界:0.039”/1 mm
パーキング ブレーキ	電気式作動パーキング ブレーキ キャリパー

サスペンション

フロント	独立、ダブル ウィッシュボーン、エア スプリングまたはコイル スプリング/テレスコピック ダンパー、スウェイ バー
リア	独立、マルチリンク、エア スプリングまたはコイル スプリング/テレスコピック ダンパー、スウェイ バー (エア サスペンション車のみ)
アライメント値については、124 ページの「ホイール アライメント値」を参照。	

バッテリー - 12 V

定格	33 Ah 以上
電圧と極性	12 V 負極 (-) グランド

バッテリー - 高電圧

タイプ	液冷式リチウム イオン (Li-ion)
定格	60 または 85 kWh (使用開始時)
電圧と極性	366 V DC 負極 (-) グランド
温度範囲	Model S は 60° C 以上または-30° C 以下の外気温度に連続して 24 時間以上曝露させない。

ホイールの仕様

ホイールの種類	場所	サイズ	オフセット
19″	フロント	8.0J x 19	1.575″ 40 mm
	リア	8.0J x 19	1.575″ 40 mm
21″ - シルバー (標準)	フロント	8.5J x 21	1.575″ 40 mm
21″ - グレー (標準)	リア	8.5J x 21	1.575″ 40 mm
21″ - シルバー&グレー (オプション) Performance Plus 車	リア	9.0J x 21	1.575″ 40 mm

ロード ホイール ナット トルク	129lb ft (175Nm)
ダイナミック ホイール バランスの要件	0.49 オンス (14 グラム)

注: Model S をジャッキアップする方法については、 114 ページの「ジャッキ アップと引き上げ」を参照してください。

ホイール アライメント値

場所	エア サスペンション		コイル サスペンション	
	フロント	リア	フロント	リア
キャンバー	-0.75 +/- 0.35	-1.75 +/- 0.35	-.53 +/- 0.35	-1.55 +/- 0.35
キャンバー スプリット	-0.00 +/- 0.20	-0.00 +/- 0.50	-0.00 +/- 0.20	-0.00 +/- 0.50
キャスター	4.00 +/- 0.50	n/a	3.70 +/- 0.50	n/a
キャスター スプリット	0.00 +/- 0.20	n/a	0.00 +/- 0.20	n/a
シングル ホイール トー	アウト 0.05 アウト 0.15 (リミット) イン 0.05 (リミット)	イン 0.20 +/- 0.05	イン 0.02 アウト 0.08 (リミット) イン 0.12 (リミット)	イン 0.19 +/- 0.05
スラスト角	n/a	0.00 +/- 0.30	n/a	0.00 +/- 0.30
サスペンション ボルトの高さ (設計値)	213.5 +/- 5 mm	標準モデル:144 +/- 5 mm Performance Plus:151 +/- 5 mm	230 mm (公称)	158 mm (公称)

タイヤの仕様

タイヤの種類	場所	サイズ
19 インチ ホイール: Michelin	すべて	P245/45R19
21 インチ ホイール: Continental または Michelin	すべて	P245/35R21
Performance Plus 車の 21 インチ ホイール: Michelin	フロント リア	P245/35R21 P265/35R21
タイヤの空気圧は Model S に装着されているタイヤの種類によって異なります。「タイヤと荷重載情報」ラベルに印刷されているタイヤの空気圧を参照してください。このラベルは運転席側のドア ピラーにあり、ドアを開けると見えます (91 ページの「タイヤの手入れと保守」を参照してください)。		
Tesla 販売店からウィンター タイヤ (Pirelli または Nokian スタッド - P245/45R19) を購入できます。		

タイヤのマーキングについて

タイヤ メーカーは、標準化された情報をタイヤのサイドウォールに記載することを法律で義務付けられています。これらは、タイヤの特性を含むさまざまな情報を表示します。

1	タイヤの分類。P は乗用車用のタイヤであることを示しています。
2	タイヤ幅。この 3 桁の数字は、ミリ単位で表したサイドウォールの端から反対側のサイドウォールの端までのタイヤの幅です。
3	アスペクト比。この 2 桁の数字は、パーセントで表したトレッド幅に対するサイドウォールの高さの比です。したがって、トレッド幅が 205mm でアスペクト比が 50 であれば、サイドウォールの高さは 102mm です。
4	タイヤの構造。R はタイヤの構造がラジアル プライであることを示しています。
5	ホイール径。この 2 桁の数字はインチ単位で表したホイール リムの径です。
6	荷重指数。この 2 桁または 3 桁の数字は、タイヤ 1 本で支えることのできる重量です。この数字は記載されていないことがあります。
7	速度記号。記載されている場合は、タイヤを長期にわたって使用できる最高速度 (マイル毎時) を示します。Q=99 mph (160 km/h)、R=106 mph (170 km/h)、S=112 mph (180 km/h)、T=118 mph (190 km/h)、U=124 mph (200 km/h)、H=130 mph (210 km/h)、V=149 mph (240 km/h)、W=168 mph (270 km/h)、Y=186 mph (300 km/h) 。
8	タイヤの構成と材質。トレッド エリアとサイドウォール エリアの両方のプライ数は、タイヤを構成するゴム被覆材料の層の数を示しています。使用されている材料の種類に関する情報も表示されています。
9	最大タイヤ荷重。タイヤで運搬できる最大荷重。
10	最大許容タイヤ空気圧。通常の運転でこの空気圧を使用しないでください。
11	U.S. DOT タイヤ識別番号 (TIN) 。先頭の文字 DOT は、タイヤがすべての米連邦基準に適合していることを示します。それに続く 2 桁の文字はタイヤが製造された工場を表す記号であり、末尾の 4 桁は製造された週と年を表しています。たとえば、1712 は 2012 年の第 17 週を表しています。その他の番号は、メーカーが任意に決めている販売記号です。タイヤの欠陥に伴うリコールを行う際には、この情報を利用して消費者に連絡することができます。
12	トレッド磨耗。この数字はタイヤの摩耗等級を示します。グレードが高いほど耐磨耗性に優れていることを示します。たとえば、等級 400 のタイヤは、等級 200 のタイヤの 2 倍の耐摩耗性があります。
13	トラクション。タイヤが濡れた路面で停止する能力を示します。タイヤのグレードが高いほど、車を停止するまでの距離が短くなります。トラクションのグレードは、高い順に AA、A、B、C です。
14	温度。タイヤの熱に対する耐性が A、B、C に等級分けされており、A が最も高い耐性を示します。この等級分けは、速度および荷重の限度内で正しい空気圧のタイヤを使用することを前提としています。

ロードサイドアシスタンスへのご連絡

Tesla は、保証期間中に限り年中無休 24 時間いつでもご利用いただけるロードサイドアシスタンスを提供しております。

ロードサイドアシスタンスの連絡先：

0120-097-5214

車両識別番号（VIN）、ナンバープレート番号、走行距離、現在地、問題の特徴をお知らせください。VIN はダッシュボードの運転席側上部に表示されており、外からでもフロンドガラスを通して見ることができます。

車両輸送者には、お客様の責任で Model S の輸送方法を指示していただきます(129 ページの「ロードサービスご利用の注意」を参照)。

平台のみを使用する

Tesla が他に指定しない限り、平台トレーラーのみを使用してください。タイヤが直接地面に接した状態で Model S を輸送しないでください。

注意: 輸送中に発生した損傷は保証対象にはなりません。

注意: Model S を輸送する際は、以下の詳細な指示に従ってください。

セルフレベリングを無効にする (エアサスペンション車両のみ)

Model S にスマートエアサスペンションが搭載されている場合、電源がオフのときでも自動的にセルフレベリングします。損傷を防止するため、ジャッキモードにしてセルフレベリングを無効にする必要があります。

1. タッチスクリーンで 「**コントロール**」 > 「**運転モード**」の順にタッチします。
2. ブレーキ ペダルを押してから、「**Very High**」にタッチして高さを最大にします。
3. 「**ジャッキアップ**」にタッチします。

ジャッキモードになっている場合、アクティブサスペンションが無効であることを通知するメッセージと共に、計器パネルにこの表示灯が表示されます。

注: Model S を時速 7 km 以上で運転すると、ジャッキモードは解除されます。

警告: スマートエアサスペンションが搭載された Model S の場合、ジャッキモードを有効にしないと輸送中に車両が緩む可能性があり、重大な損傷を引き起こす危険があります。

牽引モードを有効にする

Model S は、ニュートラルにシフトされた直後でも運転者が車両を離れたことを検知すると、自動的にパーキングにシフトすることがあります。Model S をニュートラルに維持するには (この場合パーキングブレーキが解除されます)、タッチスクリーンを使用して牽引モードにする必要があります。

1. パーキングにシフトします。
2. ブレーキペダルを踏み、次にタッチスクリーンで「**コントロール**」>「**E ブレーキと電源オフ**」>「**牽引モード**」の順にタッチします。

[N]

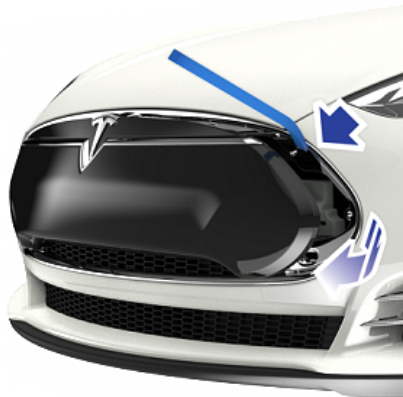
ジャッキモードになっている場合、ホイールがフリー状態になっていることを通知するメッセージと共に、計器パネルにこの表示灯が表示されます。

注: 牽引モードは、Model S がパーキングにシフトすると解除されます。

注意: 電気系統が機能していないために電気パーキングブレーキを解除できない場合は、12V バッテリーのクイックスタートを試みてください。手順については Tesla に電話でお問い合わせください。パーキングブレーキを解除できない状況が発生した場合は、タイヤスキッドを使用するかホイールドーリーを使用して Model S を搬送します。その場合、搬送距離はできるだけ短くしてください。これを実行する前に、必ずドーリー製造元の仕様および推奨積載重量を確認してください。

牽引用チェーンを接続する

1. ノーズコーンを取り外します。

   最上部右隅にプラスチックプライツールを挿入し、ノーズコーンを手前にゆっくり引き出します。クリップが外れたら、ひねったり曲げたりせずにノーズコーンを手前に引き、残りの 3 つのクリップを外します。

2. 牽引穴を挿入します。

   フロントトランクにある牽引穴を右側の開口部に完全に挿入し、しっかりと固定されるまで反時計回りに回します。

3. 牽引穴に牽引用チェーンを取り付けます。

注意: 引く前に、牽引穴がしっかりと締まっていることを確認します。

トレーラー上に引っ張り、車輪を固定する

車輪止めと固定用ストラップを使用して車輪を固定します。

- 固定用ストラップの金属部品が、車輪の塗装面または面に接触しないようにしてください。
- ボディパネル上または車輪内にストラップを置かないでください。

注意: ストラップを車両ボディのシャーシ、サスペンション、その他の部品に取り付けると、車に損傷を与える可能性があります。

注意: 損傷を防止するため、タイヤが直接地面に接した状態で Model S を輸送しないでください。

イラスト

イラストは説明目的のためにだけ掲載されています。車両オプション、ソフトウェア バージョン、購入地域、および特定の車両設定に応じて、Model S の外観はわずかに異なる場合があります。

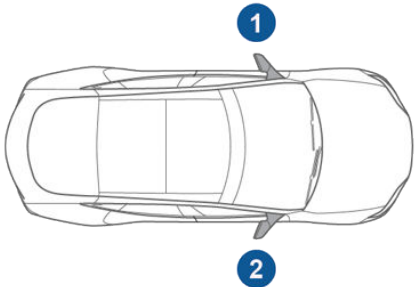
この所有者情報は RHD (右ハンドル車) 車両と LHD (左ハンドル車) 車両の両方に適用されますが、多くの図は LHD 車両のみを示しています。ただし、図が示している重要な情報はすべて正しい情報です。

誤りまたは不正確な記述

すべての仕様および記述は、公開の時点で正確であることを確認済みです。ただし、改良を続けることが Tesla の目標であるため、当社はいつでも製品変更を行う権利を留保します。不正確な記述や遺漏を指摘したり、この所有者情報の質に関する一般的なフィードバックや提案を行うには、

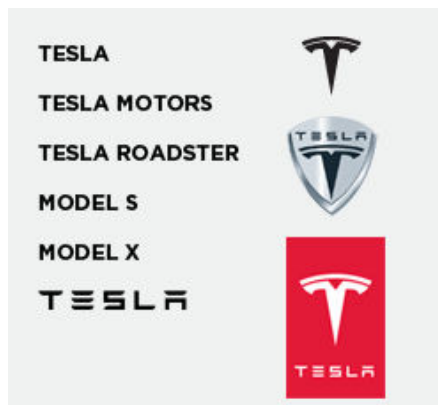
ownersmanualfeedback@teslamotors.com に電子メールをお送りください。

コンポーネントの位置

この所有者情報では、コンポーネントの位置を車両の左側または右側に示すことがあります。ここに示すとおり、左 (1) と右 (2) は前向きシートに座っているときの車両の側を示します。

文書の適用可能性

この所有者情報は、Model S への更新を反映するため定期的に更新されます。ただし、場合によっては最近リリースされた機能が記載されていないこともあります。最近リリースされた機能に関する情報を表示するには、Model S タッチスクリーン上でリリース ノートをご覧ください。リリース ノートはソフトウェア更新後にタッチスクリーンに表示されます。また、タッチスクリーンの上部中央にある Tesla の「T」にタッチしてからリリース ノート リンクにタッチすればいつでも表示できます。
Model S タッチスクリーンの使用方法に関する情報とリリース ノートの情報が矛盾する場合は、リリース ノートが優先します。

著作権および商標

TESLA
TESLA MOTORS
TESLA ROADSTER
MODEL S
MODEL X
TESLA
TESLA
TESLA

車両テレマティクス/データレコーダー

本車両には、モーター、バッテリー、ブレーキシステム、および電気系統を含むさまざまな車両システムからのデータを監視および記録する電子モジュールが搭載されています。これらの電子モジュールは、ブレーキング、加速、距離およびその他車両に関連する情報を含む、さまざまな運転および車両の状態に関する情報を記録します。これらのモジュールは、充電イベントとステータス、各種システムの有効化/無効化、診断問題コード、VIN、速度、方向および場所など車両独自の情報も記録します。

車両に保存されるこのデータは、車両の整備中に Tesla サービス技術者によってアクセス、使用、保存することができます。または、車両のテレマティクスシステムを通じて Tesla にワイヤレスで定期的に送信することができます。このデータは、Tesla によって以下のような、ただしこれらに制限されないさまざまな目的に使用されることがあります。お客様に Tesla テレマティクスサービスを提供すること。トラブルシューティング、車両の品質、機能、性能の評価。Tesla およびそのパートナーが車両の改善と設計のために実施する分析および調査。法律で要求される可能性がある事項。車両の整備中、車両のデータログを調査することによって、簡単にリモートで問題を解決できる可能性があります。

Tesla のテレマティクスシステムは、定期的に情報を Tesla にワイヤレス送信します。データは上述の通りに使用され、車両を適切に保守するのに役立ちます。Model S の追加機能により車両のテレマティクスシステムおよび提供される情報を使用することがありますが、これら追加機能には充電リマインダー、ソフトウェア更新、車両のさまざまなシステムに対するリモートアクセスおよび制御が含まれます。

Tesla は、以下の場合を除き車両に記録されたデータを第三者に開示することはありません:

- 車両の所有者 (またはリース車両の場合はリース会社) からの同意または合意が得られている場合。
- 警察またはその他の当局により正式に要求された場合。
- 訴訟で Tesla を弁護するために使用する場合。
- 裁判所により命令された場合。
- 車両所有者の詳細情報または識別情報を開示せずに調査目的で使用する場合。
- 継承者または譲受人を含む Tesla の子会社、もしくは情報システム、およびデータ管理プロバイダーに開示する場合。

さらに、非保証修理サービスに関係する場合を除き、Tesla は記録されたデータを所有者に開示しません。非保証修理サービスに関係する場合は、修理に関係するデータのみを開示します。

品質管理

Model S の納車時オドメーターに数 km が表示されていることに気付くかもしれません。これは Model S の品質を確実にするための包括的なテストプロセスによるものです。

テストプロセスには、生産中および生産後の広範囲な検査が含まれます。最終検査は Tesla Motors で実施され、技術者が実施するロードテストが行われます。

Tesla に連絡する

Model S に関する詳細情報については、www.teslamotors.com にアクセスし、MY TESLA リンクをクリックしてから、ログイン資格情報を入力します (またはこれらの資格情報を取得するためにはサイン アップします)。

Model S に関する問題やご質問は、Tesla までお電話でご連絡ください。お客様の地域の連絡先を調べるには、www.teslamotors.com にアクセスして、ページ下部で地域を選択してください。連絡先情報が表示されます。

キーおよびパッシブロック解除システム

FCC 認証

モデル番号	製造者	MHz	テスト済み
A-0749G02	Pektron	315	米国 カナダ

上記の装置は FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

Tesla が明確に承認していない変更または修正を行った場合、本装置を操作するユーザーの権限が無効になる可能性があります。

MIC 認証

モデル番号	製造者	MHz	テスト済み
A-0749G04	Pektron	315	日本

IC 認証

以下の装置がカナダ国内で使用される車両内で使用されます。

- キーフォブモデル番号：A-0749G02 (315 MHz)
- キーフォブ製造業者：Pektron

IC 10176A-002 により、本装置はカナダ政府産業省のライセンス適用免除 RSS 標準に適合しています。操作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

CE 認証

モデル番号	製造者	MHz	テスト済み
A-0749G01	Pektron	433	ヨーロッパ オーストラリア ニュージーランド シンガポール 台湾 マレーシア
A-0749G05	Pektron	433	中国 香港

上記の装置は CE 規格に準拠しています。操作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

Tesla が明確に承認していない変更または修正を行った場合、本装置を操作するユーザーの権限が無効になる可能性があります。

NCC 認証

- キーフォブモデル番号：A-0749G01 (433 MHz)
- キーフォブ製造業者：Pektron

電動機の低電力電波放射率の管理措置：

低電力電波により認定されたタイプに関する第 XII 条に従い、非認可の会社、企業またはユーザーが周波数を変更すること、電力を増加すること、元の設計および機能の特性を変更することは許可されていません。

第 XIV 条：低電力無線周波数装置の使用は、航空機安全に影響を及ぼすこと、また合法的な通信に干渉することがあってはならない。時間経過と共に発見された干渉現象は直ちに停止され、いかなる干渉も継続使用されることのないように改善される必要がある。合法的な通信とは、無線通信運用に関する電気通信法の規定に基づく。合法的または産業用、科学および医療用電波の干渉放射装置を許容する低電力無線通信。

装置認可 - オーストラリア

装置認可 - 香港

装置認可 - 日本

タイヤ空気圧監視システム

FCC ID：TZSTPMS201、Z9F-201FS43X

IC ID：11852A-201FS4X

タイヤ空気圧監視システム (TPMS) は FCC 規則のパート 15 およびカナダ政府産業省の RSS-210 に準拠しています。操作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

Tesla が明確に承認していない変更または修正を行った場合、本装置を操作するユーザーの権限が無効になる可能性があります。

装置認可 - 日本

メディアコントロールユニット

装置認可 - 日本

装置認可 - オーストラリア

無線周波数情報

本装置はテスト済みであり、FCC 規則のパート 15 に従って、クラス B デジタル装置の制限に準拠することが確認されています。これらの制限は、住宅への設置において有害な干渉に対して適切な保護を行うことを目的としています。本装置は無線周波エネルギーを発生および使用し、また放射することがありますので、指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に対して有害な干渉を発生する可能性があります。ただし、特定の設備において干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に対して有害な干渉を発生する場合 (本装置のスイッチのオンオフで判断可能)、ユーザーは以下の方法の 1 つまたは複数を行って干渉の修正を試みるよう勧奨されます。

- 受信アンテナの方向または場所を変更する。
- 本装置と受信機との距離を広げる。
- 装置を受信機が接続されている回路と別の回路のコンセントに接続する。
- ディーラーまたは経験のあるラジオ / テレビ技術者に相談する。

A

B

C

F

G

I

J

M

N

T

U

V

W

あ

い

う

え

お

か

き

く

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

に

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

み

む

め

も

ら

り

る

れ

ろ

わ